

**第4期**  
**厚岸町地域福祉計画**

**【令和3年～令和7年度】**

**令和3年3月**  
**厚岸町**



# 目次

<b>第1章 計画策定にあたって</b> .....	<b>1</b>
第1節 地域福祉計画とは.....	1
第2節 計画策定の趣旨.....	2
地域包括ケアシステムの確立・推進について.....	4
第3節 計画の位置付け.....	5
1 他計画との関係.....	5
2 地域福祉実践計画及び社会福祉協議会との関係.....	6
第4節 計画の期間.....	7
第5節 計画の策定体制.....	8
1 厚岸町地域福祉計画策定のためのアンケート調査の実施.....	8
2 厚岸町保健・医療・福祉総合サービス調整推進委員会の開催.....	8
3 地域福祉懇談会 ワークショップの開催（厚岸町社会福祉協議会との共催）.....	8
4 パブリック・コメントの実施.....	8
<b>第2章 厚岸町の現況と課題</b> .....	<b>9</b>
第1節 厚岸町の現況.....	9
1 人口と世帯数の状況.....	9
2 高齢者の状況.....	10
3 子どもの状況.....	12
4 障がい者の状況.....	14
5 要支援者の状況.....	16
6 地域の福祉資源の状況.....	17
7 成年後見制度の利用状況.....	17
第2節 第3期地域福祉計画の検証.....	18
第3節 アンケート調査やワークショップからの課題.....	21
1 アンケート調査結果.....	21
2 第6期厚岸町総合計画策定ワークショップの意見の概要.....	72
3 第4期地域福祉計画に向けた課題.....	73
<b>第3章 計画の理念と基本目標</b> .....	<b>74</b>
第1節 計画の理念.....	74
第2節 基本目標.....	74
第3節 地域福祉重点プロジェクト.....	75
第4節 施策体系.....	76
<b>第4章 目標達成のための取組の展開</b> .....	<b>77</b>
基本目標Ⅰ 人にやさしい福祉のまちづくり.....	77
1 安心・安全のまちづくり.....	77
2 地域生活を支えるしくみづくり.....	79
3 生活環境・都市基盤の整備や有効活用.....	82
基本目標Ⅱ いつまでも住み慣れた地域で暮らせるしくみづくり.....	84
1 保健・医療・福祉体制づくり.....	84
2 福祉サービスを支えるしくみづくり.....	87
3 福祉サービスの情報提供.....	89

基本目標Ⅲ ともに支え合うまちづくり.....	91
1 住民意識の高揚と参加の促進 .....	91
2 福祉コミュニティづくりの推進 .....	94
<b>第5章 計画の推進 .....</b>	<b>99</b>
1 各主体の役割 .....	99
2 計画の推進体制 .....	99
<b>資料編 .....</b>	<b>100</b>
資料1 厚岸町保健・医療・福祉総合サービス調整推進委員会 .....	100
1 計画策定の経緯 .....	100
2 厚岸町保健・医療・福祉総合サービス調整推進委員会設置要綱 .....	101
3 厚岸町保健・医療・福祉総合サービス調整推進委員会委員名簿 .....	103
資料2 第6期厚岸町総合計画策定ワークショップの概要 .....	104

この計画書において、「自助」「共助」「公助」は次のような意味となります。

**【自助】** 自分の責任で、自分自身が行うこと。

**【共助】** 自分だけでは解決や行うことが困難なことについて、周囲や地域が協力して行うこと。

**【公助】** 個人や周囲、地域あるいは民間の力では解決できないことについて、公共（公的機関、町役場など）が行うこと。

# 第1章 計画策定にあたって

## 第1節 地域福祉計画とは

「地域福祉計画」とは、平成12年6月の社会福祉事業法等の改正により社会福祉法で規定された計画で、社会福祉法第107条の規定に基づき、地域福祉の推進に取り組むための総合的な計画として、市町村が策定する計画です。

また、平成30年4月1日施行改正社会福祉法により地域福祉計画の策定が努力義務化となりました。

地域福祉計画は、地域住民の意見を十分に反映させながら各地方自治体が主体的に策定する計画であり、地域福祉を総合的に推進する上で大きな柱になるものです。

高齢者、障がい者、子ども・子育てといった対象ごとに計画が策定され、それぞれ根拠法を異にしていますが、これらに共通する事項を地域福祉計画に盛り込むことで関連する計画との調和を図り、かつ、福祉・保健・医療及び生活関連分野との連携を確保した福祉分野の「上位計画」として位置付けることで、制度の縦割りではない包括的な支援を推進するものとなっています。

この計画は、「高齢者保健福祉計画」や「障がい者基本計画」などのように、高齢者や障がい者といったサービスの「対象者」に着目するのではなく、「地域」に着目した福祉のまちづくりと、地域における要支援者（高齢者、障がい者、子育て家庭などをはじめとする、日常生活に何らかの支援を要する人）の生活課題の解決のための方策について定める計画です。

### （参考）社会福祉法より抜粋

#### 第4条（地域福祉の推進）

地域住民、社会福祉を目的とする事業を営む者及び社会福祉に関する活動を行う者は、相互に協力し、福祉サービスを必要とする地域住民が地域社会を構成する一員として日常生活を営み、社会、経済、文化その他あらゆる分野の活動に参加する機会が与えられるように、地域福祉の推進に努めなければならない。

#### 第107条（市町村地域福祉計画）

市町村は、地域福祉の推進に関する事項として次に掲げる事項を一体的に定める計画を策定するよう努めるものとする。

- （1）地域における高齢者の福祉、障害者の福祉、児童の福祉その他の福祉に関し、共通して取り組むべき事項
- （2）地域における福祉サービスの適切な利用の推進に関する事項
- （3）地域における社会福祉を目的とする事業の健全な発達に関する事項
- （4）地域福祉に関する活動への住民の参加の促進に関する事項
- （5）前条第一項各号に掲げる事業を実施する場合には、同項各号に掲げる事業に関する事項

## 第2節 計画策定の趣旨

---

日本の高齢化は急速に進行しており、令和7年には団塊の世代すべてが75歳以上になるほか、令和22年にはいわゆる団塊ジュニア世代が65歳以上になるなど、人口の高齢化は、今後さらに進行していくことが見込まれています。

人口減少と少子高齢化の急速な進行、高度情報化とグローバル化のさらなる進展などを背景に、社会の成熟化が進み、人々の価値観やライフスタイルが多様化し、物質的な豊かさよりも精神的な豊かさを重視する傾向が強まっています。

また、超高齢社会などを背景にして、健康に対する意識や関心が高まりを見せているほか、一人ひとりが望む生活の実現のために、ライフステージに応じた多様な「働き方」や「学び方」、「楽しみ方」や「住まい方」など、あらゆる面で多様な選択を求める動きが顕在化しています。

さらに、核家族化などによる家族（世帯）の人数の小規模化により、従来は家族で解決できたような問題に対しても、近隣・地域や公共などの支援が必要とされるケースも増えてきています。

国は、社会構造の変化や人々の暮らしの意識変化を踏まえ、制度・分野ごとの『縦割り』や支え手側と受け手側に分かれるのではなく、誰もが役割を持ち活躍できる「地域共生社会」を提案しています。

また、地域を基盤とする包括的支援の強化として、地域を『丸ごと』支える包括的な支援体制を構築する「地域包括ケアシステム」の実現も合わせて自治体等に求めています。

福祉への要望は8050問題※やダブルケア※など、多様化・複雑化してきていることなどから、行政だけのサービスでこうした要望・問題に対応することは難しく、また、誰もがいきいきと自分らしい生活を送るために、地域の中で助け合い、支え合う、人と地域とのつながりの大切さが改めて見直されています。

地域住民が主体的に地域生活課題の解決を目指して、お互いにその多様性を理解しながら、地域社会の構成員として、共に生きることができる社会のあり方は「地域共生社会」と呼ばれ、本町でもその実現に向けた取組を進めています。

地域住民等による支え合いや行政との協働によって、公的福祉だけではなく、地域に暮らす人たちが共に支え合い、身近な生活課題の解決に向けたしくみを構築する厚岸町の地域共生社会の実現を目指し、「みんな笑顔で健やかに、つながり支え合うまち」を基本理念に掲げ、「第4期厚岸町地域福祉計画」（以下、「本計画」という。）を策定します。

※8050問題：ハチマルゴーマル問題とは、ひきこもりの長期化等により、本人と親が高齢化し、支援につながらないまま孤立してしまうこと。

※ダブルケア：介護をする人が育児と介護を同時に行っている状況のこと。

## 参考：国 「地域共生社会」の実現に向けた改革の骨格について

国の「地域共生社会」の実現に向けた考え方の骨格は以下の通りです。

### 1. 地域課題の解決力の強化

- 生活に身近な地域において、住民が世代や背景を超えてつながり、相互に役割を持ち、「支え手」「受け手」という関係を超えて支え合う取組を育んでいきます。
- これにより、我が国に暮らす国民一人ひとりが、生活における楽しみや生きがいを見出し、様々な困難を抱えた場合でも、社会から孤立せず、安心してその人らしい生活を送ることができる社会を実現していきます。

### 2. 地域丸ごとのつながりの強化

- 耕作放棄地の再生や森林などの環境の保全、空き家の利活用、商店街の活性化など、地域社会が抱える様々な課題は、高齢者や障がい者、生活困窮者などの就労や社会参加の機会を提供する資源でもあります。
- 社会・経済活動の基盤でもある地域において、社会保障・産業などの領域を超えてつながり、人々の多様なニーズに応えると同時に、資源の有効活用や活性化を実現するという「循環」を生み出していくことで、人々の暮らしと地域社会の双方を支えていきます。

### 3. 地域を基盤とする包括的支援の強化

- 地域包括ケアの理念を普遍化し、高齢者のみならず、生活上の困難を抱える障がい者や子どもなどが地域において自立した生活を送ることができるよう、地域住民による支え合いと公的支援が連動し、地域を『丸ごと』支える包括的な支援体制を構築し、切れ目のない支援を実現していきます。  
→ 地域包括ケアシステムの実現と連動しています。

### 4. 専門人材の機能強化・最大活用

- 住民とともに地域をつくり、また、人々の多様なニーズを把握し、地域生活の中で本人に寄り添って支援をしていく観点から、専門性の確保に配慮しつつ養成課程のあり方を見直すことで、保健医療福祉の各資格を通じた基礎的な知識や素養を身につけた専門人材を養成していきます。

## 地域包括ケアシステムの確立・推進について

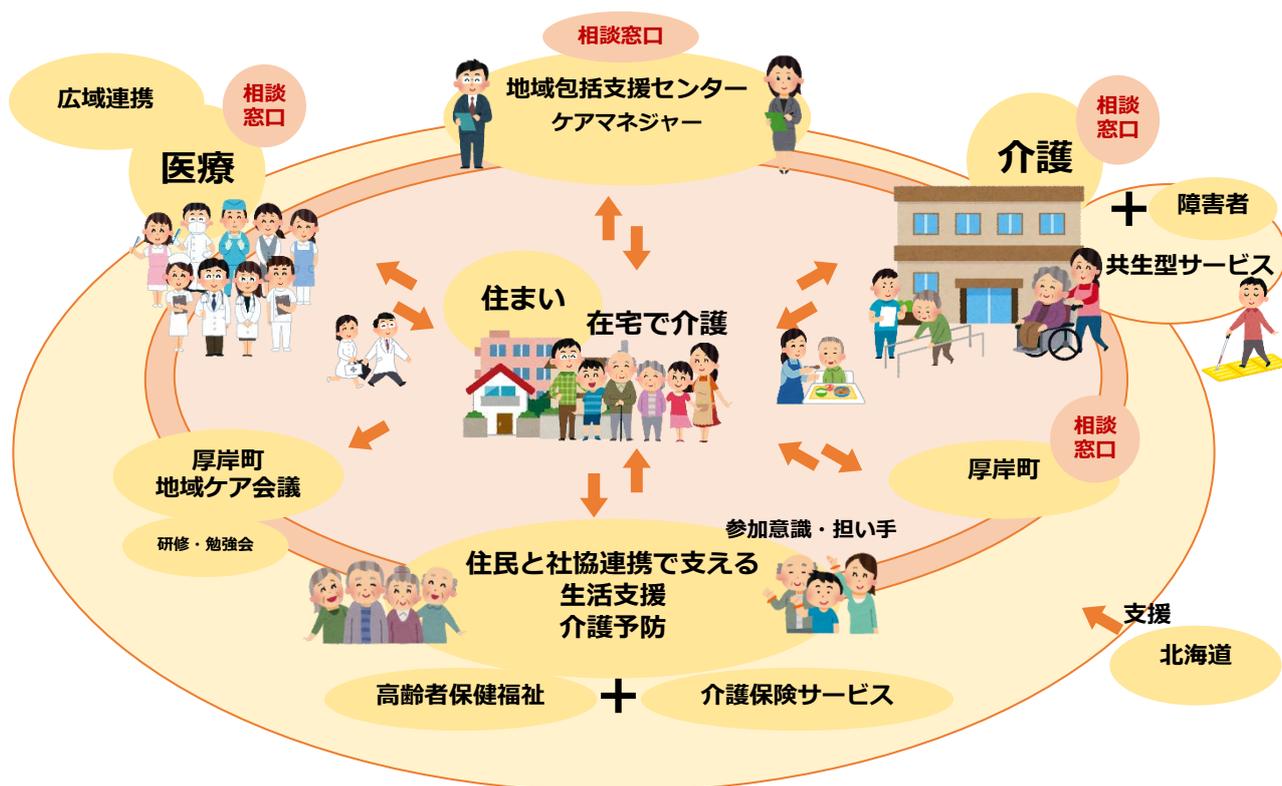
国では、団塊の世代が75歳以上となる令和7年を目途に、高齢者が可能な限り住み慣れた地域で個々の能力に応じて自立した日常生活を続けていけるよう、医療、介護、介護予防、住まい及び自立した日常生活の支援が包括的にできる「地域包括ケアシステム」の構築に向けた取組を深化・推進するように自治体等に求めています。

また、「地域共生社会の実現のための社会福祉法等の一部を改正する法律」において、令和22年を見据えて、地域共生社会の実現を目指して、地域住民の複雑化・複合化した支援ニーズに対応する市町村の包括的な支援体制の構築の支援、地域の特性に応じた認知症施策や介護サービス提供体制の整備等の促進、医療・介護のデータ基盤の整備の推進、介護人材確保及び業務効率化の取組の強化、社会福祉連携推進法人の創設など社会福祉法等に基づく社会福祉基盤の整備と介護保険制度の一体的な見直しが行われたところです。

厚岸町では、認知症高齢者の増加や医療と介護の両方を必要とする人の増加など、団塊の世代が75歳以上となる令和7年に向けて、また、いわゆる団塊ジュニア世代が65歳以上になる令和22年も見据えて、高齢者ができる限り住み慣れた地域で安心した生活を継続するために、医療・介護・予防・住まい・生活支援サービスが切れ目なく提供できる地域社会の支援体制「地域包括ケアシステム」の実現を目指しています。

また、自治体などが提供するサービス（公助）だけでなく、介護保険サービスや医療保険サービスの給付（共助）、地域住民主体のサービスやボランティア活動（互助）、本人や家族によるセルフケアの取組（自助）など、多くの資源を有機的につなぎあわせ、支え合いによる「地域包括ケアシステム」の確立も目指します。

### 地域包括ケアシステムの将来イメージ



### 第3節 計画の位置付け

#### 1 他計画との関係

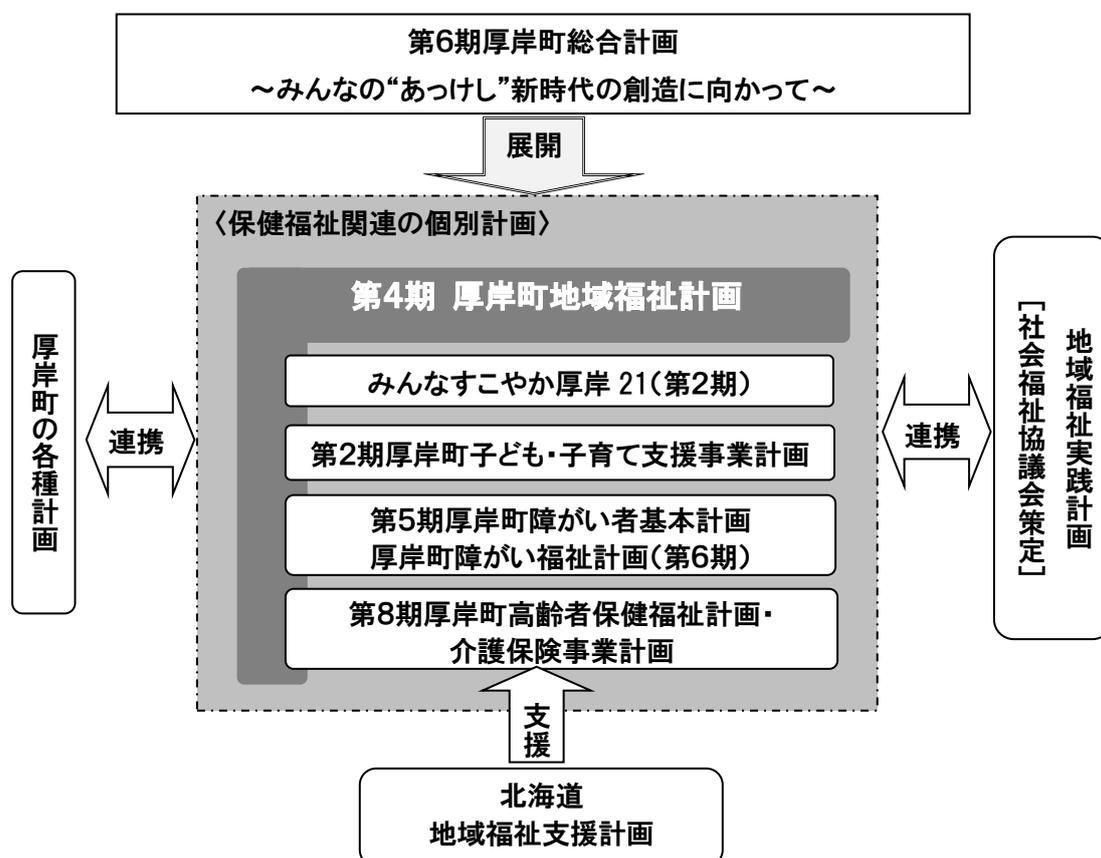
厚岸町地域福祉計画は、社会福祉法第107条に基づく「市町村地域福祉計画」であり、町の将来を見据えた地域福祉のあり方や推進に向けての基本的な方向を定めるものです。

また、本町の最上位計画となる「第6期厚岸町総合計画」に盛り込まれた保健福祉関連施策について、地域福祉の視点から具体化を図るものでもあります。

具体的には、対象者ごとの個別計画として策定している「町民がつくる健康なまちづくり計画 みんなすこやか厚岸21」、「厚岸町子ども・子育て支援事業計画」、「厚岸町障がい者基本計画」、「厚岸町障がい福祉計画」、「厚岸町高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」、「厚岸町社会福祉協議会・地域福祉実践計画」等に共通する理念や福祉ビジョンを踏まえて、住民の生活に密着した保健福祉サービス提供体制の基盤づくりを、住民・民間事業者・社会福祉協議会・関係機関・行政の協働によって推進していくための指針となります。

策定に当たっての基本的な方針は、平成29年12月12日付厚生労働省「地域共生社会の実現に向けた地域福祉の推進について」により通知された「市町村地域福祉計画策定のガイドライン」で示された事項を考慮し、本町の実情に応じた具体的な取組を通して、地域福祉の推進を図ります。

厚岸町地域福祉計画と他計画との位置付け



## 厚岸町の対象者別保健福祉関連個別計画の状況

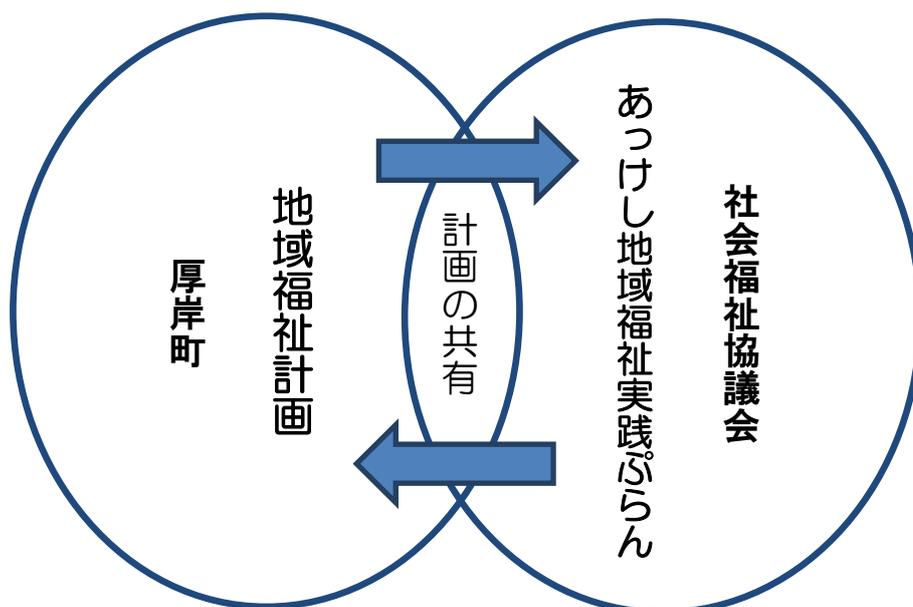
法定計画	厚岸町の計画	根拠法	
健康増進計画	みんなすこやか厚岸21(第2期)	健康増進法第8条	努力規定
子ども・子育て支援事業計画	第2期厚岸町子ども・子育て支援事業計画	子ども・子育て支援法第61条	義務規定
障害者計画	第5期厚岸町障がい者基本計画	障害者基本法第11条	義務規定
障害福祉計画 障害児福祉計画	第6期厚岸町障がい福祉計画	障害者総合支援法第88条 児童福祉法第33条の20第1項	義務規定
老人保健福祉計画	第8期厚岸町高齢者保健福祉計画・ 介護保険事業計画	老人福祉法第20条の8	義務規定
介護保険事業計画		介護保険法第117条	義務規定

## 2 地域福祉実践計画及び社会福祉協議会との関係

社会福祉協議会は、社会福祉法において地域福祉の推進を図る団体として位置付けられていることから、地域福祉計画の推進の中心となる団体です。

また、介護保険サービスを実践する提供事業所としての役割も担っています。

特に、地域住民や福祉活動を行う団体が主体的に社会福祉協議会と協力しながら策定する地域福祉実践計画（民間活動の自主的な行動計画）は、地域福祉活動とその内容を共有したり、地域福祉計画の理念の実現を支援するための施策を盛り込んだりするなど、相互に連携を図っていきます。



## 第4節 計画の期間

本計画の計画期間は、令和3年度から令和7年度までの5年間とし、進捗状況や社会情勢の変化等に応じて見直しを行います。

厚岸町の保健福祉関連計画の計画期間

平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
第3期地域福祉計画					第4期地域福祉計画					次期
第2期みんなすこやか厚岸21							次期			
子ども・子育て支援事業計画				第2期子ども・子育て支援事業計画				次期		
第4期障がい者基本計画				第5期障がい者基本計画				次期		
第4期障がい福祉計画		第5期障がい福祉計画 (第1期障がい児福祉計画)			第6期障がい福祉計画 (第2期障がい児福祉計画)			第7期障がい福祉計画 (第3期障がい児福祉計画)		
第6期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画		第7期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画			第8期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画			第9期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画		

## 第5節 計画の策定体制

### 1 厚岸町地域福祉計画策定のためのアンケート調査の実施

本計画の策定に当たっては、町民の方々の生活状況や福祉に対する要望や実態、今後の方向性を把握するため「厚岸町地域福祉計画策定のためのアンケート調査」を実施しました。

#### 【アンケート調査実施概要】

調査種別	調査対象者	抽出方法	配布・回収方法	調査期間
町民アンケート	町内在住の20歳以上の住民（1,000人）	無作為抽出	郵送調査法（郵送配布、郵送回収）	令和2年 6月中旬～7月上旬
自治会アンケート	町内の自治会（31自治会）	悉皆調査		
団体アンケート	町内の関連団体等（36団体）	悉皆調査		

### 2 厚岸町保健・医療・福祉総合サービス調整推進委員会の開催

地域福祉計画を地域の実情に即した実効性のある内容にするため、本町が21世紀において目指すべき総合的保健・医療・福祉のあり方と、高齢者や障がい者等が地域で快適な生活を営むことのできるやさしいまちづくりの施策を検討するために設置している保健・医療・福祉に関連する施設・機関等の代表等を中心とする「厚岸町保健・医療・福祉総合サービス調整推進委員会」を開催し、協議を重ねました。

### 3 地域福祉懇談会 ワークショップの開催

住民の目線からみた地域福祉に関わる課題や目標、その実現のための住民行動のあり方、行政への期待などについて意見集約を行うために、ワークショップの開催を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症拡大の状況により、やむなく中止としました。

### 4 パブリック・コメントの実施

アンケートや厚岸町保健・医療・福祉総合サービス調整推進委員会、ワークショップのほか、より多くの住民の声を計画に反映するため、令和3年1月25日から2月3日まで計画素案によるパブリック・コメント手続きを実施しました。

# 第2章 厚岸町の現況と課題

## 第1節 厚岸町の現況

### 1 人口と世帯数の状況

#### (1) 人口の状況

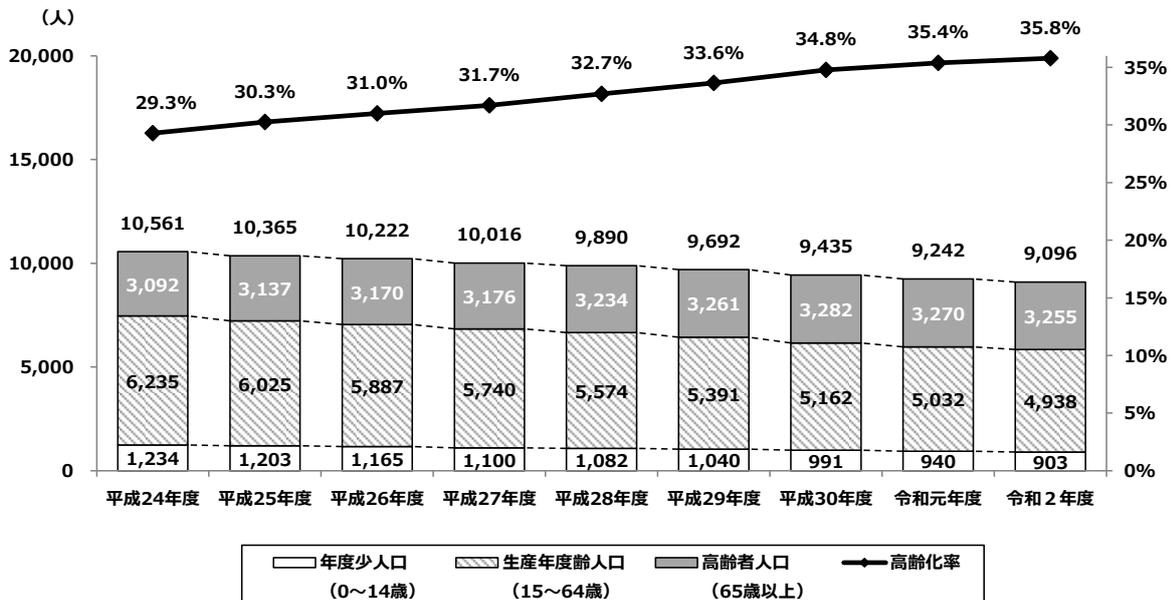
本町の人口は、戦後増加を続けたものの昭和35年の20,185人をピークに、年々減少傾向にあります。平成24年度（10,561人）から令和2年度（9,096人）の9年間でみると約13.9%（1,465人）の減少となっています。

年齢3区分別にみると、高齢者人口は平成24年度以降から平成30年度までは増加していますが、令和元年度から減少傾向となっています。

一方で、生産年齢人口及び年少人口は年々減少しています。

生産年齢人口の減少に伴い高齢化率は平成24年から9年間で29.3%から35.8%へ6.5ポイント増加しています。

総人口の推移と高齢化率



(単位:人)

	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
総人口	10,561	10,365	10,222	10,016	9,890	9,692	9,435	9,242	9,096
年少人口 (0~14歳)	1,234 (11.7%)	1,203 (11.6%)	1,165 (11.4%)	1,100 (11.0%)	1,082 (10.9%)	1,040 (10.7%)	991 (10.5%)	940 (10.2%)	903 (9.9%)
生産年齢人口 (15~64歳)	6,235 (59.0%)	6,025 (58.1%)	5,887 (57.6%)	5,740 (57.3%)	5,574 (56.4%)	5,391 (55.6%)	5,162 (54.7%)	5,032 (54.4%)	4,938 (54.3%)
高齢者人口 (65歳以上)	3,092 (29.3%)	3,137 (30.3%)	3,170 (31.0%)	3,176 (31.7%)	3,234 (32.7%)	3,261 (33.6%)	3,282 (34.8%)	3,270 (35.4%)	3,255 (35.8%)

\* ( )内は総人口に占める割合

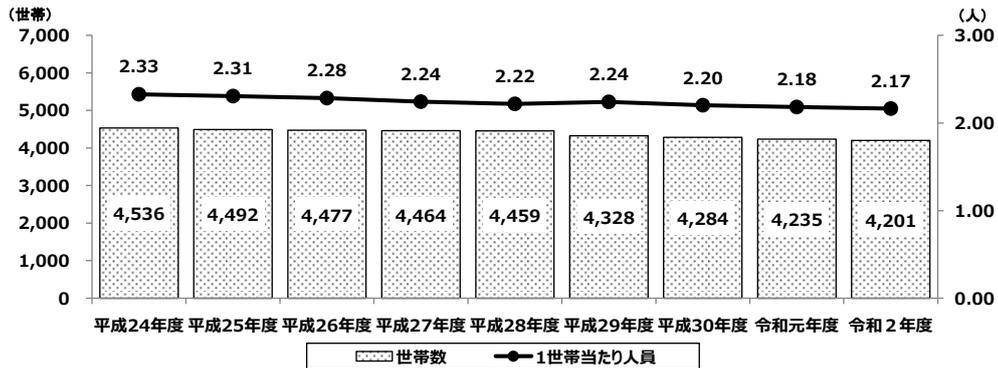
資料:住民基本台帳(各年9月末日)

## (2) 世帯数の状況

世帯数は、令和2年9月末現在で4,201世帯となっており、平成24年度から令和2年度までの9年間で、155世帯減少しています。

また、1世帯当たり人員は減少傾向にあり、平成24年度の2.33人から令和2年度には、2.17人になっています。核家族化の進行やひとり暮らし世帯の増加がうかがえます。

世帯数と1世帯当たり人員の推移



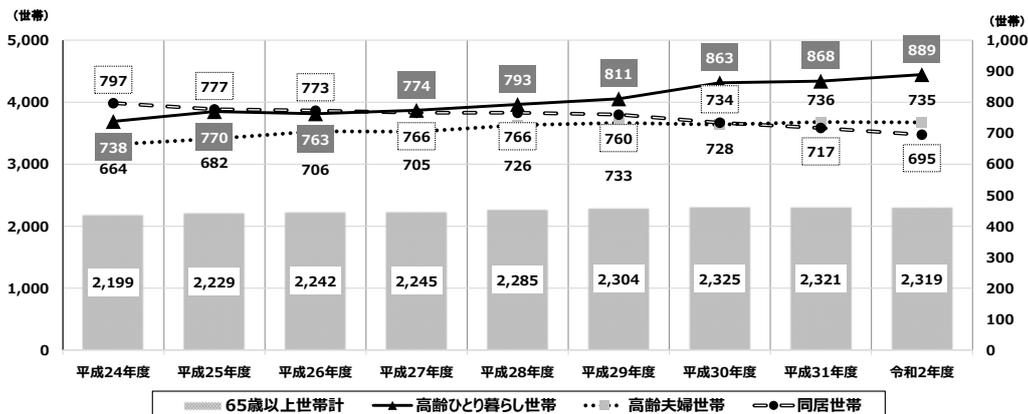
資料：住民基本台帳（各年9月末日）

## 2 高齢者の状況

### (1) 高齢者（65歳以上）世帯の状況

65歳以上の高齢者のいる世帯は平成30年度まで増加傾向で、その後減少しています。令和2年度では2,319世帯となっており、全世帯数に占める割合は55.2%と高くなっています。特に、「高齢ひとり暮らし世帯」は、65歳以上の高齢者のいる世帯割合の約38.3%と増加傾向となっています。

高齢者（65歳以上）のいる世帯の変化



(単位：世帯)

	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
65歳以上世帯計	2,199	2,229	2,242	2,245	2,285	2,304	2,325	2,321	2,319
高齢ひとり暮らし世帯	738	770	763	774	793	811	863	868	889
高齢夫婦世帯	664	682	706	705	726	733	728	736	735
同居世帯	797	777	773	766	766	760	734	717	695

資料：高齢者人口の状況調（各年9月末現在）

## (2) 高齢者の社会参加状況

### ① 高齢者事業団の状況

高齢者の方々に就業機会を提供する高齢者事業団の状況については、近年、会員数は横ばいで推移していますが、年間就業延べ人員は減少傾向となっています。

会員数については、平成27年の38人から、令和元年度は39人と若干増加しています。

年間就業延べ人員については、平成27年度の4,049人から減少を続け、令和元年度は2,903人となっています。

#### 高齢者事業団の状況

区分	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
登録者数(人)	38	39	39	38	39
年間就業延べ人員(人)	4,049	4,022	3,402	3,398	2,903

各年3月末現在

### ② 老人クラブの現況

高齢者の生きがいづくりと地域コミュニティのための老人クラブの状況は、団体数は令和2年度で14団体、会員数は542人で、平成27年以降年々、会員数が減少しています。

#### 老人クラブの状況

区分	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
団体数(団)	17	17	15	15	15	14
会員数(人)	728	673	627	586	582	542

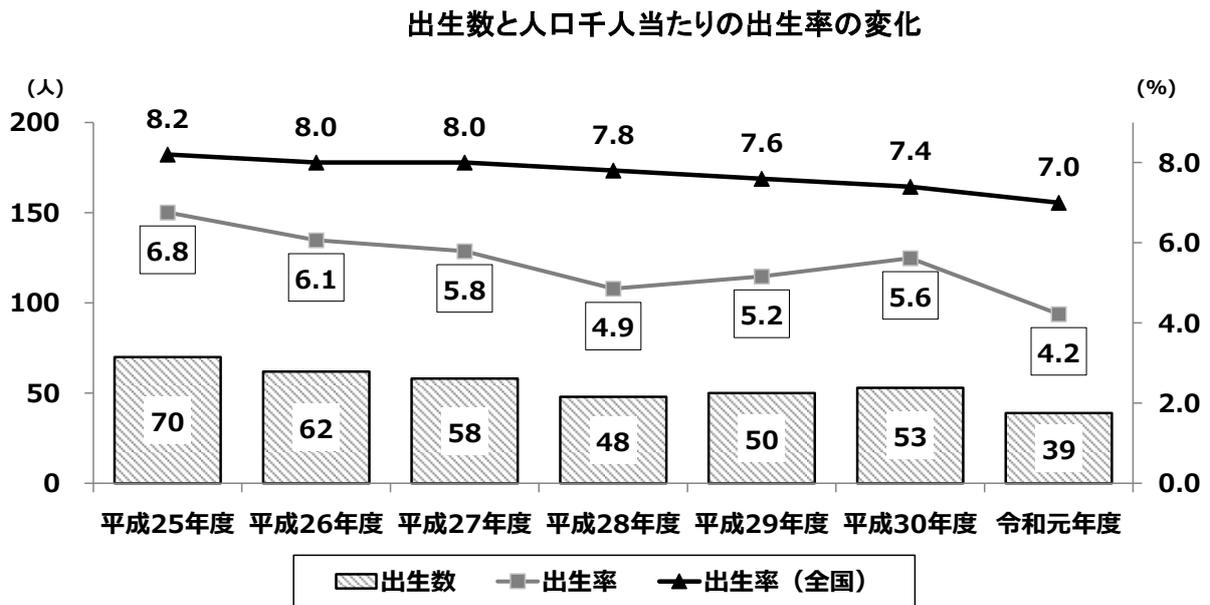
各年4月末現在

### 3 子どもの状況

#### (1) 出生数と出生率

出生数は、平成25年度以降減少し、平成29年度と平成30年度年に一旦増加しましたが、減少傾向となっています。令和元年度では39人となっています。

一方、出生率についても、平成25年度から平成28年度まで減少し、平成29年度、平成30年度は、多少増加しましたが、令和元年度は、減少しています。令和元年度4.2‰<sup>\*</sup>となっています。



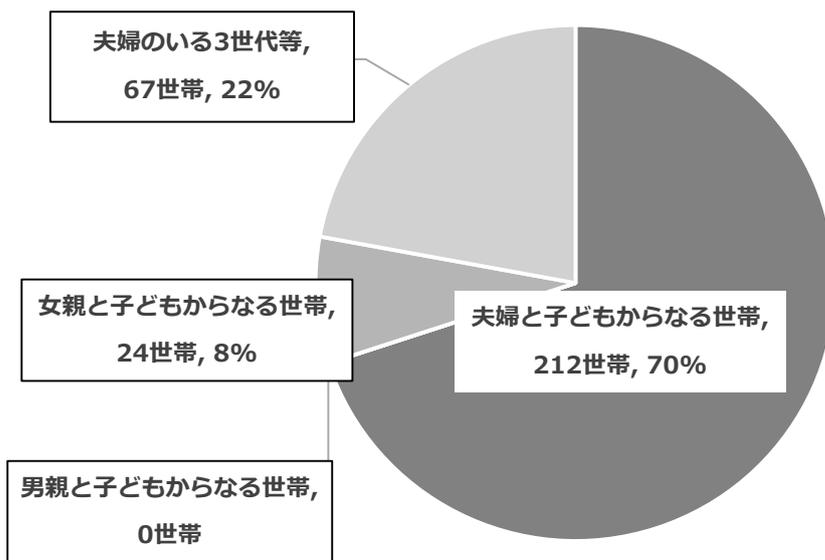
資料：住民基本台帳(平成25～30年度)、厚労省・人口動態統計(令和元年度)

※ 出生率については、人口千人に対する出生児数をいうため‰(パーミル)で表します。

## (2) 6歳未満のいる世帯の状況

本町の一般世帯4,107世帯のうち、6歳未満の子ども（399人）のいる世帯は279世帯であり、このうち夫婦と子どもからなる世帯は、207世帯で74%となっています。

6歳未満の平均子ども数を見ると、核家族では1.37人となっており、3世代等の世帯における1.67人と0.3人少ない状況となっています。



資料：平成27年国勢調査

区分	世帯数 (世帯)	世帯人員 (人)	6歳未満 人員(人)	6歳未満 平均子ども 数(人)
一般世帯	4,107	9,646	399	
6歳未満がいる世帯	279	1,230	398	1.42
核家族	230	938	316	1.37
夫婦と子どもからなる世帯	207	873	286	1.37
男親と子どもからなる世帯	0	0	0	0
女親と子どもからなる世帯	23	65	32	1.39
夫婦のいる3世代等	49	292	82	1.67

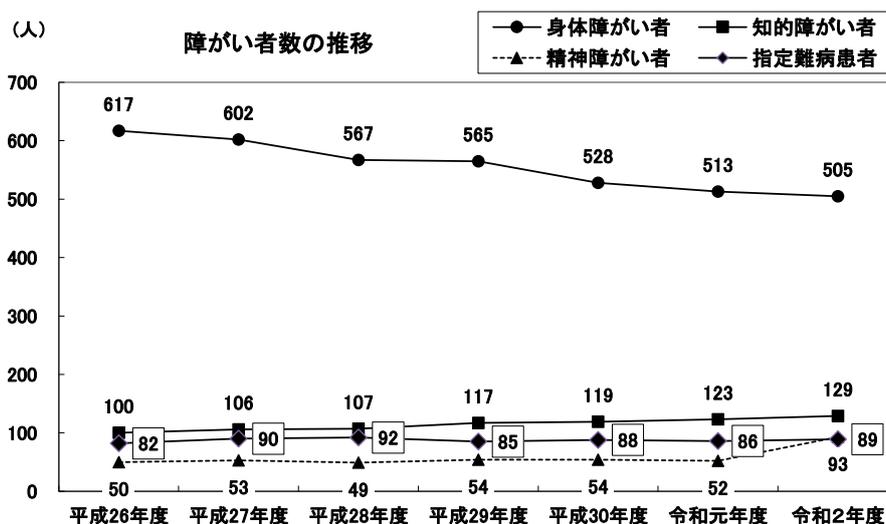
資料：平成27年国勢調査

## 4 障がい者の状況

### (1) 障がい者数の推移

障がい者数（各障害者手帳所持者数）は、令和2年度で身体障がい者が514人、知的障がい者が127人、精神障がい者が93人、合計734人となっています。

平成27年度と令和2年度を比べると身体障がい者は16.1%減少、知的障がい者は22.2%増加、精神障がい者は18.1%減少となっています。



各年3月末現在、令和2年度は12月末現在

※身体障がい者は身体障がい者手帳の所持者、知的障がい者は療育手帳所持者

※精神障がい者数とは、精神保健福祉手帳所持者と自立支援医療(精神)受給者証所持者の合計

### (2) 発達障がい、高次脳機能障がい、難病等

難病（特定医療費（指定難病）受給者証・特定疾患医療受給者証の受給者）のうち、障害者総合支援法の対象疾病（難病等）は、令和元年7月1日より361疾病に拡大され、次の表の通りとなっています。

平成25年4月に「障害者自立支援法」が改正され、「障害者総合支援法」により、障害者手帳を持っている人だけに限らず、制度や慣行を含めた社会的障壁により、日常・社会生活に相当な制限を受ける状態の町内の障がいのある人すべてが障がい者の範囲に含まれることとなっています。

また、発達障がい、高次脳機能障がい等についても、実数の把握はできていませんが、必要な医療や福祉サービスをより受けやすくなるような連携強化が望まれます。

#### 難病患者の年度別所持者数

区分	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
特定医療費(指定難病)受給者証・特定疾患医療受給者証所持者数	90	92	85	88	86	89

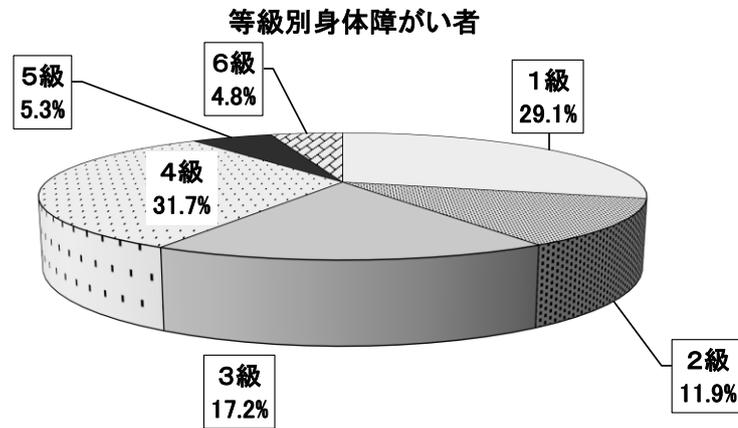
単位:人

各年3月末現在、令和2年度は、12月末現在

### (3) 障がいの程度別障がい者数

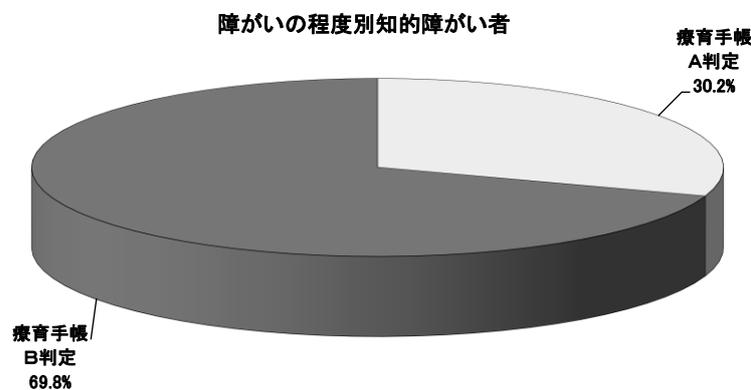
#### ① 身体障がい者

令和2年度の等級別身体障がい者の割合は、重度である1級及び2級がそれぞれ29.1%、2級が11.9%となっており、重度者が全体の4割を占めています。



#### ② 知的障がい者

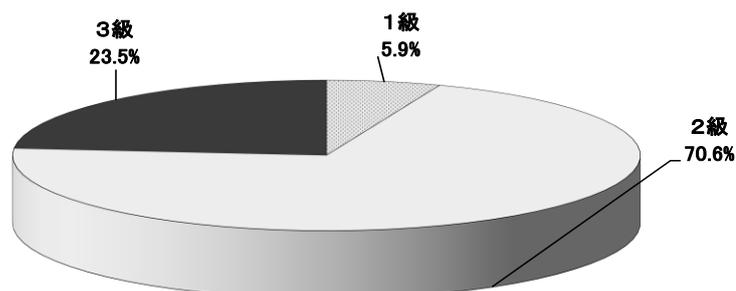
令和2年度の障がいの程度別知的障がい者の状況は、軽度である療育手帳B判定が69.8%、重度であるA判定は30.2%となっています。



#### ③ 精神障がい者（精神保健福祉手帳所持者）

令和2年度の障がいの等級別精神障がい者の状況は、重度である1級が5.9%、2級が70.61%、3級が23.5%となっています。

障がいの等級別精神障がい者の割合(手帳所持者)



## 5 要支援者の状況

### (1) 生活保護世帯の状況

生活保護世帯数は、増減を繰り返しながら令和元年度で169世帯となっています。被保護人員は、年々減少しており、令和元年度で202人となっています。

生活保護世帯数

年度	被保護世帯数(世帯)	被保護人員(人)	扶助別扶助費(千円)							1か月1人当たり扶助費(千円)
			総額	生活	住宅	教育	介護	医療	その他	
平成23年度	193	309	177,723	127,106	33,080	2,875	245	2,153	12,264	48
平成24年度	195	279	159,425	120,605	31,519	3,213	12	1,406	2,670	48
平成25年度	196	280	159,507	114,880	30,882	2,462	52	1,818	9,413	47
平成26年度	182	253	160,989	115,828	31,071	2,509	37	1,355	10,189	53
平成27年度	176	244	152,828	109,229	31,509	1,640	51	2,056	8,343	52
平成28年度	176	238	150,211	109,784	32,400	1,668	38	1,653	4,668	53
平成29年度	184	232	151,142							54
平成30年度	181	228	149,622							55
令和元年度	169	202	141,756							59

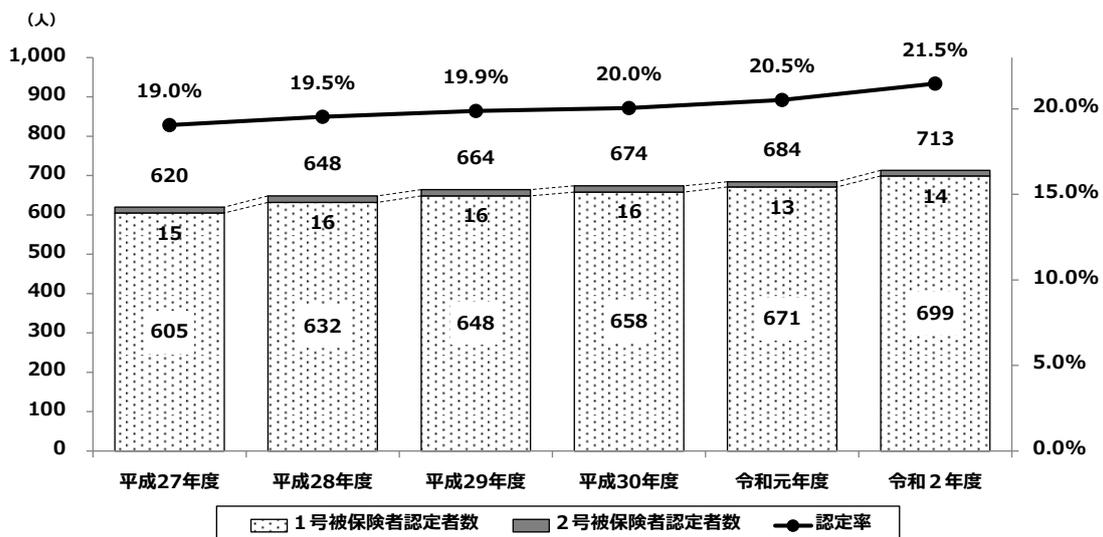
資料：北海道釧路総合振興局 ※平成29年度以降は扶助費の詳細情報は非公開となっています。

### (2) 要介護等認定者等の状況

要介護等の認定者総数は年々増加しており、平成27年度の620人から令和2年度には93人増加し713人となっています。

認定率※は令和2年度21.5%となっており、平成27年度以降増加傾向になっています。

認定者総数と1号認定率の推移



資料：住民基本台帳(各年9月末日)・厚生労働省・地域包括ケア「見える化」システム(各年9月末日、令和2年は見込み)

※認定率は第1号被保険者総数に占める認定者数の割合

#### 【第1号被保険者・第2号被保険者とは】

介護保険制度は、40歳以上の方が利用できます。被保険者は、65歳以上の第1号被保険者と、40歳以上65歳未満の第2号被保険者に分類されています。

## 6 地域の福祉資源の状況

### (1) 民生委員・児童委員の状況

本町の民生委員・児童委員数は令和2年12月現在で定数35名、一人当たりが受け持つ平均世帯数は約120世帯となっています。

### (2) ボランティア登録数

令和2年1月現在のボランティア登録者数は、個人42名、団体7団体（216名）となっています。

### (3) ボランティア団体・住民活動の状況

本町のボランティア活動は、イベントの実施を目的としたボランティア団体が個々に定期的に活動しており、ボランティアセンターを通じて連携した活動をしています。

平成27年3月災害ボランティア推進連絡会を立ち上げ、今後につなげていく体制づくりを構築し、ボランティア登録数は徐々に増えているものの、あらゆるボランティアニーズに対して早急に対応できる状況にはありません。

その他の住民活動は、依然として自治会を中心として行われているものが多く、自治会を担う人材の固定化・高齢化により、その活動や内容において課題が多い状況がみられます。

その中で、自治会の協力を得ながら、地域でのサロン活動を展開するグループもあり、地域ボランティアとしての新たな担い手のかたちとして期待される場所となっています。

## 7 成年後見制度の利用状況

「成年後見実施機関（あんしんサポートセンターあっけし）」を厚岸町社会福祉協議会に委託して運営している事業です。

また、成年後見制度の申立てにおいて、親族の支援が望めない場合に町長申立てを行い、町長申立てに掛かる費用や後見人の報酬を助成する事業です。

### ① 成年後見制度推進事業

区分	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
市民後見人養成研修(人)	—	—	9	0	10	0
支援対象者(人)	2	3	4	5	8	9

### ② 成年後見制度利用支援事業

区分	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
町長申立支援人数(人)	1	1	1	2	2	3
報酬助成件数(件)	1	1	1	2	4	3

## 第2節 第3期地域福祉計画の検証

第3期計画の推進状況は、30ある目標指標のうち、「80%以上100%未満達成」が9指標(30.0%)で最も多く、次いで「100%以上達成」が8指標(26.7%)、「50%未満達成」が6指標(20.0%)、「50%以上80%未満達成」が4指標(13.3%)、「未達成(0%)」が3指標(10.0%)となっています。

未達成や目標達成率が低い理由は制度普及が不十分なものや、福祉の意識啓発、健康意識の啓発がまだ十分ではないものなどがあげられます。

基本目標・施策の方向	100%以上達成	80%以上100%未満達成	50%以上80%未満達成	50%未満達成	未達成(0%)	合計
I 人にやさしい福祉のまちづくり	4	1	3	2	0	10
1 安心・安全のまちづくり	1		2			3
2 地域生活を支えるしくみづくり	1	1	1	2		5
3 生活環境・都市基盤の整備や有効活用	2					2
II いつまでも住み慣れた地域で暮らせるしくみづくり	4	1	0	4	1	10
1 保健・医療・福祉体制づくり	1	1		1	1	4
2 福祉サービスを支えるしくみづくり	2			2		4
3 福祉サービスの情報提供	1			1		2
III とともに支え合うまちづくり	0	7	1	0	2	10
1 住民意識の高揚と参加の促進		1	1		2	4
2 福祉コミュニティづくりの推進		6				6
合計	8	9	4	6	3	30
	26.7%	30.0%	13.3%	20.0%	10.0%	100.0%

※令和2年度の実績値を反映した達成状況

個々の目標指標の達成状況は下表の通りです。

基本目標	施策の方向	基本施策	目標指標	単位	令和2年 (見込み)	令和2年 (目標値)	達成率
Ⅰ 人にやさしい福祉のまちづくり	1 安心・安全のまちづくり	(1)緊急時・災害時の支援体制	緊急通報システム設置世帯数	世帯	70	125	56.0%
			情報キット配布数	件	382	500	76.4%
		(2)防犯対策の推進	防犯パトロールの回数	回	3	3	100.0%
	2 地域生活を支えるしくみづくり	(1)関係機関の連携・支援体制づくり	地域自立支援協議会の開催	回	3	3	100.0%
			自治会たすけあいチーム設置状況	件	9	32	28.1%
		(2)見守り・支援の体制づくり	安否確認に関する事業登録者数	人	15	700	2.1%
			認知症サポーター数	人	1055	1,100	95.9%
	(3)厚岸の宝である子どもをみんなで育てる体制づくり	ファミリー・サポート事業登録者数	人	33	50	66.0%	
	3 生活環境・都市基盤の整備や有効活用	(1)バリアフリー化の推進	通学路点検	回	1	1	100.0%
		(2)移動手段の確保	外出支援サービス事業稼働日数	日	224	220	101.8%
	Ⅱ いつまでも住み慣れた地域で暮らせるしくみづくり	1 保健・医療・福祉体制づくり	(1)福祉サービスの質の確保と向上	介護相談員派遣事業所数	事業所	5	6
(2)健康・福祉ネットワークの構築				いきいきふれあい食と健康まつりの開催	回	0	1
(3)こころとからだの健康増進			集団健康教育開催数	回	37	22	168.2%
			集団健康教育参加人数	人	200	660	30.3%
2 福祉サービスを支えるしくみづくり		(1)相談体制の整備と充実	心配ごと及び法律相談数	回	4	9	44.4%
			困った時の相談相手(民生委員・児童委員の割合)	%	1.2	6.0	20.0%
		(2)権利擁護事業の推進	市民後見機関の設置	箇所	1	1	100.0%
			日常生活自立支援員数	人	5	5	100.0%

基本目標	施策の方向	基本施策	目標指標	単位	令和2年 (見込み)	令和2年 (目標値)	達成率
	3 福祉サービスの情報提供	(1)サービス利用のための情報提供	情報をどこからも入手していない人の割合	%	12.9	10.0	129.0%
		(2)地域活動などの情報提供の充実	ボランティア活動をしている方の割合	%	4.3	15.0	28.7%
Ⅲ ともに支え合うまちづくり	1 住民意識の高揚と参加の促進	(1)地域ボランティア活動・NPO活動の促進	ボランティア団体数	団体	7	10	70.0%
			NPO団体数	団体	0	1	0.0%
		(2)地域福祉活動の人材発掘・育成	地域ボランティア個人登録者数	人	42	50	84.0%
		(3)心のバリアフリーの推進	障がい者(児)ふれあいフェスティバル「こう福祉21」の開催	回	0	1	0.0%
	2 福祉コミュニティづくりの推進	(1)社会福祉協議会への支援	社会福祉協議会の認知度(存在も活動内容も知っている人の割合)	%	49.5	50.0	99.0%
			社会福祉協議会の認知度(存在だけは知っている人の割合)	%	64.3	70.0	91.9%
			社会福祉協議会地域福祉実践計画達成率	%	94.76	95.0	99.7%
		(2)民生委員・児童委員活動への支援	地区の担当民生委員・児童委員の認知度(アンケート)	%	33.3	40.0	83.3%
		(3)コミュニケーションの場づくり	地域活動の参加状況(参加していない人の割合)	%	42.1	30.0	140.3%
		(4)自治会活動の支援	自治会の加入率	%	68.4	78	87.7%

※Ⅱ-1-(2)、Ⅲ-1-(3)は新型コロナウイルス感染症の影響から令和2年度実績なし

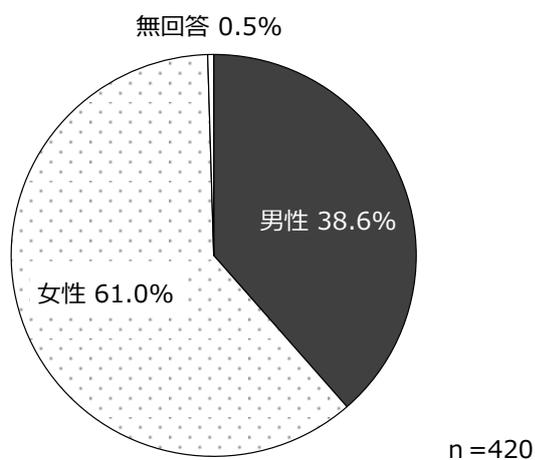
### 第3節 アンケート調査やワークショップからの課題

#### 1 アンケート調査結果

#### 1. はじめに、あなたご自身のことについておたずねします。

##### 問1 性別をおうかがいします。

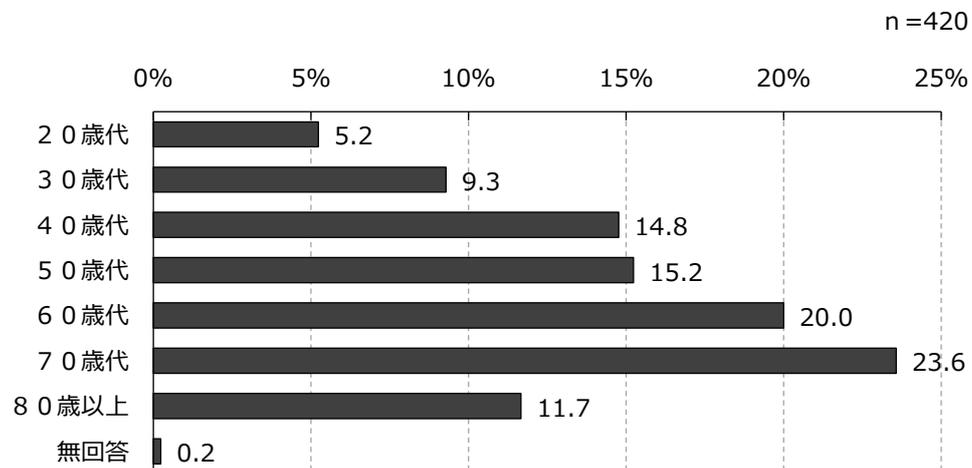
「男性」が38.6%、「女性」が61.0%となっています。



		合計	問1 性別をおうかがいします。		
			男性	女性	無回答
全体		420 100.0%	162 38.6%	256 61.0%	2 0.5%
年齢構成	20歳代	22 100.0%	8 36.4%	13 59.1%	1 4.5%
	30歳代	39 100.0%	14 35.9%	25 64.1%	0 0.0%
	40歳代	62 100.0%	26 41.9%	36 58.1%	0 0.0%
	50歳代	64 100.0%	27 42.2%	37 57.8%	0 0.0%
	60歳代	84 100.0%	36 42.9%	48 57.1%	0 0.0%
	70歳代	99 100.0%	35 35.4%	63 63.6%	1 1.0%
	80歳以上	49 100.0%	15 30.6%	34 69.4%	0 0.0%
	無回答	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%

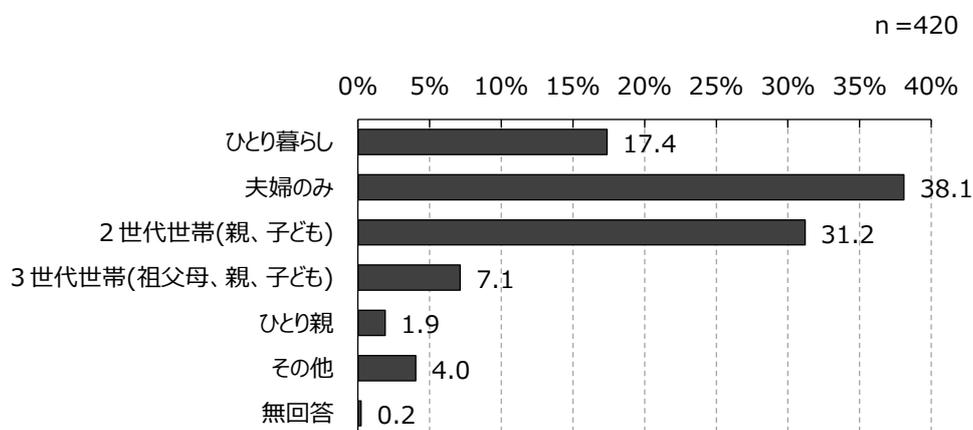
## 問2 年齢をおうかがいします。

「70歳代」が23.6%と最も多く、次いで「60歳代」が20.0%、「50歳代」が15.2%、「40歳代」が14.8%、「80歳以上」が11.7%となっています。



### 問3 現在の家族構成についてお答えください。

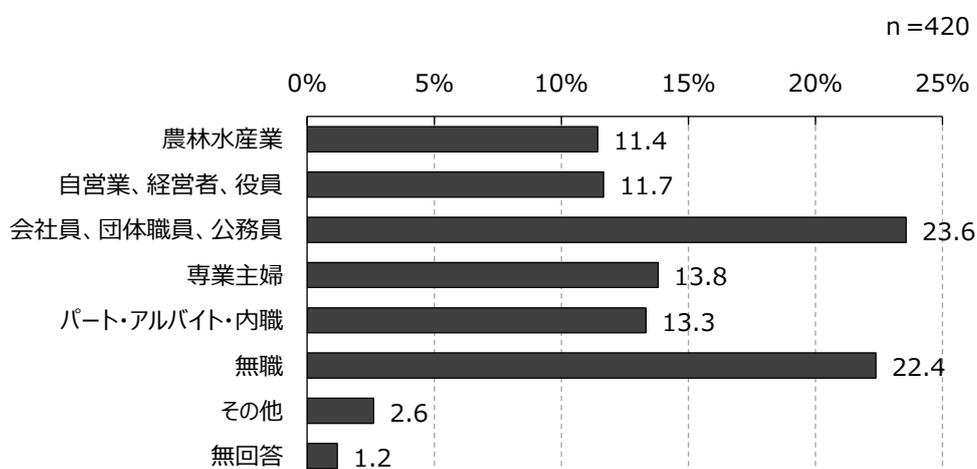
「夫婦のみ」が38.1%と最も多く、次いで「2世代世帯(親、子ども)」が31.2%、「ひとり暮らし」が17.4%、「3世代世帯(祖父母、親、子ども)」が7.1%となっています。



		合計	問3 現在の家族構成についてお答えください。						
			ひとり暮らし	夫婦のみ	2世代世帯(親、子ども)	3世代世帯(祖父母、親、子ども)	ひとり親	その他	無回答
全体		420 100.0%	73 17.4%	160 38.1%	131 31.2%	30 7.1%	8 1.9%	17 4.0%	1 0.2%
年齢構成	20歳代	22 100.0%	10 45.5%	5 22.7%	3 13.6%	1 4.5%	1 4.5%	2 9.1%	0 0.0%
	30歳代	39 100.0%	5 12.8%	6 15.4%	19 48.7%	5 12.8%	2 5.1%	2 5.1%	0 0.0%
	40歳代	62 100.0%	4 6.5%	11 17.7%	36 58.1%	7 11.3%	1 1.6%	3 4.8%	0 0.0%
	50歳代	64 100.0%	12 18.8%	14 21.9%	26 40.6%	5 7.8%	2 3.1%	4 6.3%	1 1.6%
	60歳代	84 100.0%	8 9.5%	52 61.9%	18 21.4%	4 4.8%	1 1.2%	1 1.2%	0 0.0%
	70歳代	99 100.0%	19 19.2%	50 50.5%	19 19.2%	6 6.1%	1 1.0%	4 4.0%	0 0.0%
	80歳以上	49 100.0%	15 30.6%	22 44.9%	9 18.4%	2 4.1%	0 0.0%	1 2.0%	0 0.0%
	無回答	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

#### 問4 あなたのご職業についてお答えください。

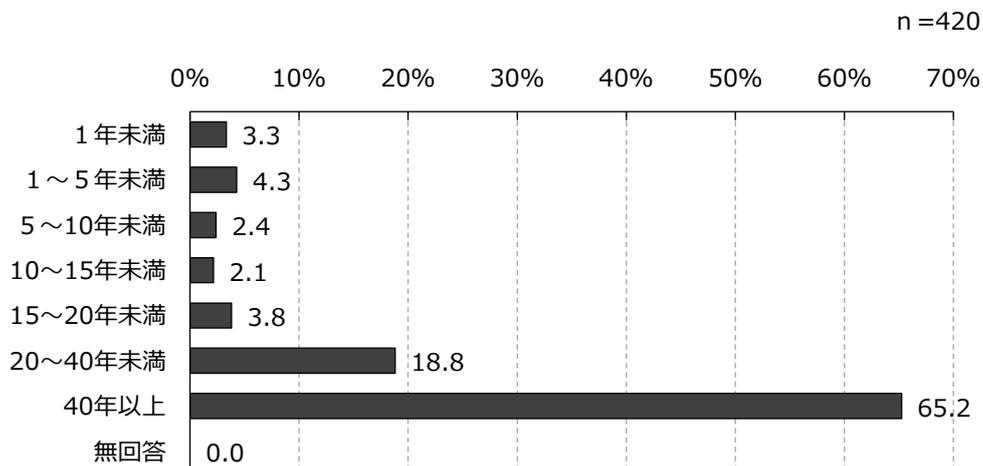
「会社員、団体職員、公務員」が23.6%と最も多く、次いで「無職」が22.4%、「専業主婦」が13.8%、「パート・アルバイト・内職」が13.3%、「自営業、経営者、役員」が11.7%となっています。



		問4 あなたのご職業についてお答えください。								
		合計	農林水産業	自営業、経営者、役員	会社員、団体職員、公務員	専業主婦	パート・アルバイト・内職	無職	その他	無回答
全体		420 100.0%	48 11.4%	49 11.7%	99 23.6%	58 13.8%	56 13.3%	94 22.4%	11 2.6%	5 1.2%
年齢構成	20歳代	22 100.0%	2 9.1%	1 4.5%	12 54.5%	1 4.5%	4 18.2%	1 4.5%	1 4.5%	0 0.0%
	30歳代	39 100.0%	5 12.8%	1 2.6%	19 48.7%	8 20.5%	5 12.8%	1 2.6%	0 0.0%	0 0.0%
	40歳代	62 100.0%	4 6.5%	6 9.7%	27 43.5%	6 9.7%	12 19.4%	3 4.8%	4 6.5%	0 0.0%
	50歳代	64 100.0%	9 14.1%	11 17.2%	27 42.2%	4 6.3%	8 12.5%	2 3.1%	2 3.1%	1 1.6%
	60歳代	84 100.0%	15 17.9%	10 11.9%	11 13.1%	11 13.1%	18 21.4%	16 19.0%	2 2.4%	1 1.2%
	70歳代	99 100.0%	8 8.1%	11 11.1%	3 3.0%	22 22.2%	9 9.1%	42 42.4%	2 2.0%	2 2.0%
	80歳以上	49 100.0%	5 10.2%	9 18.4%	0 0.0%	6 12.2%	0 0.0%	28 57.1%	0 0.0%	1 2.0%
	無回答	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%

**問5 厚岸町には何年くらいお住まいですか。厚岸町から一度町外に転出し（例えば進学や就職のため）戻ってこられた場合は厚岸町に住んでいる合計年数でお答えください。**

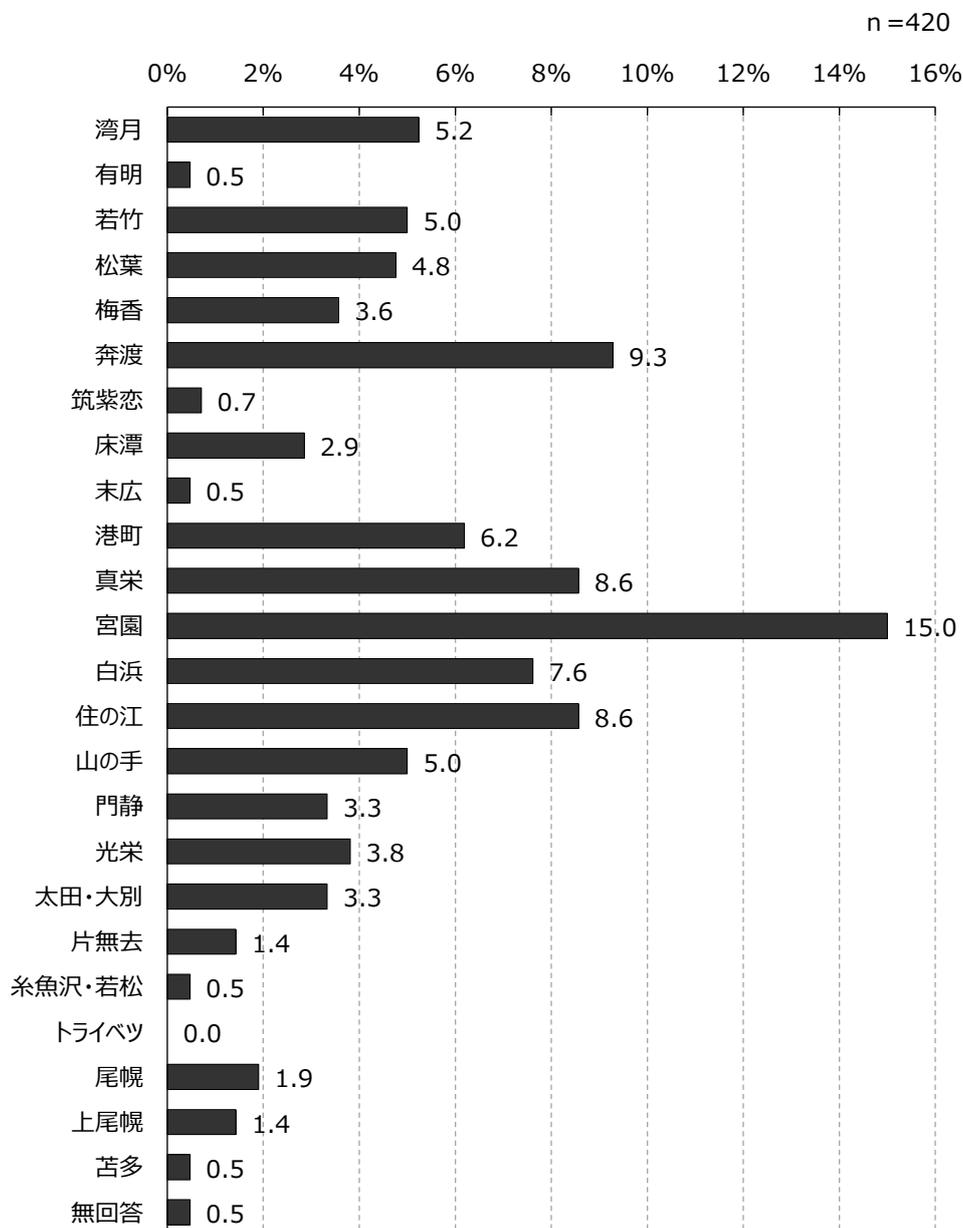
「40年以上」が65.2%と最も多く、次いで「20～40年未満」が18.8%、「1～5年未満」が4.3%、「15～20年未満」が3.8%、「1年未満」が3.3%となっています。



		合計	問5 厚岸町には何年くらいお住まいですか。厚岸町から一度町外に転出し（例えば進学や就職のため）戻ってこられた場合は厚岸町に住んでいる合計年数でお答えください。							
			1年未満	1～5年未満	5～10年未満	10～15年未満	15～20年未満	20～40年未満	40年以上	無回答
全体		420 100.0%	14 3.3%	18 4.3%	10 2.4%	9 2.1%	16 3.8%	79 18.8%	274 65.2%	0 0.0%
年齢構成	20歳代	22 100.0%	6 27.3%	6 27.3%	0 0.0%	1 4.5%	4 18.2%	5 22.7%	0 0.0%	0 0.0%
	30歳代	39 100.0%	4 10.3%	6 15.4%	4 10.3%	2 5.1%	1 2.6%	22 56.4%	0 0.0%	0 0.0%
	40歳代	62 100.0%	2 3.2%	2 3.2%	1 1.6%	4 6.5%	6 9.7%	18 29.0%	29 46.8%	0 0.0%
	50歳代	64 100.0%	2 3.1%	3 4.7%	1 1.6%	1 1.6%	3 4.7%	11 17.2%	43 67.2%	0 0.0%
	60歳代	84 100.0%	0 0.0%	1 1.2%	1 1.2%	1 1.2%	1 1.2%	14 16.7%	66 78.6%	0 0.0%
	70歳代	99 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 3.0%	0 0.0%	1 1.0%	7 7.1%	88 88.9%	0 0.0%
	80歳以上	49 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 4.1%	47 95.9%	0 0.0%
	無回答	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%

## 問6 お住まいの地区をおうかがいします。

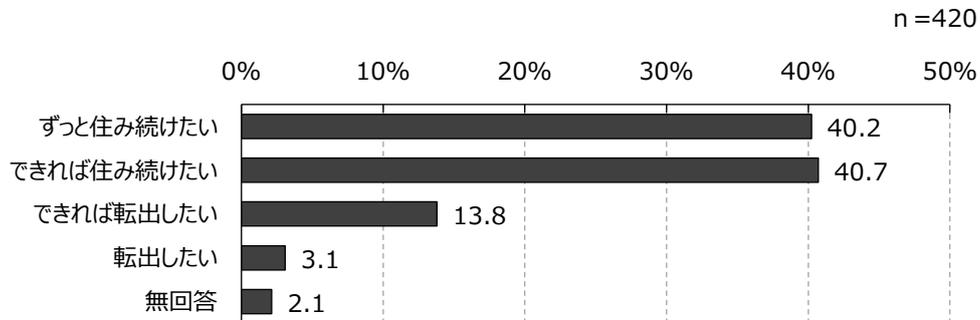
「宮園」が15.0%と最も多く、次いで「奔渡」が9.3%、「真栄」及び「住の江」が8.6%、「白浜」が7.6%となっています。



## 2. 地域との関わりについて

### 問7 将来も厚岸町に住み続けたいと思いますか。

「できれば住み続けたい」が40.7%と最も多く、次いで「ずっと住み続けたい」が40.2%、「できれば転出したい」が13.8%、「転出したい」が3.1%となっています。



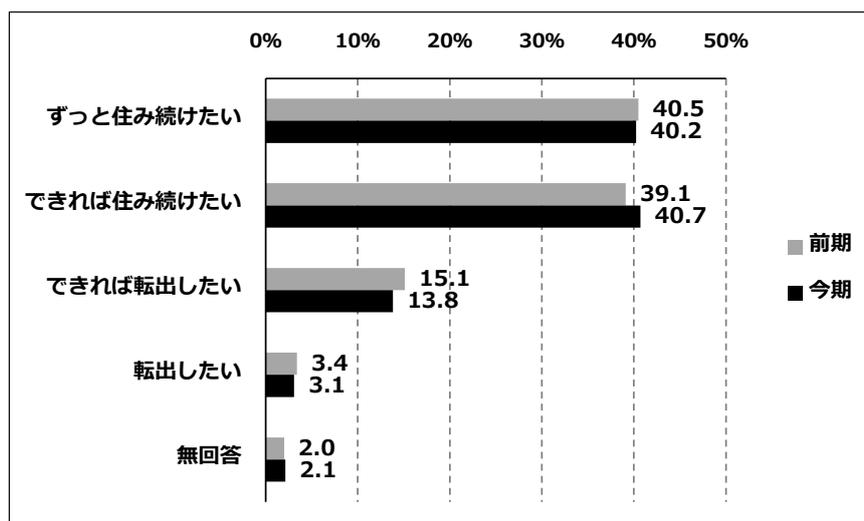
		合計	問7 将来も厚岸町に住み続けたいと思いますか。				
			ずっと住み続けたい	できれば住み続けたい	できれば転出したい	転出したい	無回答
全体		420 100.0%	169 40.2%	171 40.7%	58 13.8%	13 3.1%	9 2.1%
年齢構成	20歳代	22 100.0%	3 13.6%	10 45.5%	7 31.8%	2 9.1%	0 0.0%
	30歳代	39 100.0%	7 17.9%	20 51.3%	6 15.4%	5 12.8%	1 2.6%
	40歳代	62 100.0%	18 29.0%	27 43.5%	12 19.4%	3 4.8%	2 3.2%
	50歳代	64 100.0%	17 26.6%	30 46.9%	12 18.8%	2 3.1%	3 4.7%
	60歳代	84 100.0%	38 45.2%	31 36.9%	13 15.5%	1 1.2%	1 1.2%
	70歳代	99 100.0%	60 60.6%	33 33.3%	5 5.1%	0 0.0%	1 1.0%
	80歳以上	49 100.0%	25 51.0%	20 40.8%	3 6.1%	0 0.0%	1 2.0%
	無回答	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

		合計	問7 将来も厚岸町に住み続けたいと思いますか。				
			ずっと住み続けたい	できれば住み続けたい	できれば転出したい	転出したい	無回答
全体		420 100.0%	169 40.2%	171 40.7%	58 13.8%	13 3.1%	9 2.1%
問1 性別をおうかがいます。	男性	162 100.0%	75 46.3%	61 37.7%	18 11.1%	5 3.1%	3 1.9%
	女性	256 100.0%	93 36.3%	109 42.6%	40 15.6%	8 3.1%	6 2.3%
	無回答	2 100.0%	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

		合計	問7 将来も厚岸町に住み続けたいと思いますか。				
			ずっと住み続けたい	できれば住み続けたい	できれば転出したい	転出した	無回答
全体		420 100.0%	169 40.2%	171 40.7%	58 13.8%	13 3.1%	9 2.1%
問5 厚岸町には何年くらいお住まいですか。厚岸町に住んでいる合計年数でお答えください。	1年未満	14 100.0%	0 0.0%	6 42.9%	5 35.7%	2 14.3%	1 7.1%
	1～5年未満	18 100.0%	1 5.6%	7 38.9%	2 11.1%	7 38.9%	1 5.6%
	5～10年未満	10 100.0%	2 20.0%	5 50.0%	2 20.0%	0 0.0%	1 10.0%
	10～15年未満	9 100.0%	0 0.0%	3 33.3%	5 55.6%	1 11.1%	0 0.0%
	15～20年未満	16 100.0%	3 18.8%	5 31.3%	8 50.0%	0 0.0%	0 0.0%
	20～40年未満	79 100.0%	21 26.6%	45 57.0%	10 12.7%	2 2.5%	1 1.3%
	40年以上	274 100.0%	142 51.8%	100 36.5%	26 9.5%	1 0.4%	5 1.8%
	無回答	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

## ●前期計画との比較

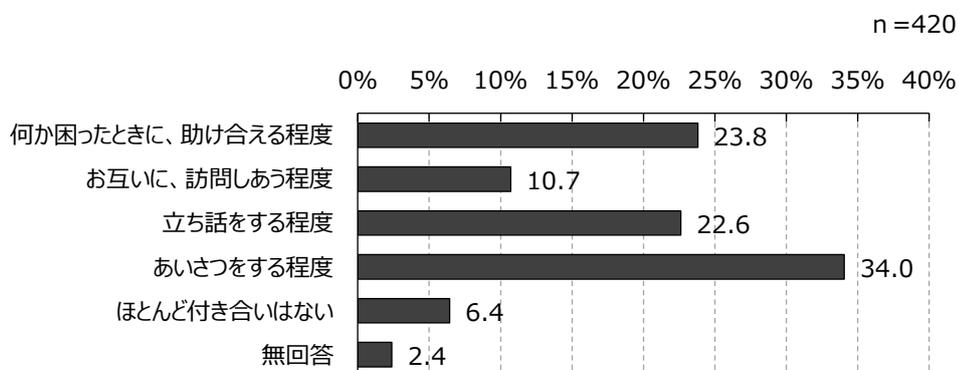
「できれば住み続けたい」がプラス1.6%、「ずっと住み続けたい」が-0.3%、「できれば転出したい」が-1.3%、「転出したい」が-0.3%となっています。



カテゴリー名	前期	今期	前期との差
ずっと住み続けたい	40.5	40.2	-0.3
できれば住み続けたい	39.1	40.7	1.6
できれば転出したい	15.1	13.8	-1.3
転出したい	3.4	3.1	-0.3
無回答	2.0	2.1	0.1

## 問8 ご近所とのお付き合いをどの程度していますか。

「あいさつをする程度」が34.0%と最も多く、次いで「何か困ったときに、助け合える程度」が23.8%、「立ち話をする程度」が22.6%、「お互いに、訪問しあう程度」が10.7%、「ほとんど付き合いはない」が6.4%となっています。



		問8 ご近所とのお付き合いをどの程度していますか。						
		合計	何か困ったときに、助け合える程度	お互いに、訪問しあう程度	立ち話をする程度	あいさつをする程度	ほとんど付き合いはない	無回答
全体		420 100.0%	100 23.8%	45 10.7%	95 22.6%	143 34.0%	27 6.4%	10 2.4%
年齢構成	20歳代	22 100.0%	2 9.1%	0 0.0%	1 4.5%	12 54.5%	7 31.8%	0 0.0%
	30歳代	39 100.0%	10 25.6%	4 10.3%	5 12.8%	18 46.2%	2 5.1%	0 0.0%
	40歳代	62 100.0%	10 16.1%	1 1.6%	10 16.1%	32 51.6%	9 14.5%	0 0.0%
	50歳代	64 100.0%	18 28.1%	1 1.6%	10 15.6%	29 45.3%	4 6.3%	2 3.1%
	60歳代	84 100.0%	20 23.8%	8 9.5%	25 29.8%	26 31.0%	2 2.4%	3 3.6%
	70歳代	99 100.0%	26 26.3%	16 16.2%	34 34.3%	20 20.2%	1 1.0%	2 2.0%
	80歳以上	49 100.0%	14 28.6%	15 30.6%	10 20.4%	5 10.2%	2 4.1%	3 6.1%
	無回答	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%

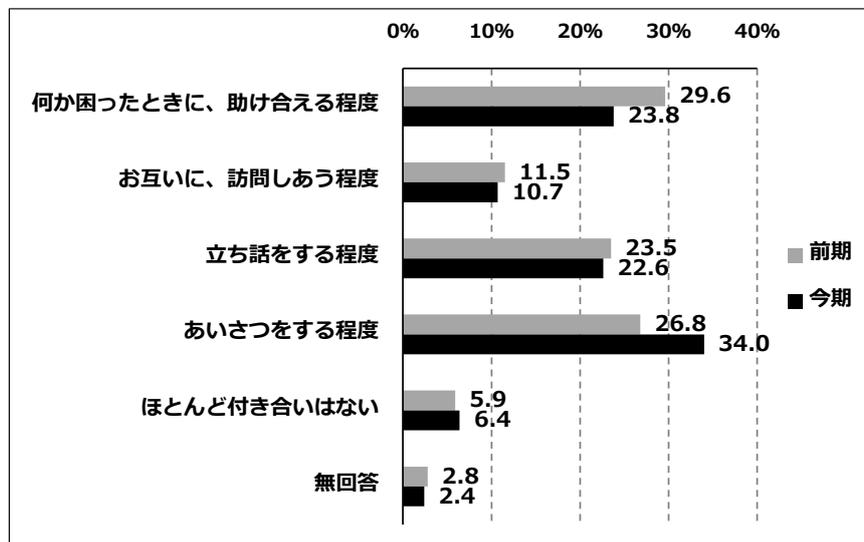
		合計	問8 ご近所との付き合いをどの程度していますか。					無回答
			何か困ったときに、助け合える程度	お互いに、訪問しあう程度	立ち話をする程度	あいさつをする程度	ほとんど付き合いはない	
問1 性別をおうかがいします。	全体	420 100.0%	100 23.8%	45 10.7%	95 22.6%	143 34.0%	27 6.4%	10 2.4%
	男性	162 100.0%	46 28.4%	13 8.0%	30 18.5%	60 37.0%	10 6.2%	3 1.9%
	女性	256 100.0%	53 20.7%	32 12.5%	65 25.4%	83 32.4%	16 6.3%	7 2.7%
	無回答	2 100.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%

		合計	問8 ご近所との付き合いをどの程度していますか。					無回答
			何か困ったときに、助け合える程度	お互いに、訪問しあう程度	立ち話をする程度	あいさつをする程度	ほとんど付き合いはない	
全体		420 100.0%	100 23.8%	45 10.7%	95 22.6%	143 34.0%	27 6.4%	10 2.4%
問3 現在の家族構成についてお答えください。	ひとり暮らし	73 100.0%	12 16.4%	6 8.2%	15 20.5%	28 38.4%	11 15.1%	1 1.4%
	夫婦のみ	160 100.0%	37 23.1%	20 12.5%	47 29.4%	45 28.1%	7 4.4%	4 2.5%
	2世代世帯（親、子ども）	131 100.0%	30 22.9%	13 9.9%	23 17.6%	56 42.7%	7 5.3%	2 1.5%
	3世代世帯（祖父母、親、子ども）	30 100.0%	13 43.3%	3 10.0%	4 13.3%	8 26.7%	1 3.3%	1 3.3%
	ひとり親	8 100.0%	4 50.0%	1 12.5%	1 12.5%	2 25.0%	0 0.0%	0 0.0%
	その他	17 100.0%	4 23.5%	2 11.8%	5 29.4%	4 23.5%	1 5.9%	1 5.9%
	無回答	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%

		合計	問7 厚岸町に住み続けたいか 住み続けたくないか（統合）		
			住み続け たい	住み続け たくない	無回答
全体		420 100.0%	340 81.0%	71 16.9%	9 2.1%
問8 ご近所 との付き合いをどの程度 しています か。	何か困ったときに、助け合 える程度	100 100.0%	90 90.0%	9 9.0%	1 1.0%
	お互いに、訪問しあう程度	45 100.0%	43 95.6%	2 4.4%	0 0.0%
	立ち話をする程度	95 100.0%	82 86.3%	13 13.7%	0 0.0%
	あいさつをする程度	143 100.0%	103 72.0%	34 23.8%	6 4.2%
	ほとんど付き合いはない	27 100.0%	15 55.6%	12 44.4%	0 0.0%
	無回答	10 100.0%	7 70.0%	1 10.0%	2 20.0%

### ●前期計画との比較

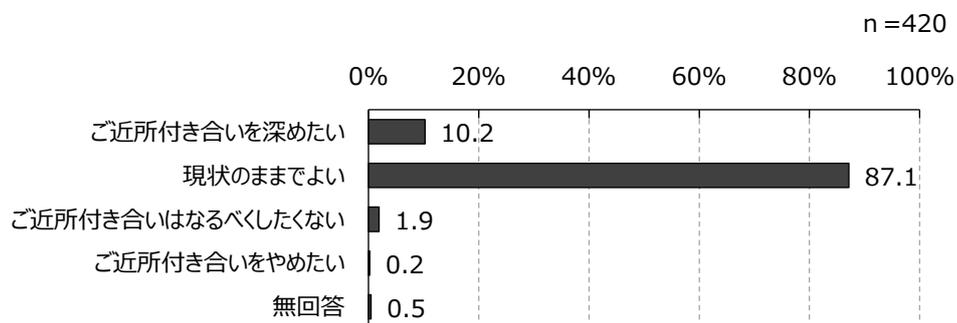
「あいさつをする程度」がプラス7.2%、「何か困ったときに、助け合える程度」が-5.8%、「立ち話をする程度」が-0.9%、「お互いに、訪問しあう程度」が-0.8%、「ほとんど付き合いはない」がプラス0.5%となっています。



カテゴリー名	前期	今期	前期との差
何か困ったときに、助け合える程度	29.6	23.8	-5.8
お互いに、訪問しあう程度	11.5	10.7	-0.8
立ち話をする程度	23.5	22.6	-0.9
あいさつをする程度	26.8	34.0	7.2
ほとんど付き合いはない	5.9	6.4	0.5
無回答	2.8	2.4	-0.4

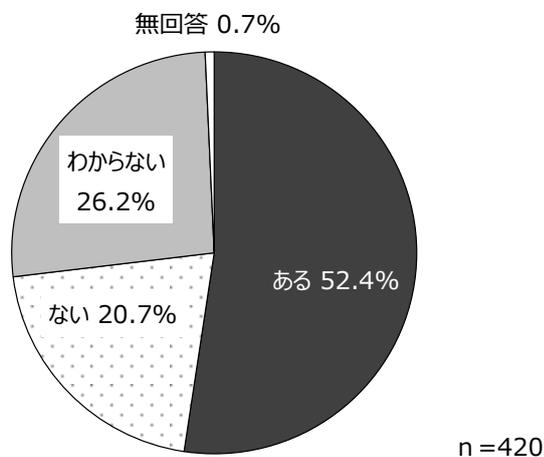
### 問9 あなたは、近所付き合いの関係を、今後どうしていきたいですか。

「現状のままでよい」が87.1%と最も多く、次いで「ご近所付き合いを深めたい」が10.2%、「ご近所付き合いはなるべくしたくない」が1.9%、「ご近所付き合いをやめたい」が0.2%となっています。



### 問10 地域に助けられたり、支えられたと感じたことはありますか。

「ある」が52.4%と最も多く、次いで「わからない」が26.2%、「ない」が20.7%となっています。



		合計	問10 地域に助けられたり、支えられたと感じたことはありますか。			
			ある	ない	わからない	無回答
全体		420 100.0%	220 52.4%	87 20.7%	110 26.2%	3 0.7%
年齢構成	20歳代	22 100.0%	8 36.4%	5 22.7%	9 40.9%	0 0.0%
	30歳代	39 100.0%	20 51.3%	7 17.9%	12 30.8%	0 0.0%
	40歳代	62 100.0%	27 43.5%	11 17.7%	24 38.7%	0 0.0%
	50歳代	64 100.0%	31 48.4%	10 15.6%	23 35.9%	0 0.0%
	60歳代	84 100.0%	42 50.0%	18 21.4%	22 26.2%	2 2.4%
	70歳代	99 100.0%	57 57.6%	29 29.3%	12 12.1%	1 1.0%
	80歳以上	49 100.0%	35 71.4%	7 14.3%	7 14.3%	0 0.0%
	無回答	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%

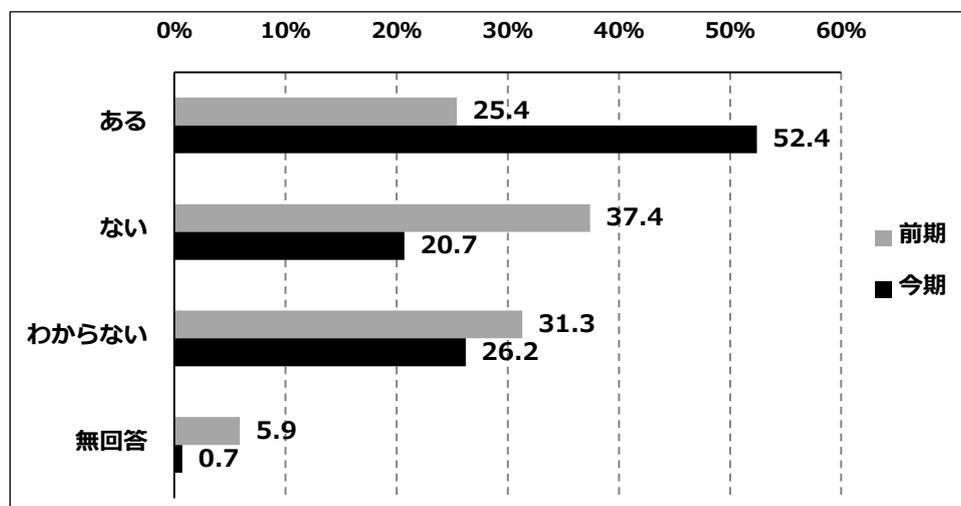
		合計	問10 地域に助けられたり、支えられたと感じたことはありますか。			
			ある	ない	わからない	無回答
全体		420 100.0%	220 52.4%	87 20.7%	110 26.2%	3 0.7%
問3 現在の家族構成についてお答えください。	ひとり暮らし	73 100.0%	45 61.6%	12 16.4%	15 20.5%	1 1.4%
	夫婦のみ	160 100.0%	76 47.5%	46 28.8%	37 23.1%	1 0.6%
	2世代世帯（親、子ども）	131 100.0%	67 51.1%	22 16.8%	42 32.1%	0 0.0%
	3世代世帯（祖父母、親、子ども）	30 100.0%	17 56.7%	3 10.0%	9 30.0%	1 3.3%
	ひとり親	8 100.0%	5 62.5%	1 12.5%	2 25.0%	0 0.0%
	その他	17 100.0%	9 52.9%	3 17.6%	5 29.4%	0 0.0%
	無回答	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

		合計	問7 厚岸町に住み続けたいか 住み続けたくないか（統合）		
			住み続け たい	住み続け たくない	無回答
全体		420 100.0%	340 81.0%	71 16.9%	9 2.1%
問10 地域に 助けられた り、支えられ たと感じたこ とはあります か。	ある	220 100.0%	191 86.8%	25 11.4%	4 1.8%
	ない	87 100.0%	67 77.0%	19 21.8%	1 1.1%
	わからない	110 100.0%	80 72.7%	27 24.5%	3 2.7%
	無回答	3 100.0%	2 66.7%	0 0.0%	1 33.3%

		合計	問8 ご近所とのお付き合いをどの程度していますか。					無回答
			何か困っ たとき に、助け 合える程 度	お互い に、訪問 しあう程 度	立ち話を する程度	あいさつ をする程 度	ほとんど 付き合い はない	
全体		420 100.0%	100 23.8%	45 10.7%	95 22.6%	143 34.0%	27 6.4%	10 2.4%
問10 地域に 助けられた り、支えられ たと感じたこ とはあります か。	ある	220 100.0%	77 35.0%	32 14.5%	45 20.5%	51 23.2%	7 3.2%	8 3.6%
	ない	87 100.0%	11 12.6%	5 5.7%	23 26.4%	36 41.4%	11 12.6%	1 1.1%
	わからない	110 100.0%	12 10.9%	8 7.3%	26 23.6%	55 50.0%	9 8.2%	0 0.0%
	無回答	3 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 33.3%	1 33.3%	0 0.0%	1 33.3%

## ●前期計画との比較

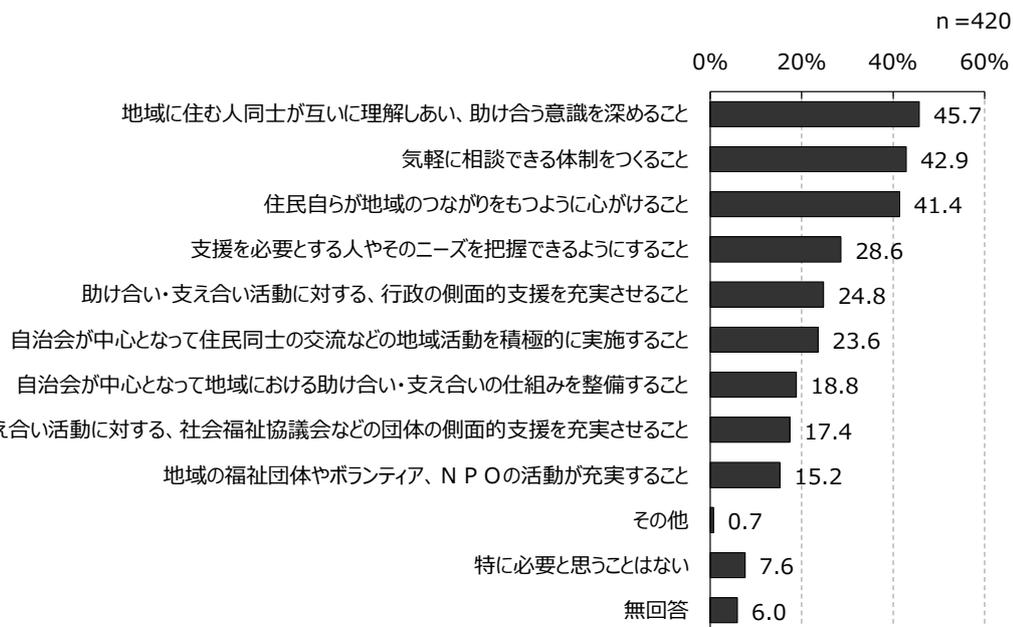
「ある」がプラス27.0%、「わからない」が-5.1%、「ない」が-16.7%となっています。



カテゴリー名	前期	今期	前期との差
ある	25.4	52.4	27.0
ない	37.4	20.7	-16.7
わからない	31.3	26.2	-5.1
無回答	5.9	0.7	-5.2

### 問11 地域で助け合い・支え合いの輪を広げていくために、特に必要だと思うことはどのようなことですか。(複数回答)

「地域に住む人同士が互いに理解しあい、助け合う意識を深めること」が45.7%と最も多く、次いで「気軽に相談できる体制をつくること」が42.9%、「住民自らが地域のつながりをもつように心がけること」が41.4%、「支援を必要とする人やそのニーズを把握できるようにすること」が28.6%、「助け合い・支え合い活動に対する、行政の側面的支援を充実させること」が24.8%となっています。



		問11 地域で助け合い・支え合いの輪を広げていくために、特に必要だと思うことはどのようなことですか。												
		住民自らが地域のつながりをもつように心がけること	地域に住む人同士が互いに理解しあい、助け合う意識を深めること	自治会が中心となって住民同士の交流などの地域活動を積極的に実施すること	自治会が中心となって地域における助け合い・支え合いの仕組みを整備すること	地域の福祉団体やボランティア、NPOの活動が充実すること	支援を必要とする人やそのニーズを把握できるようにすること	助け合い・支え合い活動に対する、社会福祉協議会などの団体の側面的支援を充実させること	助け合い・支え合い活動に対する、行政の側面的支援を充実させること	気軽に相談できる体制をつくること	その他	特に必要と思うことはない	無回答	
全体		420 100.0%	174 41.4%	192 45.7%	99 23.6%	79 18.8%	64 15.2%	120 28.6%	73 17.4%	104 24.8%	180 42.9%	3 0.7%	32 7.6%	25 6.0%
年齢構成	20歳代	22 100.0%	9 40.9%	16 72.7%	6 27.3%	4 18.2%	3 13.6%	8 36.4%	6 27.3%	8 36.4%	8 36.4%	1 4.5%	1 4.5%	0 0.0%
	30歳代	39 100.0%	19 48.7%	20 51.3%	6 15.4%	6 15.4%	10 25.6%	12 30.8%	6 15.4%	10 25.6%	14 35.9%	0 0.0%	3 7.7%	1 2.6%
	40歳代	62 100.0%	22 35.5%	29 46.8%	7 11.3%	9 14.5%	6 9.7%	14 22.6%	5 8.1%	10 16.1%	23 37.1%	1 1.6%	6 9.7%	2 3.2%
	50歳代	64 100.0%	28 43.8%	26 40.6%	9 14.1%	11 17.2%	13 20.3%	25 39.1%	15 23.4%	17 26.6%	27 42.2%	0 0.0%	7 10.9%	2 3.1%
	60歳代	84 100.0%	43 51.2%	39 46.4%	23 27.4%	14 16.7%	14 16.7%	27 32.1%	13 15.5%	26 31.0%	41 48.8%	0 0.0%	6 7.1%	4 4.8%
	70歳代	99 100.0%	32 32.3%	39 39.4%	33 33.3%	23 23.2%	15 15.2%	26 26.3%	22 22.2%	22 22.2%	45 45.5%	0 0.0%	5 5.1%	11 11.1%
	80歳以上	49 100.0%	20 40.8%	23 46.9%	15 30.6%	11 22.4%	3 6.1%	8 16.3%	6 12.2%	10 20.4%	21 42.9%	1 2.0%	4 8.2%	5 10.2%
	無回答	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

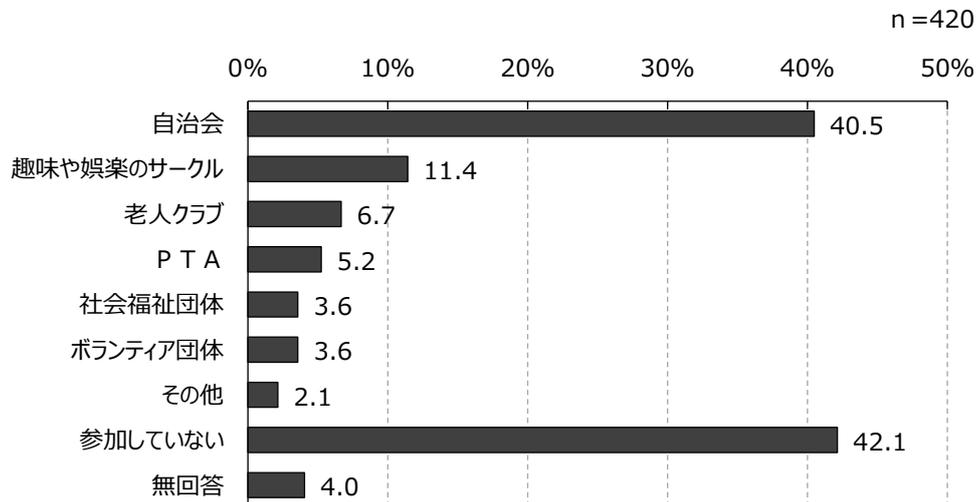
		合計	問10 地域に助けられたり、支えられたと感じたことはありますか。			
			ある	ない	わからない	無回答
全体		420 100.0%	220 52.4%	87 20.7%	110 26.2%	3 0.7%
問11 地域で助け合い・支え合いの輪を広げていくために、特に必要だと思うことはどのようなことですか。	住民自らが地域のつながりをもつように心がけること	174 100.0%	115 66.1%	23 13.2%	35 20.1%	1 0.6%
	地域に住む人同士が互いに理解しあい、助け合う意識を深めること	192 100.0%	129 67.2%	27 14.1%	36 18.8%	0 0.0%
	自治会が中心となって住民同士の交流などの地域活動を積極的に実施すること	99 100.0%	67 67.7%	15 15.2%	16 16.2%	1 1.0%
	自治会が中心となって地域における助け合い・支え合いの仕組みを整備すること	79 100.0%	53 67.1%	14 17.7%	12 15.2%	0 0.0%
	地域の福祉団体やボランティア、NPOの活動が充実すること	64 100.0%	42 65.6%	10 15.6%	12 18.8%	0 0.0%
	支援を必要とする人やそのニーズを把握できるようにすること	120 100.0%	67 55.8%	23 19.2%	29 24.2%	1 0.8%
	助け合い・支え合い活動に対する、社会福祉協議会などの団体の側面的支援を充実させること	73 100.0%	52 71.2%	11 15.1%	10 13.7%	0 0.0%
	助け合い・支え合い活動に対する、行政の側面的支援を充実させること	104 100.0%	60 57.7%	22 21.2%	21 20.2%	1 1.0%
	気軽に相談できる体制をつくること	180 100.0%	93 51.7%	35 19.4%	50 27.8%	2 1.1%
	その他	3 100.0%	1 33.3%	1 33.3%	1 33.3%	0 0.0%
	特に必要と思うことはない	32 100.0%	6 18.8%	16 50.0%	10 31.3%	0 0.0%
	無回答	25 100.0%	13 52.0%	4 16.0%	7 28.0%	1 4.0%

### 3. 地域活動やボランティア活動について

#### 問12 あなたが参加している地域活動をお答えください。(複数回答)

「自治会」が40.5%、「趣味や娯楽のサークル」が11.4%、「老人クラブ」が6.7%、「PTA」が5.2%となっています。

また、「参加していない」との回答が42.1%と最も多くなっています。

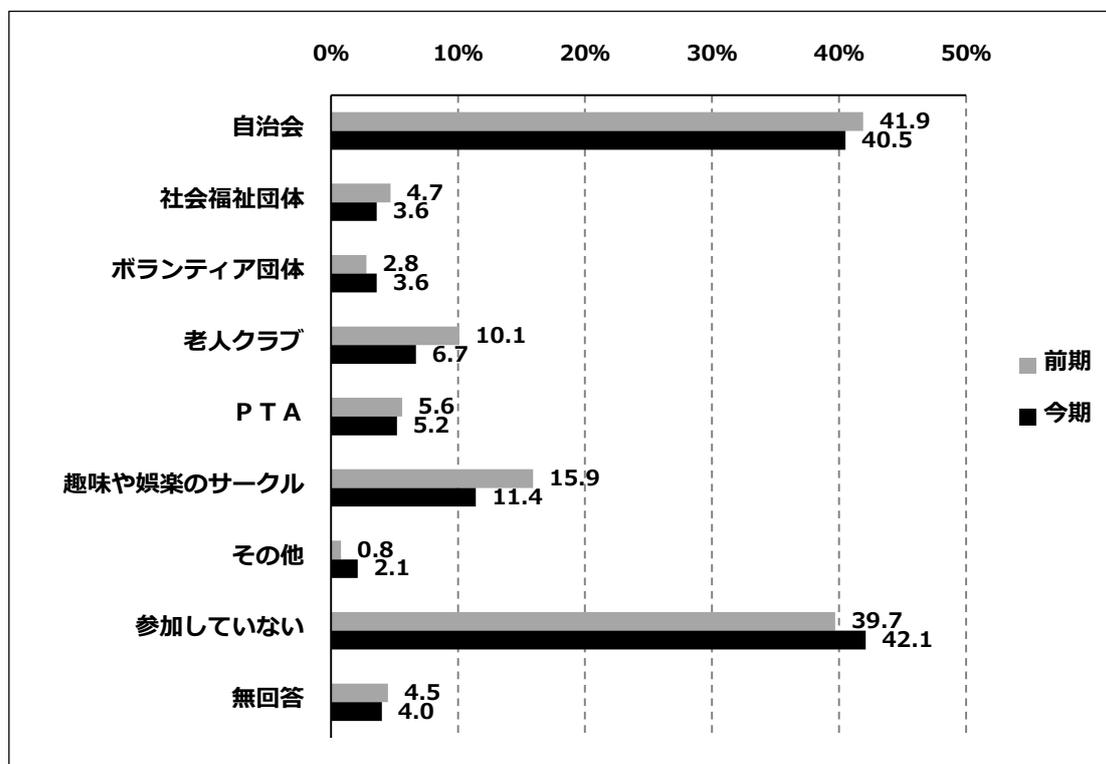


		合計	問12 あなたが参加している地域活動をお答えください。								
			自治会	社会福祉団体	ボランティア団体	老人クラブ	P T A	趣味や娯楽のサークル	その他	参加していない	無回答
全体		420	170	15	15	28	22	48	9	177	17
		100.0%	40.5%	3.6%	3.6%	6.7%	5.2%	11.4%	2.1%	42.1%	4.0%
年齢構成	20歳代	22	3	0	0	0	2	4	0	14	0
		100.0%	13.6%	0.0%	0.0%	0.0%	9.1%	18.2%	0.0%	63.6%	0.0%
	30歳代	39	9	0	2	1	10	5	2	20	0
		100.0%	23.1%	0.0%	5.1%	2.6%	25.6%	12.8%	5.1%	51.3%	0.0%
	40歳代	62	24	0	2	0	5	4	1	31	2
		100.0%	38.7%	0.0%	3.2%	0.0%	8.1%	6.5%	1.6%	50.0%	3.2%
	50歳代	64	24	2	1	0	3	9	2	30	3
		100.0%	37.5%	3.1%	1.6%	0.0%	4.7%	14.1%	3.1%	46.9%	4.7%
60歳代	84	41	0	3	0	1	8	2	33	5	
	100.0%	48.8%	0.0%	3.6%	0.0%	1.2%	9.5%	2.4%	39.3%	6.0%	
70歳代	99	45	10	6	13	0	15	1	37	4	
	100.0%	45.5%	10.1%	6.1%	13.1%	0.0%	15.2%	1.0%	37.4%	4.0%	
80歳以上	49	23	3	1	14	1	3	1	12	3	
	100.0%	46.9%	6.1%	2.0%	28.6%	2.0%	6.1%	2.0%	24.5%	6.1%	
無回答	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	
	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	

## ●前期計画との比較

「自治会」が-1.4%、「趣味や娯楽のサークル」が-4.5%、「老人クラブ」が-3.4%、「PTA」が-0.4%となっています。

また、「参加していない」との回答がプラス2.4%となっています。

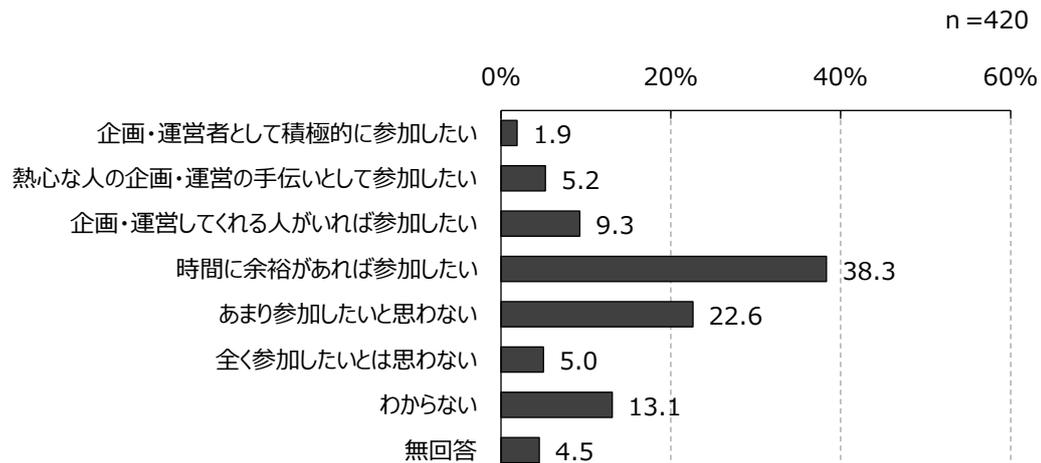


カテゴリー名	前期	今期	前期との差
自治会	41.9	40.5	-1.4
社会福祉団体	4.7	3.6	-1.1
ボランティア団体	2.8	3.6	0.8
老人クラブ	10.1	6.7	-3.4
PTA	5.6	5.2	-0.4
趣味や娯楽のサークル	15.9	11.4	-4.5
その他	0.8	2.1	1.3
参加していない	39.7	42.1	2.4
無回答	4.5	4.0	-0.5

**問13 自治会や社会福祉・生涯学習等の隣近所での活動に、どのように参加したいですか。**

「時間に余裕があれば参加したい」が38.3%と最も多く、次いで「あまり参加したいと思わない」が22.6%、「企画・運営してくれる人がいれば参加したい」が9.3%、「熱心な人の企画・運営の手伝いとして参加したい」が5.2%となっています。

また、「わからない」との回答は13.1%となっています。



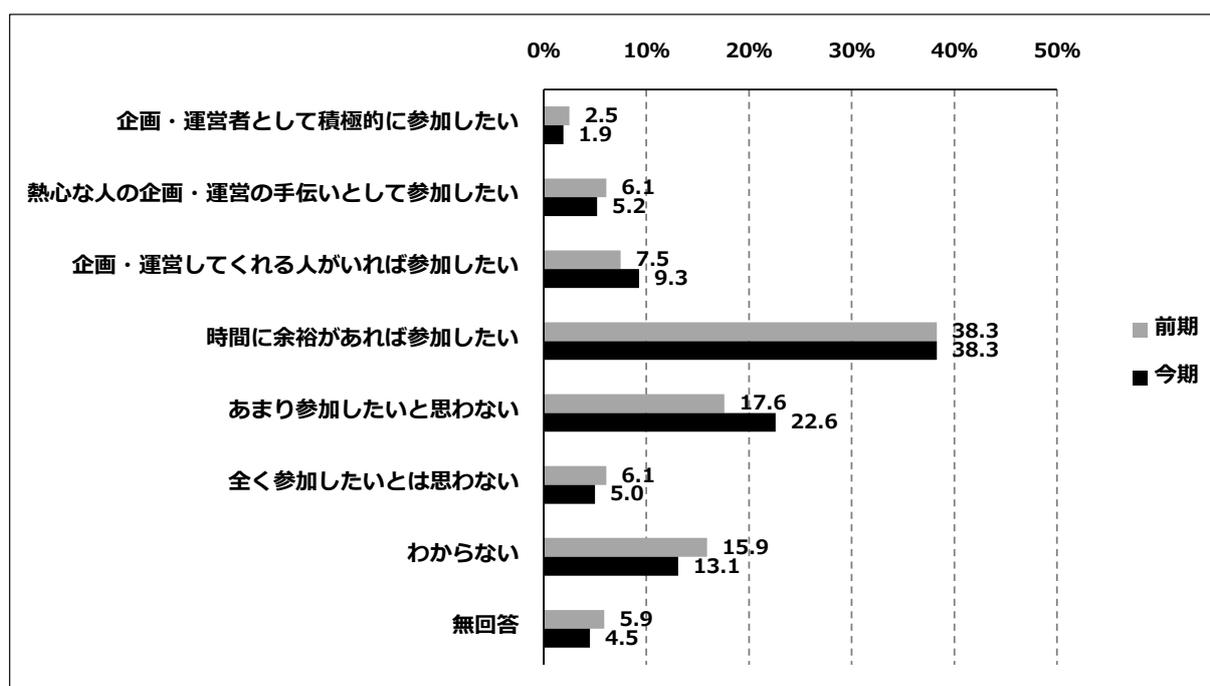
		合計	問13 自治会や社会福祉・生涯学習等の隣近所での活動に、どのように参加したいですか。							
			企画・運営者として積極的に参加したい	熱心な人の企画・運営の手伝いとして参加したい	企画・運営してくれる人がいれば参加したい	時間に余裕があれば参加したい	あまり参加したいと思わない	全く参加したいとは思わない	わからない	無回答
全体		420	8	22	39	161	95	21	55	19
		100.0%	1.9%	5.2%	9.3%	38.3%	22.6%	5.0%	13.1%	4.5%
年齢構成	20歳代	22	1	1	0	13	5	0	2	0
		100.0%	4.5%	4.5%	0.0%	59.1%	22.7%	0.0%	9.1%	0.0%
	30歳代	39	0	4	6	13	13	1	2	0
		100.0%	0.0%	10.3%	15.4%	33.3%	33.3%	2.6%	5.1%	0.0%
	40歳代	62	0	3	0	26	18	5	9	1
		100.0%	0.0%	4.8%	0.0%	41.9%	29.0%	8.1%	14.5%	1.6%
	50歳代	64	0	1	2	33	10	6	8	4
		100.0%	0.0%	1.6%	3.1%	51.6%	15.6%	9.4%	12.5%	6.3%
60歳代	84	0	6	4	38	17	5	11	3	
	100.0%	0.0%	7.1%	4.8%	45.2%	20.2%	6.0%	13.1%	3.6%	
70歳代	99	6	4	17	30	19	3	13	7	
	100.0%	6.1%	4.0%	17.2%	30.3%	19.2%	3.0%	13.1%	7.1%	
80歳以上	49	1	3	10	8	13	1	9	4	
	100.0%	2.0%	6.1%	20.4%	16.3%	26.5%	2.0%	18.4%	8.2%	
無回答	1	0	0	0	0	0	0	1	0	
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	

		問13 自治会や社会福祉・生涯学習等の隣近所での活動に、どのように参加したいですか。								
		合計	企画・運営者として積極的に参加したい	熱心な人の企画・運営の手伝いとして参加したい	企画・運営してくれる人がいれば参加したい	時間に余裕があれば参加したい	あまり参加したいと思わない	全く参加したいとは思わない	わからない	無回答
全体		420 100.0%	8 1.9%	22 5.2%	39 9.3%	161 38.3%	95 22.6%	21 5.0%	55 13.1%	19 4.5%
問12 あなたが参加している地域活動をお答えください。	自治会	170 100.0%	7 4.1%	13 7.6%	22 12.9%	80 47.1%	24 14.1%	0 0.0%	17 10.0%	7 4.1%
	社会福祉団体	15 100.0%	5 33.3%	1 6.7%	1 6.7%	4 26.7%	0 0.0%	0 0.0%	2 13.3%	2 13.3%
	ボランティア団体	15 100.0%	1 6.7%	3 20.0%	2 13.3%	6 40.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 6.7%	2 13.3%
	老人クラブ	28 100.0%	2 7.1%	3 10.7%	8 28.6%	6 21.4%	4 14.3%	0 0.0%	3 10.7%	2 7.1%
	P T A	22 100.0%	0 0.0%	1 4.5%	2 9.1%	12 54.5%	2 9.1%	2 9.1%	1 4.5%	2 9.1%
	趣味や娯楽のサークル	48 100.0%	2 4.2%	5 10.4%	7 14.6%	23 47.9%	3 6.3%	0 0.0%	4 8.3%	4 8.3%
	その他	9 100.0%	0 0.0%	2 22.2%	0 0.0%	7 77.8%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	参加していない	177 100.0%	0 0.0%	3 1.7%	7 4.0%	52 29.4%	60 33.9%	19 10.7%	33 18.6%	3 1.7%
	無回答	17 100.0%	0 0.0%	2 11.8%	1 5.9%	2 11.8%	4 23.5%	0 0.0%	2 11.8%	6 35.3%

## ●前期計画との比較

「時間に余裕があれば参加したい」が変化なし、「あまり参加したいと思わない」がプラス5.0%、「企画・運営してくれる人がいれば参加したい」がプラス1.8%、「熱心な人の企画・運営の手伝いとして参加したい」が-0.9%となっています。

また、「わからない」との回答は-2.8%となっています。

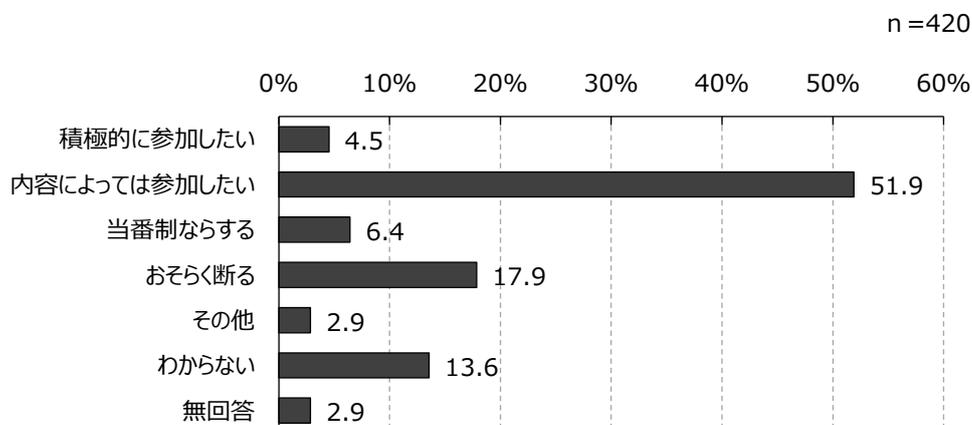


カテゴリー名	前期	今期	前期との差
企画・運営者として積極的に参加したい	2.5	1.9	-0.6
熱心な人の企画・運営の手伝いとして参加したい	6.1	5.2	-0.9
企画・運営してくれる人がいれば参加したい	7.5	9.3	1.8
時間に余裕があれば参加したい	38.3	38.3	0.0
あまり参加したいと思わない	17.6	22.6	5.0
全く参加したいとは思わない	6.1	5.0	-1.1
わからない	15.9	13.1	-2.8
無回答	5.9	4.5	-1.4

### 問14 今後、地域活動への参加の依頼があった場合あなたはどうしますか。

「内容によっては参加したい」が51.9%と最も多く、次いで「おそらく断る」が17.9%、「当番制ならする」が6.4%、「積極的に参加したい」が4.5%となっています。

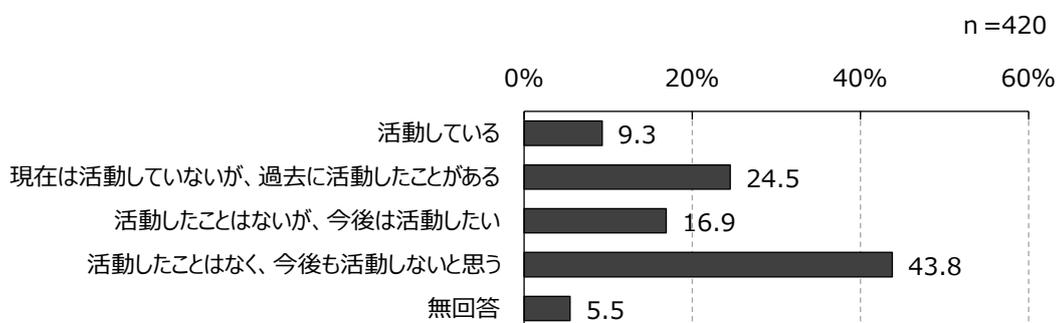
また、「わからない」との回答は13.6%となっています。



		合計	問14 今後、地域活動への参加の依頼があった場合あなたはどうしますか。						
			積極的に参加したい	内容によっては参加したい	当番制ならする	おそらく断る	その他	わからない	無回答
全体		420	19	218	27	75	12	57	12
		100.0%	4.5%	51.9%	6.4%	17.9%	2.9%	13.6%	2.9%
年齢構成	20歳代	22	1	13	1	1	0	6	0
		100.0%	4.5%	59.1%	4.5%	4.5%	0.0%	27.3%	0.0%
	30歳代	39	1	21	2	8	1	6	0
		100.0%	2.6%	53.8%	5.1%	20.5%	2.6%	15.4%	0.0%
	40歳代	62	1	33	4	11	3	10	0
		100.0%	1.6%	53.2%	6.5%	17.7%	4.8%	16.1%	0.0%
	50歳代	64	4	35	1	15	1	7	1
		100.0%	6.3%	54.7%	1.6%	23.4%	1.6%	10.9%	1.6%
60歳代	84	1	45	6	14	3	14	1	
	100.0%	1.2%	53.6%	7.1%	16.7%	3.6%	16.7%	1.2%	
70歳代	99	10	54	7	14	2	9	3	
	100.0%	10.1%	54.5%	7.1%	14.1%	2.0%	9.1%	3.0%	
80歳以上	49	1	16	6	12	2	5	7	
	100.0%	2.0%	32.7%	12.2%	24.5%	4.1%	10.2%	14.3%	
無回答	1	0	1	0	0	0	0	0	
	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	

## 問15 あなたは、ボランティア活動をしていますか。

「活動したことはなく、今後も活動しないと思う」が43.8%と最も多く、次いで「現在は活動していないが、過去に活動したことがある」が24.5%、「活動したことはないが、今後は活動したい」が16.9%、「活動している」が9.3%となっています。

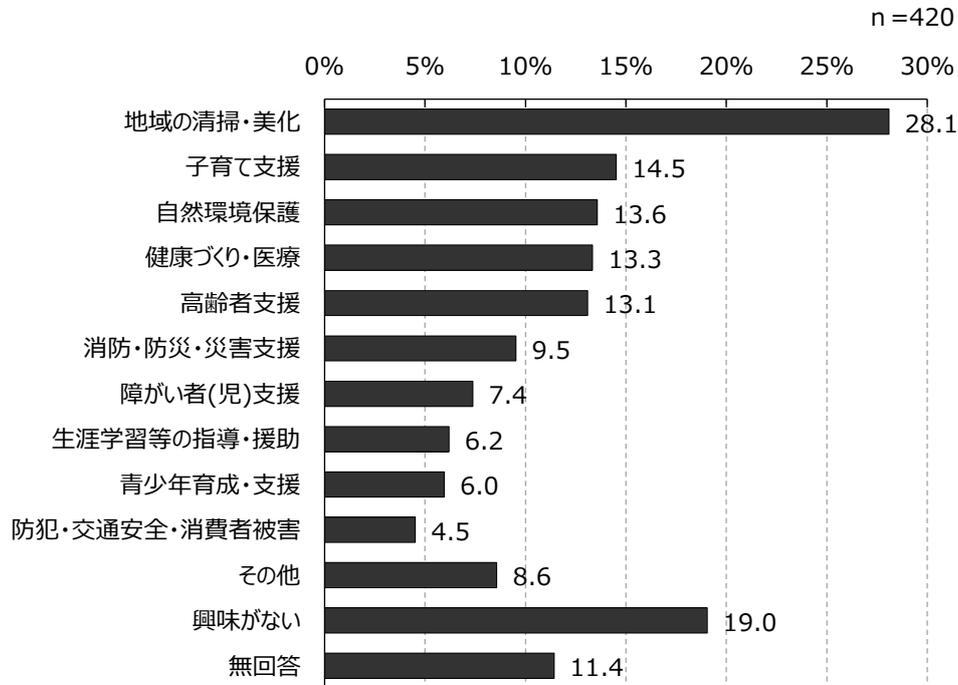


		合計	問15 あなたは、ボランティア活動をしていますか。				
			活動している	現在は活動していないが、過去に活動したことがある	活動したことはないが、今後は活動したい	活動したことはなく、今後も活動しないと思う	無回答
全体		420 100.0%	39 9.3%	103 24.5%	71 16.9%	184 43.8%	23 5.5%
年齢構成	20歳代	22 100.0%	0 0.0%	9 40.9%	7 31.8%	6 27.3%	0 0.0%
	30歳代	39 100.0%	3 7.7%	16 41.0%	7 17.9%	13 33.3%	0 0.0%
	40歳代	62 100.0%	7 11.3%	12 19.4%	11 17.7%	31 50.0%	1 1.6%
	50歳代	64 100.0%	4 6.3%	18 28.1%	12 18.8%	28 43.8%	2 3.1%
	60歳代	84 100.0%	9 10.7%	12 14.3%	15 17.9%	42 50.0%	6 7.1%
	70歳代	99 100.0%	15 15.2%	22 22.2%	13 13.1%	41 41.4%	8 8.1%
	80歳以上	49 100.0%	1 2.0%	14 28.6%	5 10.2%	23 46.9%	6 12.2%
	無回答	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%

問16 あなたがやってみたいボランティアの内容は、どのようなものですか。  
(複数回答)

「地域の清掃・美化」が28.1%と最も多く、「子育て支援」が14.5%、「自然環境保護」が13.6%、「健康づくり・医療」が13.3%となっています。

また、「興味がない」との回答は19.0%となっています。

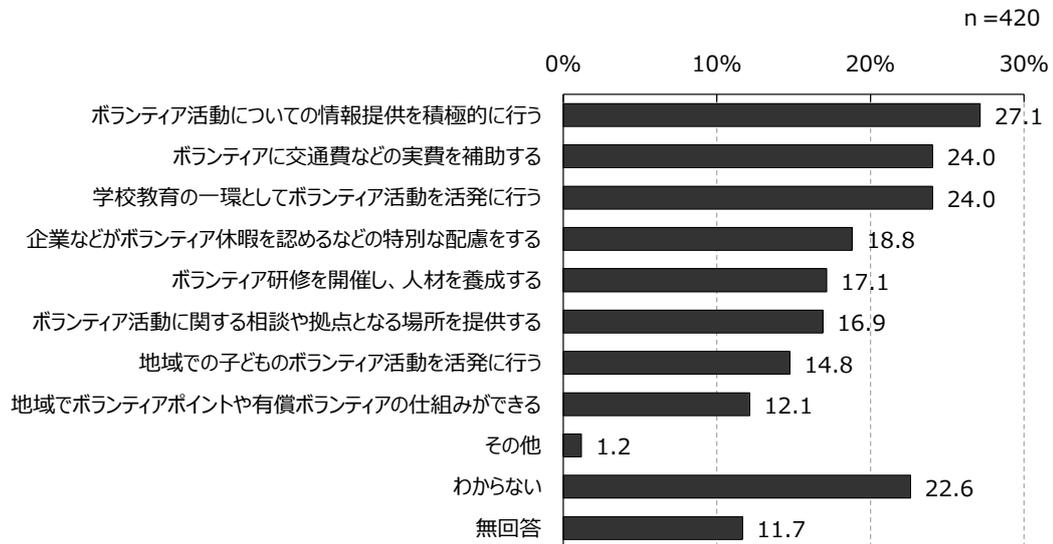


		問16 あなたがやってみたいボランティアの内容は、どのようなものですか。													
		合計	高齢者支援	障がい者(児)支援	子育て支援	健康づくり・医療	地域の清掃・美化	防犯・交通安全・消費者被害	消防・防災・災害支援	自然環境保護	青少年育成・支援	生涯学習等の指導・援助	その他	興味がない	無回答
全体		420	55	31	61	56	118	19	40	57	25	26	36	80	48
		100.0%	13.1%	7.4%	14.5%	13.3%	28.1%	4.5%	9.5%	13.6%	6.0%	6.2%	8.6%	19.0%	11.4%
年齢構成	20歳代	22	3	5	10	4	5	0	4	6	6	6	2	2	0
		100.0%	13.6%	22.7%	45.5%	18.2%	22.7%	0.0%	18.2%	27.3%	27.3%	27.3%	9.1%	9.1%	0.0%
	30歳代	39	6	5	17	7	12	1	3	10	4	3	0	6	0
		100.0%	15.4%	12.8%	43.6%	17.9%	30.8%	2.6%	7.7%	25.6%	10.3%	7.7%	0.0%	15.4%	0.0%
	40歳代	62	4	2	12	2	12	7	8	8	5	5	3	20	0
		100.0%	6.5%	3.2%	19.4%	3.2%	19.4%	11.3%	12.9%	12.9%	8.1%	8.1%	4.8%	32.3%	0.0%
	50歳代	64	13	5	8	11	16	0	8	12	3	5	3	14	6
		100.0%	20.3%	7.8%	12.5%	17.2%	25.0%	0.0%	12.5%	18.8%	4.7%	7.8%	4.7%	21.9%	9.4%
	60歳代	84	6	4	9	4	33	5	5	5	1	3	7	18	9
	100.0%	7.1%	4.8%	10.7%	4.8%	39.3%	6.0%	6.0%	6.0%	1.2%	3.6%	8.3%	21.4%	10.7%	
70歳代	99	17	6	2	14	29	4	9	14	5	3	11	14	22	
	100.0%	17.2%	6.1%	2.0%	14.1%	29.3%	4.0%	9.1%	14.1%	5.1%	3.0%	11.1%	14.1%	22.2%	
80歳以上	49	6	4	3	14	11	2	3	2	1	1	10	5	11	
	100.0%	12.2%	8.2%	6.1%	28.6%	22.4%	4.1%	6.1%	4.1%	2.0%	2.0%	20.4%	10.2%	22.4%	
無回答	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	

**問17 今後、ボランティア活動の輪を広げていくために、どのようなことが必要だと思いますか。(複数回答)**

「ボランティア活動についての情報提供を積極的に行う」が27.1%と最も多く、次いで「ボランティアに交通費などの実費を補助する」及び「学校教育の一環としてボランティア活動を活発に行う」が24.0%、「企業などがボランティア休暇を認めるなどの特別な配慮をする」が18.8%となっています。

また、「わからない」との回答は22.6%となっています。



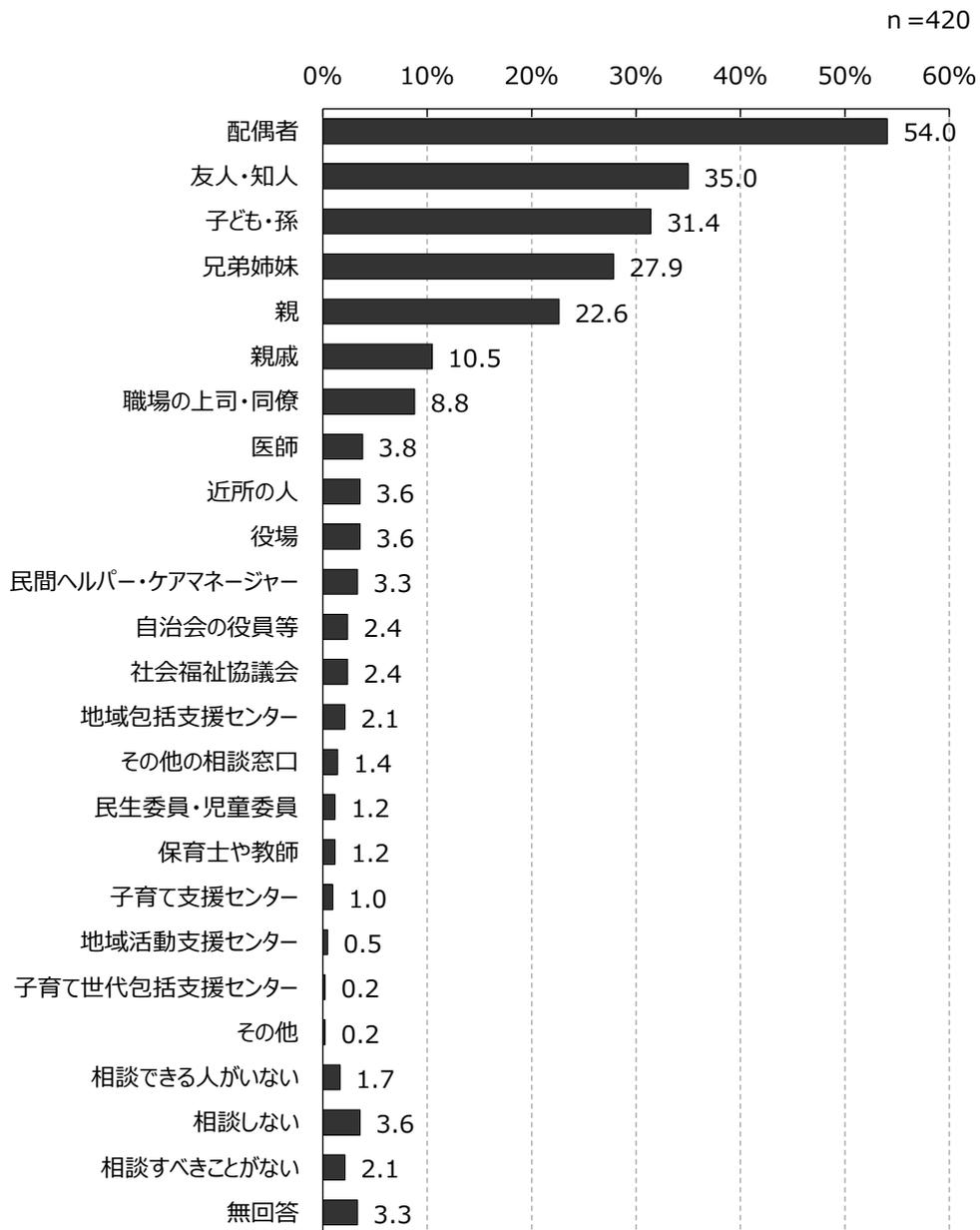
		問17 今後、ボランティア活動の輪を広げていくために、どのようなことが必要だと思いますか。											
		合計	ボランティアに交通費などの実費を補助する	企業などがボランティア休暇を認めるなどの特別な配慮をする	学校教育の一環としてボランティア活動を活発に行う	地域での子どものボランティア活動を活発に行う	ボランティア活動に関する相談や拠点となる場所を提供する	ボランティア研修を開催し、人材を養成する	ボランティア活動についての情報提供を積極的に行う	地域でボランティアポイントや有償ボランティアの仕組みができる	その他	わからない	無回答
	全体	420	101	79	101	62	71	72	114	51	5	95	49
		100.0%	24.0%	18.8%	24.0%	14.8%	16.9%	17.1%	27.1%	12.1%	1.2%	22.6%	11.7%
年齢構成	20歳代	22	8	7	7	6	2	6	9	6	1	2	0
		100.0%	36.4%	31.8%	31.8%	27.3%	9.1%	27.3%	40.9%	27.3%	4.5%	9.1%	0.0%
	30歳代	39	12	9	17	10	10	6	19	7	0	3	0
		100.0%	30.8%	23.1%	43.6%	25.6%	25.6%	15.4%	48.7%	17.9%	0.0%	7.7%	0.0%
	40歳代	62	16	24	18	10	6	8	15	8	0	14	1
		100.0%	25.8%	38.7%	29.0%	16.1%	9.7%	12.9%	24.2%	12.9%	0.0%	22.6%	1.6%
	50歳代	64	14	15	12	4	16	11	23	9	0	14	3
		100.0%	21.9%	23.4%	18.8%	6.3%	25.0%	17.2%	35.9%	14.1%	0.0%	21.9%	4.7%
60歳代	84	25	16	25	11	12	19	21	10	1	21	9	
	100.0%	29.8%	19.0%	29.8%	13.1%	14.3%	22.6%	25.0%	11.9%	1.2%	25.0%	10.7%	
70歳代	99	22	7	18	15	21	17	23	11	2	27	18	
	100.0%	22.2%	7.1%	18.2%	15.2%	21.2%	17.2%	23.2%	11.1%	2.0%	27.3%	18.2%	
80歳以上	49	4	1	4	6	4	5	4	0	1	14	17	
	100.0%	8.2%	2.0%	8.2%	12.2%	8.2%	10.2%	8.2%	0.0%	2.0%	28.6%	34.7%	
無回答	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	

		問17 今後、ボランティア活動の輪を広げていくために、どのようなことが必要だと思いますか。											
		合計	ボランティアに交通費などの実費を補助する	企業などがボランティア休暇を認めるなどの特別な配慮をする	学校教育の一環としてボランティア活動を活発に行う	地域での子どもボランティア活動を活発に行う	ボランティア活動に関する相談や拠点となる場所を提供する	ボランティア研修を開催し、人材を養成する	ボランティア活動についての情報を積極的に提供する	地域でボランティアポイントや有償ボランティアの仕組みができる	その他	わからない	無回答
全体		420 100.0%	101 24.0%	79 18.8%	101 24.0%	62 14.8%	71 16.9%	72 17.1%	114 27.1%	51 12.1%	5 1.2%	95 22.6%	49 11.7%
問15 あなたは、ボランティア活動をしていますか。	活動している	39 100.0%	15 38.5%	7 17.9%	18 46.2%	11 28.2%	13 33.3%	14 35.9%	19 48.7%	8 20.5%	0 0.0%	1 2.6%	2 5.1%
	現在は活動していないが、過去に活動したことがある	103 100.0%	31 30.1%	32 31.1%	29 28.2%	13 12.6%	20 19.4%	21 20.4%	34 33.0%	21 20.4%	1 1.0%	8 7.8%	12 11.7%
	活動したことはないが、今後は活動したい	71 100.0%	21 29.6%	17 23.9%	18 25.4%	19 26.8%	10 14.1%	14 19.7%	26 36.6%	8 11.3%	1 1.4%	7 9.9%	7 9.9%
	活動したことはなく、今後も活動しないと思う	184 100.0%	34 18.5%	19 10.3%	36 19.6%	19 10.3%	26 14.1%	23 12.5%	34 18.5%	14 7.6%	3 1.6%	75 40.8%	13 7.1%
	無回答	23 100.0%	0 0.0%	4 17.4%	0 0.0%	0 0.0%	2 8.7%	0 0.0%	1 4.3%	0 0.0%	0 0.0%	4 17.4%	15 65.2%

## 4. 今後の福祉施策について

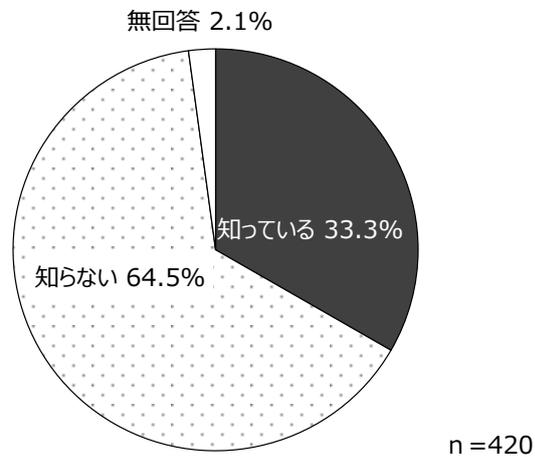
問18 あなたは、日々の生活のなかで、困ったことがあるときにだれに相談していますか。(複数回答)

「配偶者」が54.0%と最も多く、次いで「友人・知人」が35.0%、「子ども・孫」が31.4%、「兄弟姉妹」が27.9%、「親」が22.6%となっています。



**問19 民生委員・児童委員は、地域住民の最も身近な相談・支援者として住民の立場に立った福祉活動を行っています。あなたがお住まいの地区の担当民生委員・児童委員をご存知ですか。**

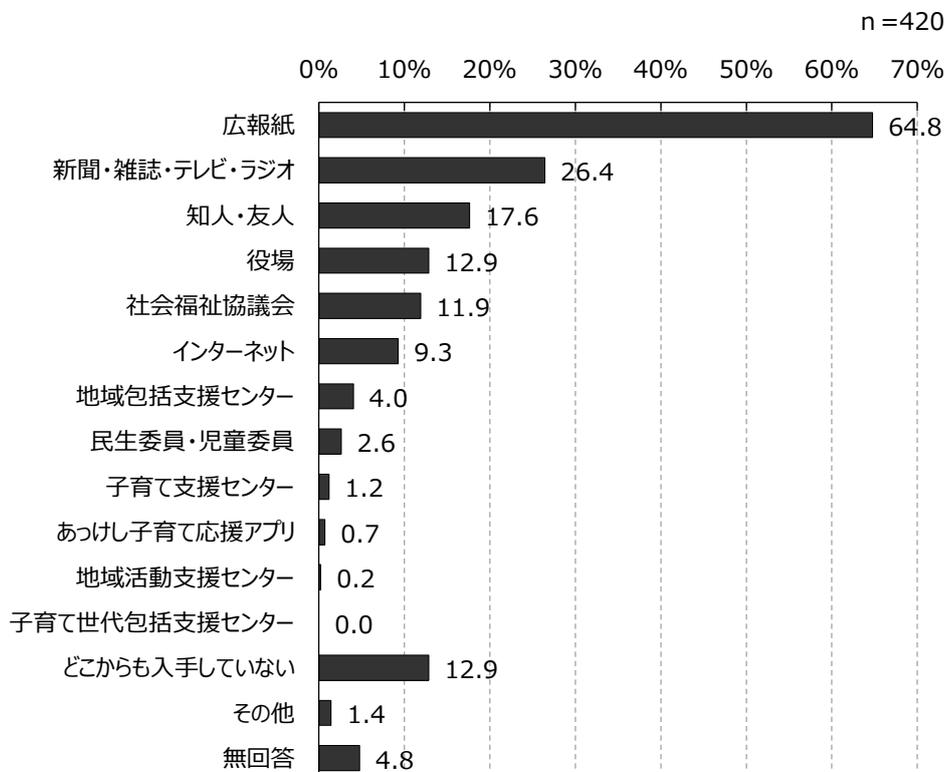
「知っている」が33.3%、「知らない」が64.5%となっています。



		合計	問19 民生委員・児童委員は、地域住民の最も身近な相談・支援者として住民の立場に立った福祉活動を行っています。あなたがお住まいの地区の担当民生委員・児童委員をご存知ですか。		
			知っている	知らない	無回答
全体		420 100.0%	140 33.3%	271 64.5%	9 2.1%
年齢構成	20歳代	22 100.0%	1 4.5%	21 95.5%	0 0.0%
	30歳代	39 100.0%	6 15.4%	33 84.6%	0 0.0%
	40歳代	62 100.0%	12 19.4%	50 80.6%	0 0.0%
	50歳代	64 100.0%	19 29.7%	45 70.3%	0 0.0%
	60歳代	84 100.0%	32 38.1%	50 59.5%	2 2.4%
	70歳代	99 100.0%	47 47.5%	48 48.5%	4 4.0%
	80歳以上	49 100.0%	22 44.9%	24 49.0%	3 6.1%
	無回答	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%

## 問20 福祉サービスに関する情報をどこから入手していますか。(複数回答)

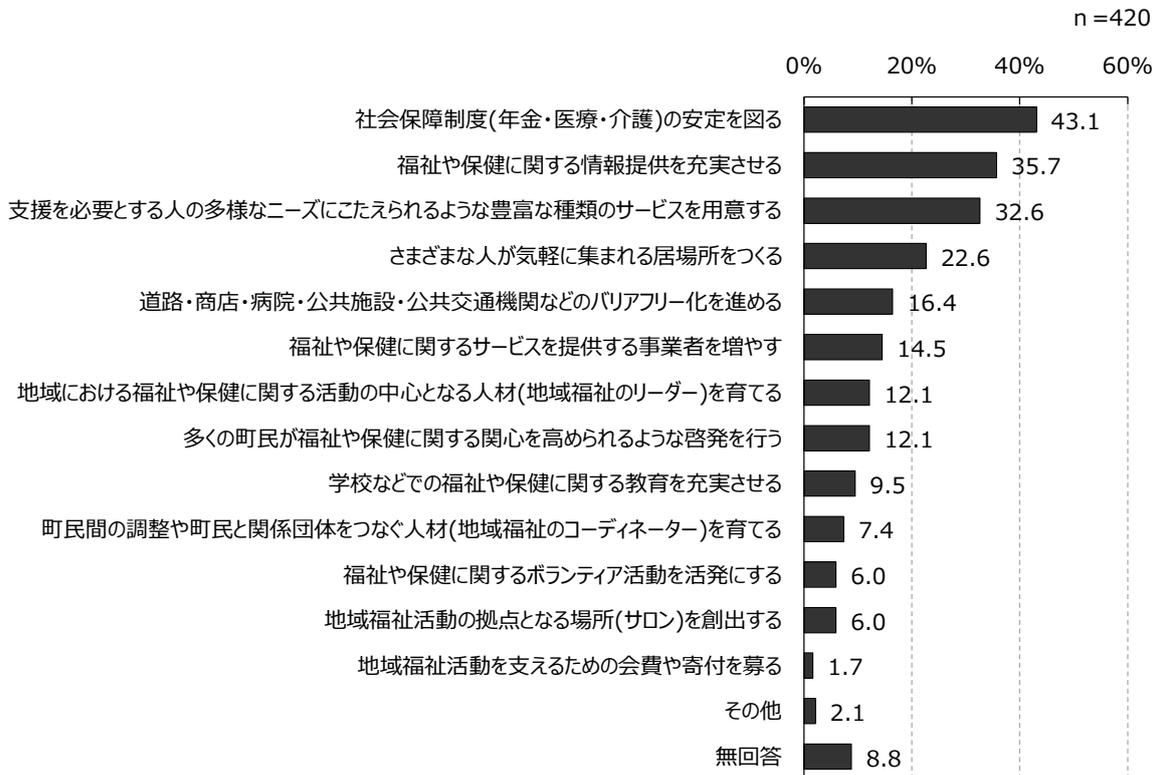
「広報紙」が64.8%と最も多く、次いで「新聞・雑誌・テレビ・ラジオ」が26.4%、「知人・友人」が17.6%、「役場」及び「どこからも入手していない」が12.9%となっています。



		問20 福祉サービスに関する情報をどこから入手していますか。															
		合計	広報紙	新聞・雑誌・テレビ・ラジオ	インターネット	知人・友人	民生委員・児童委員	役場	社会福祉協議会	地域包括支援センター	子育て支援センター	子育て世代包括支援センター	地域活動支援センター	あつけし子育て応援アプリ	どこからも入手していない	その他	無回答
全体		420	272	111	39	74	11	54	50	17	5	0	1	3	54	6	20
		100.0%	64.8%	26.4%	9.3%	17.6%	2.6%	12.9%	11.9%	4.0%	1.2%	0.0%	0.2%	0.7%	12.9%	1.4%	4.8%
年齢構成	20歳代	22	11	1	3	1	0	4	0	0	0	0	0	0	6	1	0
		100.0%	50.0%	4.5%	13.6%	4.5%	0.0%	18.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	27.3%	4.5%	0.0%
	30歳代	39	24	7	11	5	1	4	3	2	3	0	0	3	8	2	1
		100.0%	61.5%	17.9%	28.2%	12.8%	2.6%	10.3%	7.7%	5.1%	7.7%	0.0%	0.0%	7.7%	20.5%	5.1%	2.6%
	40歳代	62	36	10	8	10	0	10	5	4	2	0	0	0	12	1	1
		100.0%	58.1%	16.1%	12.9%	16.1%	0.0%	16.1%	8.1%	6.5%	3.2%	0.0%	0.0%	0.0%	19.4%	1.6%	1.6%
	50歳代	64	47	16	10	8	1	7	6	4	0	0	0	0	7	0	0
		100.0%	73.4%	25.0%	15.6%	12.5%	1.6%	10.9%	9.4%	6.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	10.9%	0.0%	0.0%
	60歳代	84	59	24	4	11	3	8	8	3	0	0	1	0	10	1	4
	100.0%	70.2%	28.6%	4.8%	13.1%	3.6%	9.5%	9.5%	3.6%	0.0%	0.0%	1.2%	0.0%	11.9%	1.2%	4.8%	
70歳代	99	65	37	3	24	4	12	19	1	0	0	0	0	9	1	8	
	100.0%	65.7%	37.4%	3.0%	24.2%	4.0%	12.1%	19.2%	1.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	9.1%	1.0%	8.1%	
80歳以上	49	29	15	0	15	2	8	9	3	0	0	0	0	2	0	6	
	100.0%	59.2%	30.6%	0.0%	30.6%	4.1%	16.3%	18.4%	6.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	4.1%	0.0%	12.2%	
無回答	1	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	

## 問21 だれもが住みなれた地域で安心して生活していくために、どのようなことが必要だと思いますか。(複数回答)

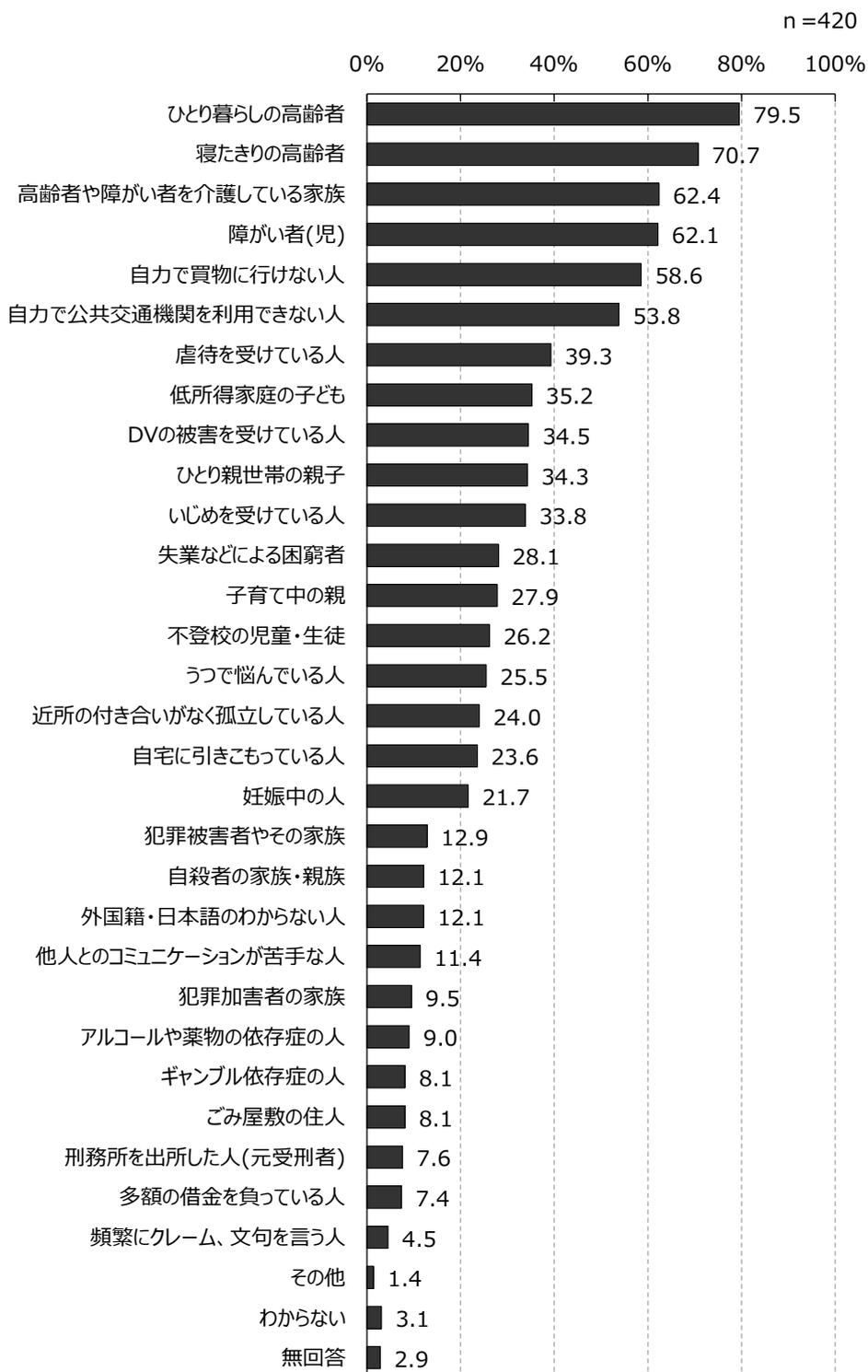
「社会保障制度(年金・医療・介護)の安定を図る」が43.1%と最も多く、次いで「福祉や保健に関する情報提供を充実させる」が35.7%、「支援を必要とする人の多様なニーズにこたえられるような豊富な種類のサービスを用意する」が32.6%、「さまざまな人が気軽に集まれる居場所をつくる」が22.6%、「道路・商店・病院・公共施設・公共交通機関などのバリアフリー化を進める」が16.4%となっています。



		問21 だれもが住みなれた地域で安心して生活していくために、どのようなことが必要だと思いますか。														
		福祉や保健に関する情報提供を充実させる	支援を必要とする人の多様なニーズにこたえられるような豊富な種類のサービスを用意する	福祉や保健に関するサービスを提供する事業者を増やす	地域における福祉や保健に関する活動の中心となる人材(地域福祉のリーダー)を育てる	町民間の調整や町民と関係団体をつなぐ人材(地域福祉のコーディネーター)を育てる	福祉や保健に関するボランティア活動を活発にする	地域福祉活動の拠点となる場所(サロン)を創出する	社会保障制度(年金・医療・介護)の安定を図る	地域福祉活動を支えるための会費や寄付を募る	学校などでの福祉や保健に関する教育を充実させる	多くの町民が福祉や保健に関する関心を高められるような啓発を行う	道路・商店・病院・公共施設・公共交通機関などのバリアフリー化を進める	さまざまな人が気軽に集まれる居場所をつくる	その他	無回答
合計	420	35.7%	32.6%	14.5%	12.1%	7.4%	6.0%	6.0%	43.1%	1.7%	9.5%	12.1%	16.4%	22.6%	2.1%	8.8%
年齢構成	20歳代	40.9%	36.4%	36.4%	9.1%	18.2%	13.6%	4.5%	9.1%	4.5%	13.6%	22.7%	13.6%	18.2%	0.0%	4.5%
	30歳代	43.6%	30.8%	10.3%	7.7%	7.7%	5.1%	15.4%	25.6%	2.6%	23.1%	10.3%	17.9%	25.6%	2.6%	0.0%
	40歳代	43.5%	46.8%	19.4%	6.5%	8.1%	3.2%	3.2%	43.5%	1.6%	12.9%	12.9%	11.3%	14.5%	6.5%	1.6%
	50歳代	42.2%	43.8%	25.0%	9.4%	10.9%	6.3%	7.8%	42.2%	3.1%	6.3%	14.1%	10.9%	15.6%	3.1%	6.3%
	60歳代	34.5%	31.0%	14.3%	8.3%	4.8%	2.4%	4.8%	52.4%	1.2%	8.3%	9.5%	21.4%	25.0%	0.0%	6.0%
	70歳代	24.2%	26.3%	5.1%	18.2%	6.1%	10.1%	7.1%	48.5%	0.0%	6.1%	11.1%	19.2%	31.3%	1.0%	14.1%
	80歳以上	34.7%	16.3%	8.2%	22.4%	4.1%	4.1%	0.0%	44.9%	2.0%	6.1%	12.2%	14.3%	18.4%	2.0%	24.5%
	無回答	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%

問22 あなたが思う「福祉」の対象になる人は、どのような人だと思いますか。  
(複数回答)

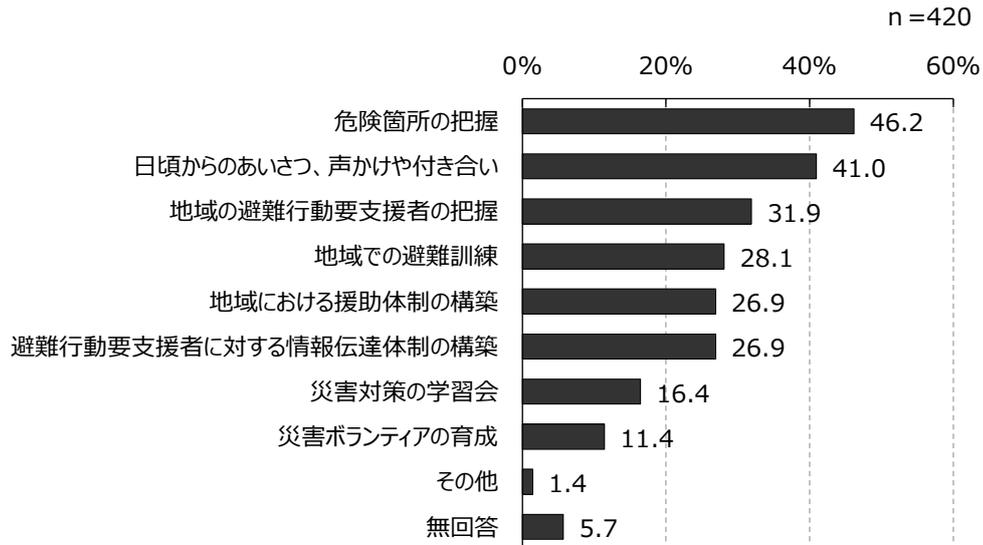
「ひとり暮らしの高齢者」が79.5%と最も多く、次いで「寝たきりの高齢者」が70.7%、「高齢者や障がい者を介護している家族」が62.4%、「障がい者(児)」が62.1%、「自力で買物に行けない人」が58.6%となっています。



## 5. 災害時における助け合いについて

問23 地震・津波や水害等の災害時における地域の助け合いは、非常に重要なことです。あなたの住む地域における災害時の備えとして、どのようなことが重要だと思いますか。（複数回答）

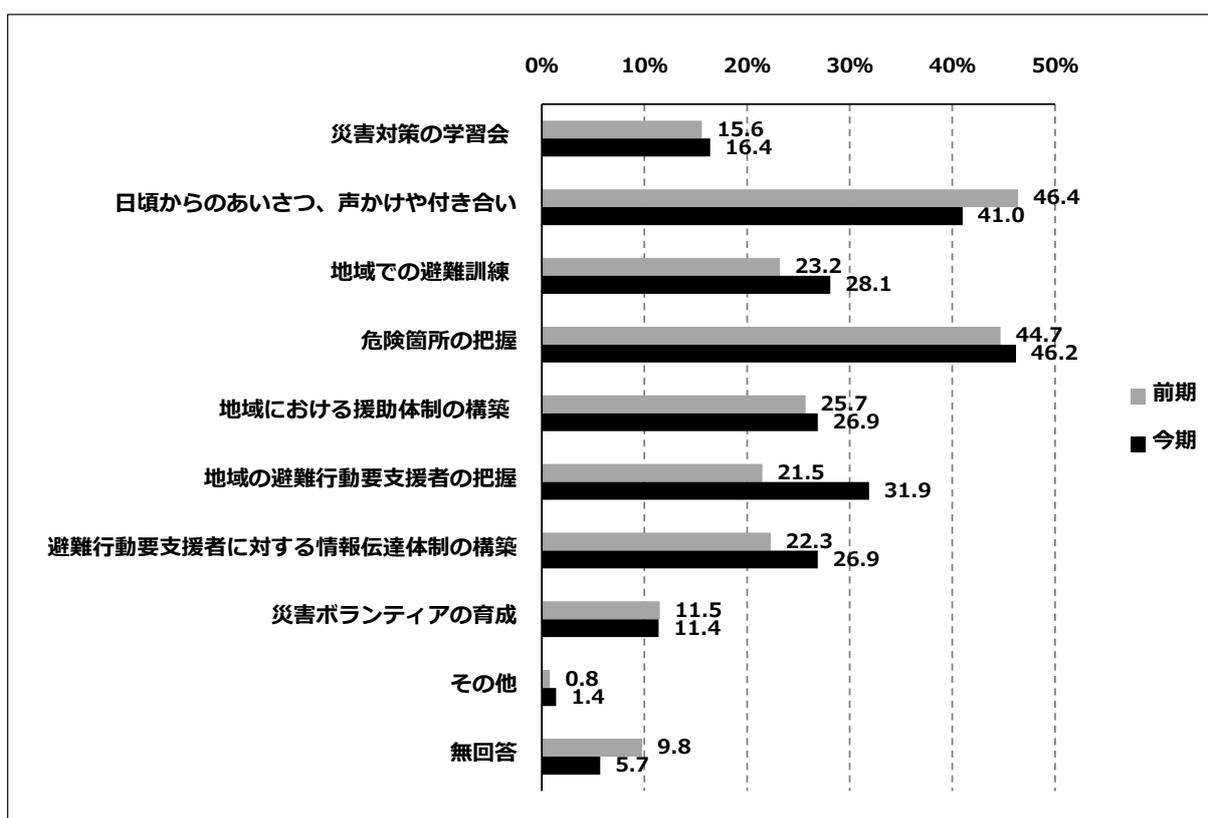
「危険箇所の把握」が46.2%と最も多く、次いで「日頃からのあいさつ、声かけや付き合い」が41.0%、「地域の避難行動要支援者の把握」が31.9%、「地域での避難訓練」が28.1%、「地域における援助体制の構築」及び「避難行動要支援者に対する情報伝達体制の構築」が26.9%となっています。



		合計	問23 地震・津波や水害等の災害時における地域の助け合いは、非常に重要なことです。あなたの住む地域における災害時の備えとして、どのようなことが重要だと思いますか。									
			災害対策の学習会	日頃からのあいさつ、声かけや付き合い	地域での避難訓練	危険箇所の把握	地域における援助体制の構築	地域の避難行動要支援者の把握	避難行動要支援者に対する情報伝達体制の構築	災害ボランティアの育成	その他	無回答
全体		420	69	172	118	194	113	134	113	48	6	24
		100.0%	16.4%	41.0%	28.1%	46.2%	26.9%	31.9%	26.9%	11.4%	1.4%	5.7%
年齢構成	20歳代	22	4	8	9	15	5	7	6	1	0	0
		100.0%	18.2%	36.4%	40.9%	68.2%	22.7%	31.8%	27.3%	4.5%	0.0%	0.0%
	30歳代	39	9	16	16	18	8	13	10	7	0	1
		100.0%	23.1%	41.0%	41.0%	46.2%	20.5%	33.3%	25.6%	17.9%	0.0%	2.6%
	40歳代	62	10	23	17	33	19	18	12	13	0	2
		100.0%	16.1%	37.1%	27.4%	53.2%	30.6%	29.0%	19.4%	21.0%	0.0%	3.2%
	50歳代	64	10	20	12	33	23	29	22	6	3	0
		100.0%	15.6%	31.3%	18.8%	51.6%	35.9%	45.3%	34.4%	9.4%	4.7%	0.0%
60歳代	84	13	35	24	36	19	26	21	8	1	8	
	100.0%	15.5%	41.7%	28.6%	42.9%	22.6%	31.0%	25.0%	9.5%	1.2%	9.5%	
70歳代	99	17	44	28	41	30	29	26	10	1	6	
	100.0%	17.2%	44.4%	28.3%	41.4%	30.3%	29.3%	26.3%	10.1%	1.0%	6.1%	
80歳以上	49	6	25	12	18	8	11	16	3	1	7	
	100.0%	12.2%	51.0%	24.5%	36.7%	16.3%	22.4%	32.7%	6.1%	2.0%	14.3%	
無回答	1	0	1	0	0	1	1	0	0	0	0	
	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	

## ●前期計画との比較

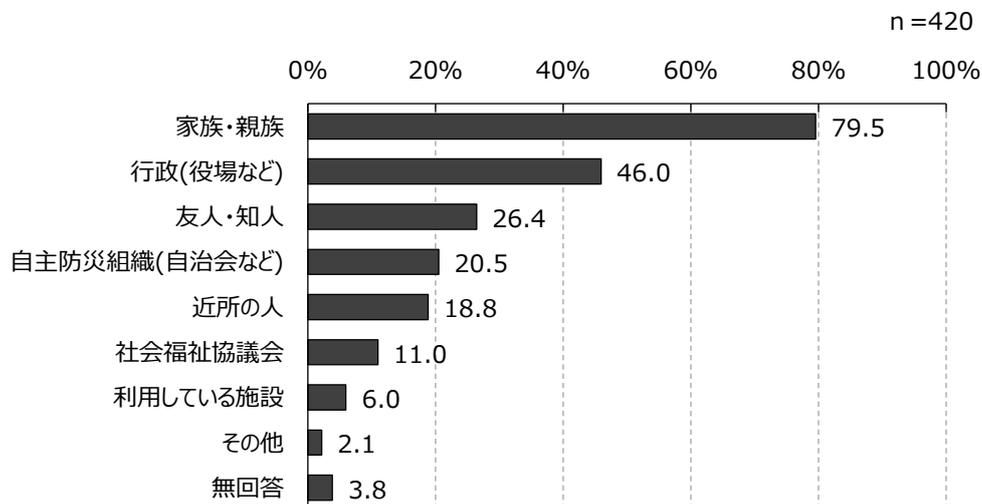
「危険箇所の把握」がプラス4.9%、「日頃からのあいさつ、声かけや付き合い」が-5.4%、「地域の避難行動要支援者の把握」がプラス10.4%、「地域での避難訓練」がプラス4.9%、「地域における援助体制の構築」がプラス1.2%、「避難行動要支援者に対する情報伝達体制の構築」がプラス4.6%となっています。



カテゴリー名	前期	今期	前期との差
災害対策の学習会	15.6	16.4	0.8
日頃からのあいさつ、声かけや付き合い	46.4	41.0	-5.4
地域での避難訓練	23.2	28.1	4.9
危険箇所の把握	44.7	46.2	1.5
地域における援助体制の構築	25.7	26.9	1.2
地域の避難行動要支援者の把握	21.5	31.9	10.4
避難行動要支援者に対する情報伝達体制の構築	22.3	26.9	4.6
災害ボランティアの育成	11.5	11.4	-0.1
その他	0.8	1.4	0.6
無回答	9.8	5.7	-4.1

## 問24 被災後の生活において、あなたはだれを頼りにしますか。(複数回答)

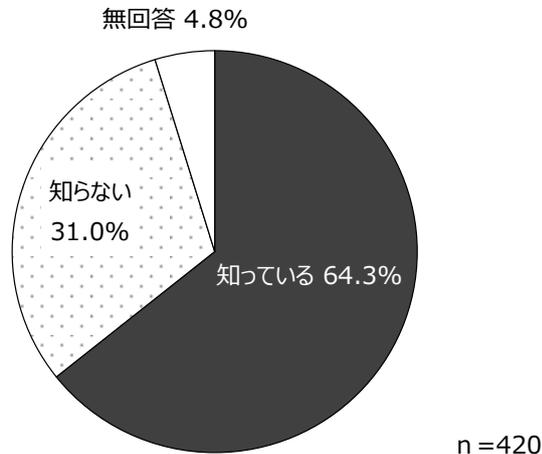
「家族・親族」が79.5%と最も多く、次いで「行政(役場など)」が46.0%、「友人・知人」が26.4%、「自主防災組織(自治会など)」が20.5%、「近所の人」が18.8%となっています。



## 6. 厚岸町社会福祉協議会について

### 問25 あなたは、厚岸町社会福祉協議会を知っていますか。

「知っている」が64.3%、「知らない」が31.0%となっています。

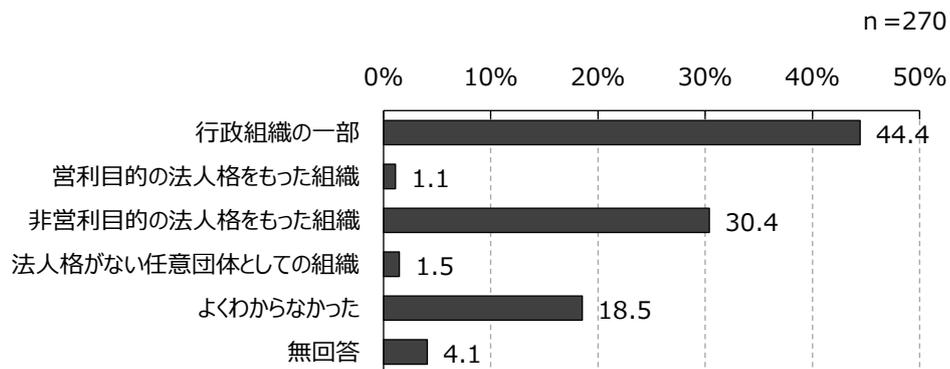


		合計	問25 あなたは、厚岸町社会福祉協議会を知っていますか。		
			知っている	知らない	無回答
全体		420 100.0%	270 64.3%	130 31.0%	20 4.8%
年齢構成	20歳代	22 100.0%	9 40.9%	13 59.1%	0 0.0%
	30歳代	39 100.0%	22 56.4%	16 41.0%	1 2.6%
	40歳代	62 100.0%	38 61.3%	22 35.5%	2 3.2%
	50歳代	64 100.0%	47 73.4%	15 23.4%	2 3.1%
	60歳代	84 100.0%	58 69.0%	24 28.6%	2 2.4%
	70歳代	99 100.0%	62 62.6%	31 31.3%	6 6.1%
	80歳以上	49 100.0%	33 67.3%	9 18.4%	7 14.3%
	無回答	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%

問25-1～問25-3は、問25で「知っている」と回答した方

### 問25-1 厚岸町社会福祉協議会は、どの様な組織だと認識していますか。

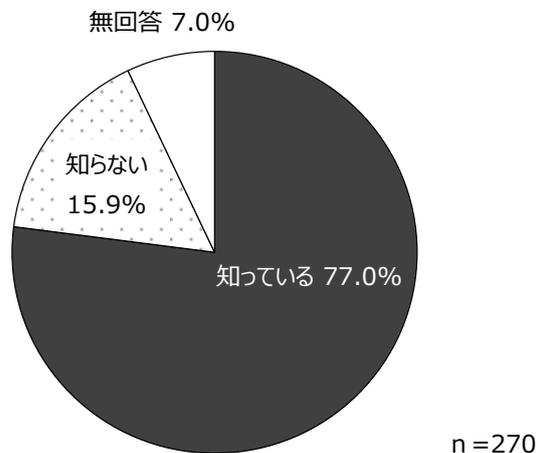
「行政組織の一部」が44.4%と最も多く、次いで「非営利目的の法人格をもった組織」が30.4%、「よくわからなかった」が18.5%、「法人格がない任意団体としての組織」が1.5%、「営利目的の法人格をもった組織」が1.1%となっています。



		合計	問25-1 厚岸町社会福祉協議会は、どの様な組織だと認識していますか。					無回答
			行政組織の一部	営利目的の法人格をもった組織	非営利目的の法人格をもった組織	法人格がない任意団体としての組織	よくわからなかった	
全体		270 100.0%	120 44.4%	3 1.1%	82 30.4%	4 1.5%	50 18.5%	11 4.1%
年齢構成	20歳代	9 100.0%	3 33.3%	0 0.0%	3 33.3%	1 11.1%	2 22.2%	0 0.0%
	30歳代	22 100.0%	1 4.5%	0 0.0%	12 54.5%	0 0.0%	8 36.4%	1 4.5%
	40歳代	38 100.0%	18 47.4%	1 2.6%	11 28.9%	1 2.6%	7 18.4%	0 0.0%
	50歳代	47 100.0%	15 31.9%	1 2.1%	18 38.3%	1 2.1%	11 23.4%	1 2.1%
	60歳代	58 100.0%	28 48.3%	0 0.0%	17 29.3%	0 0.0%	12 20.7%	1 1.7%
	70歳代	62 100.0%	36 58.1%	0 0.0%	17 27.4%	1 1.6%	2 3.2%	6 9.7%
	80歳以上	33 100.0%	19 57.6%	0 0.0%	4 12.1%	0 0.0%	8 24.2%	2 6.1%
	無回答	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

問25-2 厚岸町社会福祉協議会が「地域福祉の推進」を目的として活動していることを知っていますか。

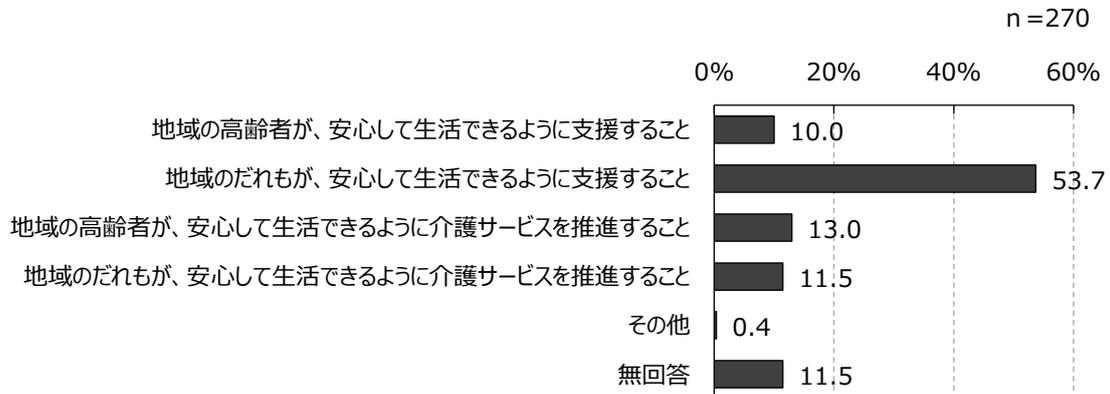
「知っている」が77.0%、「知らない」が15.9%となっています。



		合計	問25-2 厚岸町社会福祉協議会 が「地域福祉の推進」を目的と して活動していることを知って いますか。		
			知ってい る	知らない	無回答
全体		270 100.0%	208 77.0%	43 15.9%	19 7.0%
年齢構成	20歳代	9 100.0%	9 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
	30歳代	22 100.0%	12 54.5%	6 27.3%	4 18.2%
	40歳代	38 100.0%	28 73.7%	9 23.7%	1 2.6%
	50歳代	47 100.0%	35 74.5%	11 23.4%	1 2.1%
	60歳代	58 100.0%	48 82.8%	8 13.8%	2 3.4%
	70歳代	62 100.0%	54 87.1%	4 6.5%	4 6.5%
	80歳以上	33 100.0%	21 63.6%	5 15.2%	7 21.2%
	無回答	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%

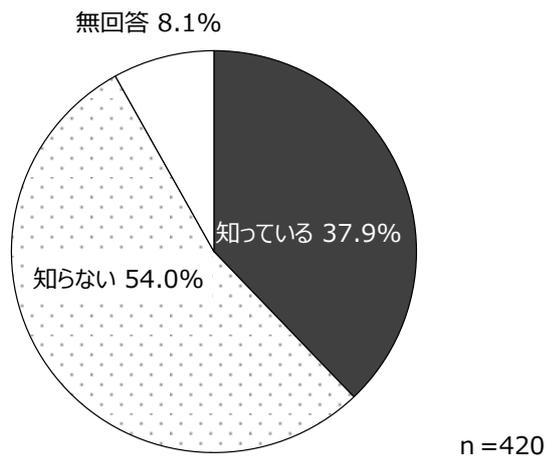
**問25-3 地域福祉と聞いて、次のうちどれをイメージしますか。**

「地域のだれもが、安心して生活できるように支援すること」が53.7%と最も多く、次いで「地域の高齢者が、安心して生活できるように介護サービスを推進すること」が13.0%、「地域のだれもが、安心して生活できるように介護サービスを推進すること」が11.5%、「地域の高齢者が、安心して生活できるように支援すること」が10.0%となっています。



**問26 あなたは厚岸町社会福祉協議会の活動費の中には、町民からいただいている会費が入っていることを知っていますか。**

「知っている」が37.9%、「知らない」が54.0%となっています。

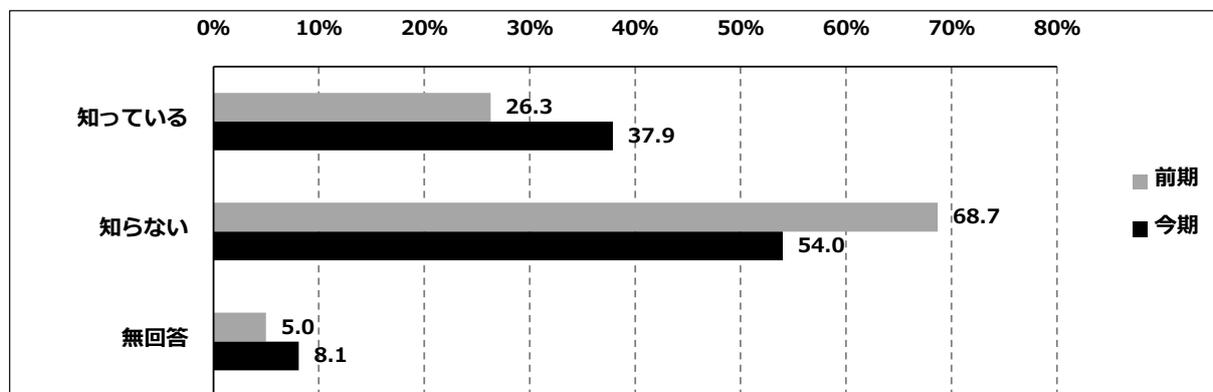


		合計	問26 あなたは厚岸町社会福祉協議会の活動費の中には、町民からいただいている会費が入っていることを知っていますか。		
			知っている	知らない	無回答
全体		420 100.0%	159 37.9%	227 54.0%	34 8.1%
年齢構成	20歳代	22 100.0%	4 18.2%	18 81.8%	0 0.0%
	30歳代	39 100.0%	11 28.2%	27 69.2%	1 2.6%
	40歳代	62 100.0%	23 37.1%	38 61.3%	1 1.6%
	50歳代	64 100.0%	28 43.8%	33 51.6%	3 4.7%
	60歳代	84 100.0%	33 39.3%	46 54.8%	5 6.0%
	70歳代	99 100.0%	43 43.4%	44 44.4%	12 12.1%
	80歳以上	49 100.0%	16 32.7%	21 42.9%	12 24.5%
	無回答	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%

		合計	問26 あなたは厚岸町社会福祉協議会の活動費の中には、町民からいただいている会費が入っていることを知っていますか。		
			知っている	知らない	無回答
全体		420 100.0%	159 37.9%	227 54.0%	34 8.1%
問25 あなたは、厚岸町社会福祉協議会を知っていますか。	知っている	270 100.0%	152 56.3%	99 36.7%	19 7.0%
	知らない	130 100.0%	4 3.1%	120 92.3%	6 4.6%
	無回答	20 100.0%	3 15.0%	8 40.0%	9 45.0%

## ●前期計画との比較

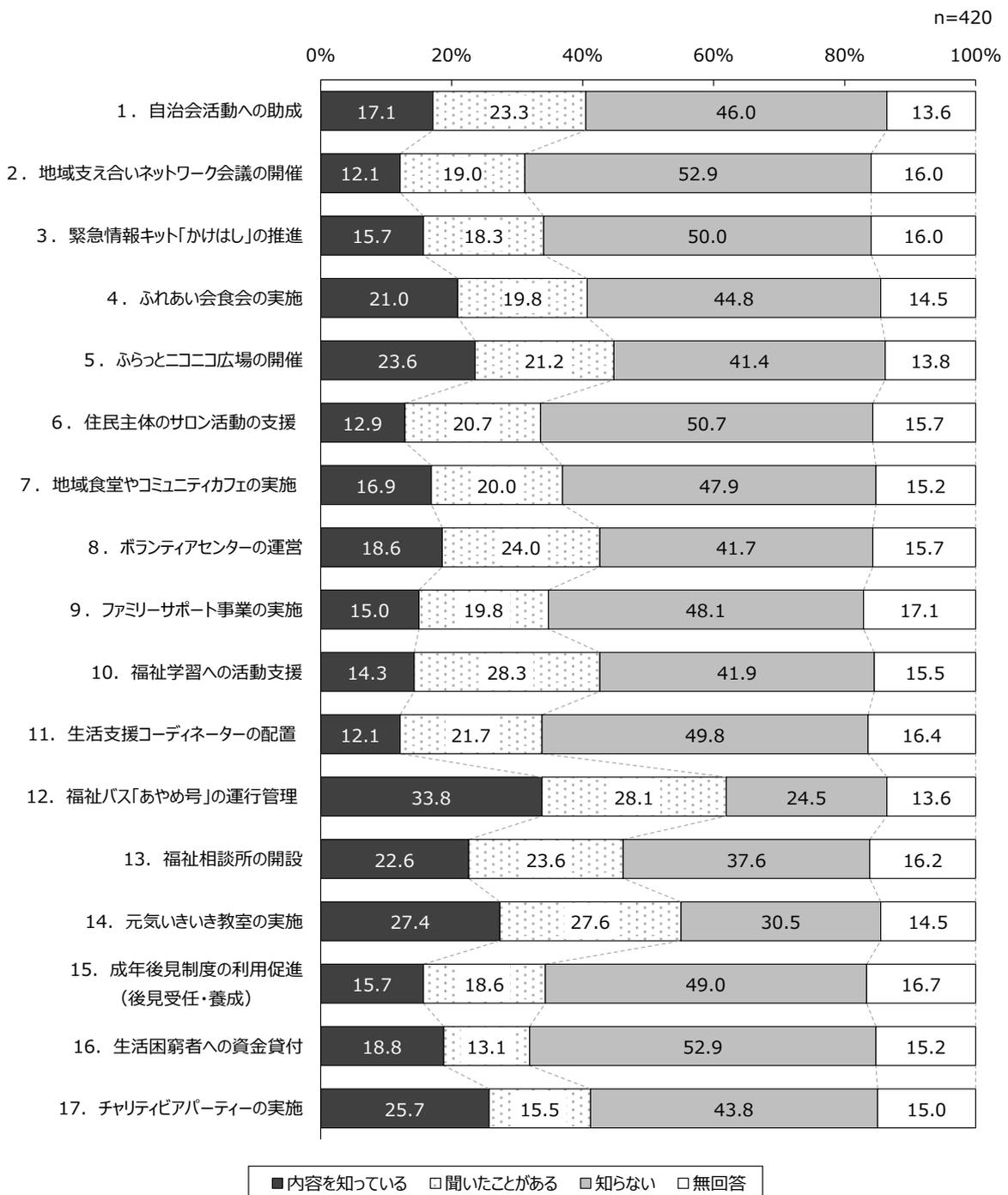
「知っている」がプラス11.6%、「知らない」が-14.7%となっています。



カテゴリー名	前期	今期	前期との差
知っている	26.3	37.9	11.6
知らない	68.7	54.0	-14.7
無回答	5.0	8.1	3.1

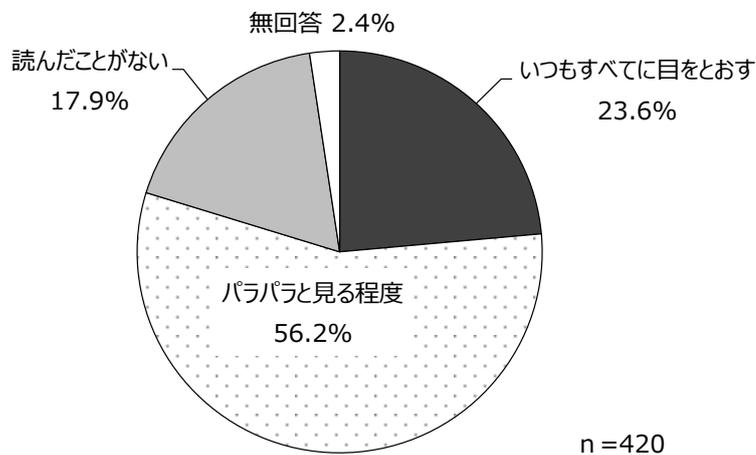
**問27 あなたは厚岸町社会福祉協議会が地域福祉の推進を目的に1～17の活動に取り組んでいることを知っていますか。**

厚岸町社会福祉協議会の取組について、「内容を知っている」との回答が多いものは順に「12. 福祉バス「あやめ号」の運行管理」が33.8%、「14. 元気いきいき教室の実施」が27.4%、「17. チャリティビアパーティーの実施」が25.7%となっています。



**問28 あなたは厚岸町社会福祉協議会の広報誌「しゃっきー」を読んだことがありますか。**

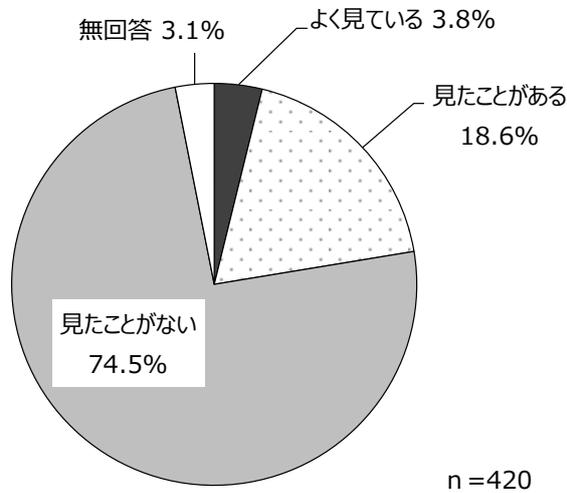
「パラパラと見る程度」が56.2%と最も多く、次いで「いつもすべてに目をとおす」が23.6%、「読んだことがない」が17.9%となっています。



		合計	問28 あなたは厚岸町社会福祉協議会の広報誌「しゃっきー」を読んだことがありますか。			
			いつもすべてに目をとおす	パラパラと見る程度	読んだことがない	無回答
全体		420 100.0%	99 23.6%	236 56.2%	75 17.9%	10 2.4%
年齢構成	20歳代	22 100.0%	2 9.1%	6 27.3%	14 63.6%	0 0.0%
	30歳代	39 100.0%	5 12.8%	22 56.4%	12 30.8%	0 0.0%
	40歳代	62 100.0%	7 11.3%	41 66.1%	14 22.6%	0 0.0%
	50歳代	64 100.0%	13 20.3%	42 65.6%	9 14.1%	0 0.0%
	60歳代	84 100.0%	19 22.6%	53 63.1%	11 13.1%	1 1.2%
	70歳代	99 100.0%	39 39.4%	48 48.5%	10 10.1%	2 2.0%
	80歳以上	49 100.0%	14 28.6%	23 46.9%	5 10.2%	7 14.3%
	無回答	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%

**問29 あなたは厚岸町社会福祉協議会のホームページを見たことがありますか。**

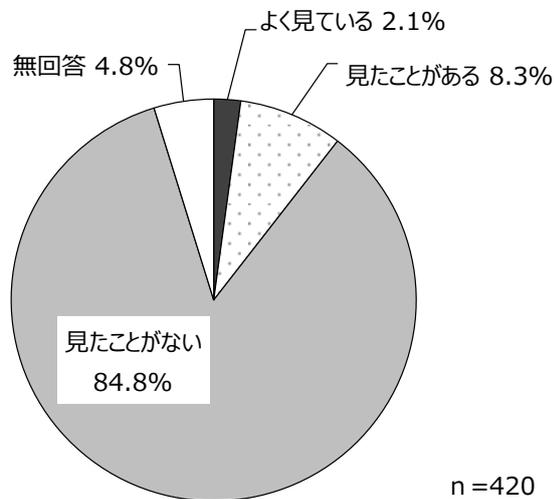
「見たことがない」が74.5%と最も多く、次いで「見たことがある」が18.6%、「よく見ている」が3.8%となっています。



		合計	問29 あなたは厚岸町社会福祉協議会のホームページを見たことがありますか。			
			よく見ている	見たことがある	見たことがない	無回答
全体		420 100.0%	16 3.8%	78 18.6%	313 74.5%	13 3.1%
年齢構成	20歳代	22 100.0%	1 4.5%	5 22.7%	16 72.7%	0 0.0%
	30歳代	39 100.0%	2 5.1%	7 17.9%	30 76.9%	0 0.0%
	40歳代	62 100.0%	0 0.0%	10 16.1%	52 83.9%	0 0.0%
	50歳代	64 100.0%	0 0.0%	8 12.5%	56 87.5%	0 0.0%
	60歳代	84 100.0%	1 1.2%	13 15.5%	68 81.0%	2 2.4%
	70歳代	99 100.0%	8 8.1%	23 23.2%	64 64.6%	4 4.0%
	80歳以上	49 100.0%	4 8.2%	11 22.4%	27 55.1%	7 14.3%
	無回答	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%

### 問30 あなたは、厚岸町社会福祉協議会のFacebookを見たことがありますか

「見たことがない」が84.8%と最も多く、次いで「見たことがある」が8.3%、「よく見ている」が2.1%となっています。

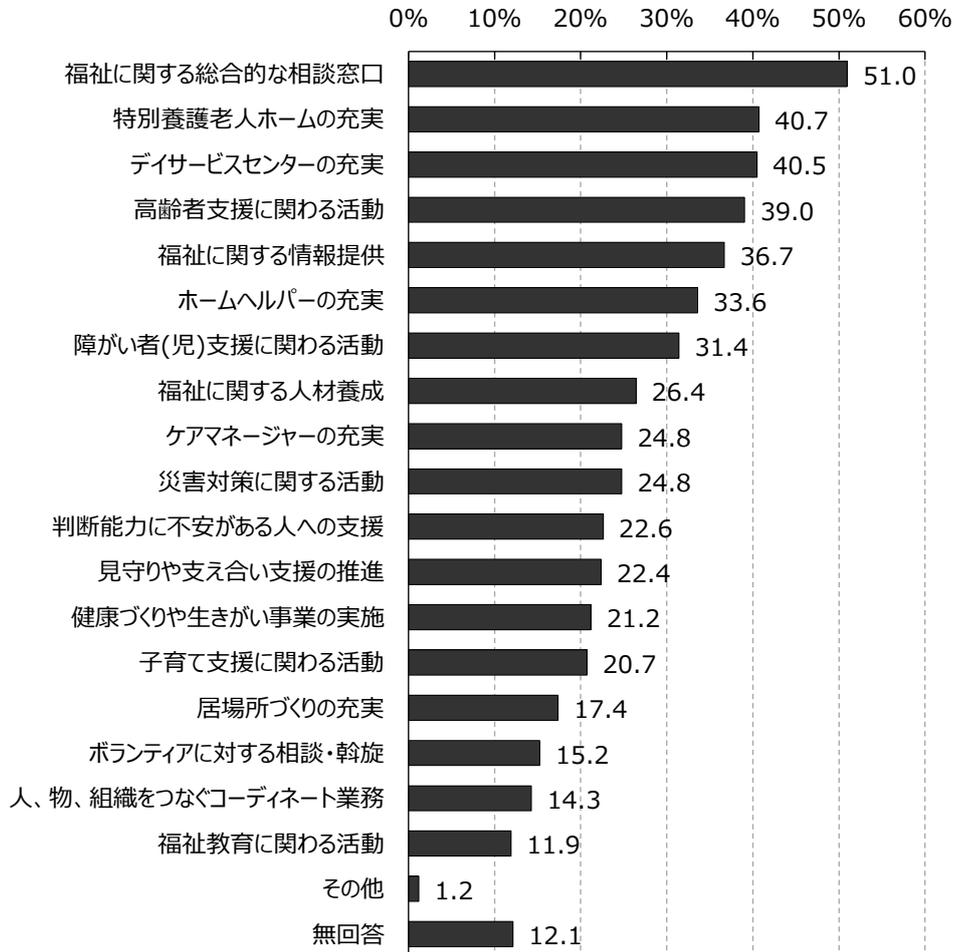


		合計	問30 あなたは、厚岸町社会福祉協議会のFacebookを見たことがありますか			
			よく見ている	見たことがある	見たことがない	無回答
全体		420 100.0%	9 2.1%	35 8.3%	356 84.8%	20 4.8%
年齢構成	20歳代	22 100.0%	0 0.0%	2 9.1%	20 90.9%	0 0.0%
	30歳代	39 100.0%	3 7.7%	3 7.7%	33 84.6%	0 0.0%
	40歳代	62 100.0%	0 0.0%	5 8.1%	55 88.7%	2 3.2%
	50歳代	64 100.0%	0 0.0%	2 3.1%	62 96.9%	0 0.0%
	60歳代	84 100.0%	1 1.2%	4 4.8%	78 92.9%	1 1.2%
	70歳代	99 100.0%	2 2.0%	12 12.1%	77 77.8%	8 8.1%
	80歳以上	49 100.0%	3 6.1%	7 14.3%	30 61.2%	9 18.4%
	無回答	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%

### 問31 厚岸町社会福祉協議会に対してどんなことを期待しますか。(複数回答)

「福祉に関する総合的な相談窓口」が51.0%と最も多く、次いで「特別養護老人ホームの充実」が40.7%、「デイサービスセンターの充実」が40.5%、「高齢者支援に関わる活動」が39.0%、「福祉に関する情報提供」が36.7%となっています。

n=420



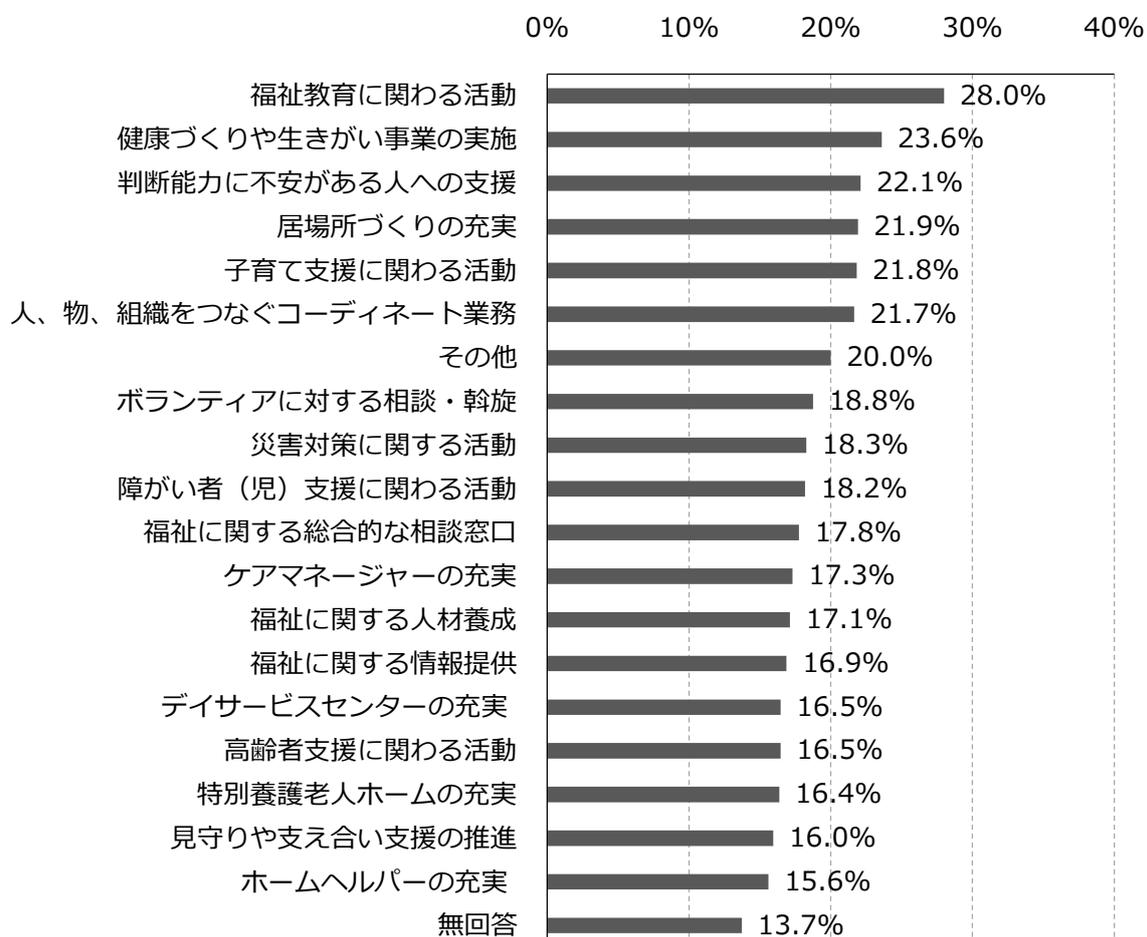
		問31 厚岸町社会福祉協議会に対してどんなことを期待しますか。														
		合計	福祉に関する総合的な相談窓口	福祉に関する情報提供	福祉に関する人材養成	ボランティアに対する相談・斡旋	高齢者支援に関わる活動	障がい者(児)支援に関わる活動	福祉教育に関わる活動	子育て支援に関わる活動	居場所づくりの充実	ケアマネジャーの充実	ホームヘルパーの充実	特別養護老人ホームの充実	デイサービスセンターの充実	健康づくりや生きがい事業の実施
全体		420	214	154	111	64	164	132	50	87	73	104	141	171	170	89
		100.0%	51.0%	36.7%	26.4%	15.2%	39.0%	31.4%	11.9%	20.7%	17.4%	24.8%	33.6%	40.7%	40.5%	21.2%
年齢構成	20歳代	22	11	6	6	5	6	9	5	9	6	5	5	6	6	4
		100.0%	50.0%	27.3%	27.3%	22.7%	27.3%	40.9%	22.7%	40.9%	27.3%	22.7%	22.7%	27.3%	27.3%	18.2%
	30歳代	39	20	19	14	14	14	16	5	22	12	10	13	16	17	11
		100.0%	51.3%	48.7%	35.9%	35.9%	35.9%	41.0%	12.8%	56.4%	30.8%	25.6%	33.3%	41.0%	43.6%	28.2%
	40歳代	62	38	27	23	11	29	20	15	17	15	12	26	24	26	11
		100.0%	61.3%	43.5%	37.1%	17.7%	46.8%	32.3%	24.2%	27.4%	24.2%	19.4%	41.9%	38.7%	41.9%	17.7%
	50歳代	64	41	27	21	13	28	26	11	17	14	19	28	31	30	20
		100.0%	64.1%	42.2%	32.8%	20.3%	43.8%	40.6%	17.2%	26.6%	21.9%	29.7%	43.8%	48.4%	46.9%	31.3%
	60歳代	84	44	32	22	11	30	24	6	9	10	27	27	40	38	18
	100.0%	52.4%	38.1%	26.2%	13.1%	35.7%	28.6%	7.1%	10.7%	11.9%	32.1%	32.1%	47.6%	45.2%	21.4%	
70歳代	99	43	30	18	8	41	27	5	6	13	27	34	41	40	20	
	100.0%	43.4%	30.3%	18.2%	8.1%	41.4%	27.3%	5.1%	6.1%	13.1%	27.3%	34.3%	41.4%	40.4%	20.2%	
80歳以上	49	17	12	7	2	15	9	3	7	3	4	8	13	13	5	
	100.0%	34.7%	24.5%	14.3%	4.1%	30.6%	18.4%	6.1%	14.3%	6.1%	8.2%	16.3%	26.5%	26.5%	10.2%	
無回答	1	0	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	
	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	

	合計	問8 ご近所との付き合いをどの程度していますか。						
		何か困ったときに、助け合える程度	お互いに、訪問しあう程度	立ち話をする程度	あいさつをする程度	ほとんど付き合いはない	無回答	
全体	420 100.0%	100 23.8%	45 10.7%	95 22.6%	143 34.0%	27 6.4%	10 2.4%	
問31 厚岸町社会福祉協議会に対してどんなことを期待しますか。	福祉に関する総合的な相談窓口	214 100.0%	54 25.2%	18 8.4%	53 24.8%	71 33.2%	13 6.1%	5 2.3%
	福祉に関する情報提供	154 100.0%	43 27.9%	16 10.4%	32 20.8%	52 33.8%	9 5.8%	2 1.3%
	福祉に関する人材養成	111 100.0%	27 24.3%	9 8.1%	24 21.6%	44 39.6%	5 4.5%	2 1.8%
	ボランティアに対する相談・斡旋	64 100.0%	21 32.8%	5 7.8%	11 17.2%	23 35.9%	4 6.3%	0 0.0%
	高齢者支援に関わる活動	164 100.0%	39 23.8%	17 10.4%	41 25.0%	56 34.1%	9 5.5%	2 1.2%
	障がい者（児）支援に関わる活動	132 100.0%	32 24.2%	12 9.1%	26 19.7%	51 38.6%	10 7.6%	1 0.8%
	福祉教育に関わる活動	50 100.0%	12 24.0%	5 10.0%	7 14.0%	22 44.0%	4 8.0%	0 0.0%
	子育て支援に関わる活動	87 100.0%	23 26.4%	8 9.2%	17 19.5%	31 35.6%	8 9.2%	0 0.0%
	居場所づくりの充実	73 100.0%	19 26.0%	8 11.0%	17 23.3%	23 31.5%	4 5.5%	2 2.7%
	ケアマネジャーの充実	104 100.0%	26 25.0%	9 8.7%	28 26.9%	33 31.7%	7 6.7%	1 1.0%
	ホームヘルパーの充実	141 100.0%	37 26.2%	13 9.2%	36 25.5%	49 34.8%	5 3.5%	1 0.7%
	特別養護老人ホームの充実	171 100.0%	39 22.8%	20 11.7%	45 26.3%	59 34.5%	5 2.9%	3 1.8%
	デイサービスセンターの充実	170 100.0%	42 24.7%	18 10.6%	43 25.3%	59 34.7%	6 3.5%	2 1.2%
	健康づくりや生きがい事業の実施	89 100.0%	22 24.7%	6 6.7%	23 25.8%	29 32.6%	7 7.9%	2 2.2%
	見守りや支え合い支援の推進	94 100.0%	24 25.5%	9 9.6%	22 23.4%	32 34.0%	6 6.4%	1 1.1%
	人、物、組織をつなぐコーディネート業務	60 100.0%	13 21.7%	3 5.0%	16 26.7%	20 33.3%	7 11.7%	1 1.7%
	判断能力に不安がある人への支援	95 100.0%	25 26.3%	7 7.4%	20 21.1%	35 36.8%	6 6.3%	2 2.1%
	災害対策に関する活動	104 100.0%	29 27.9%	8 7.7%	25 24.0%	35 33.7%	6 5.8%	1 1.0%
	その他	5 100.0%	0 0.0%	1 20.0%	1 20.0%	2 40.0%	1 20.0%	0 0.0%
	無回答	51 100.0%	14 27.5%	6 11.8%	11 21.6%	16 31.4%	3 5.9%	1 2.0%

	合計	問7 厚岸町に住みたいか 住みたいたくないか（統合）			
		住みたい	住みたいたくない	無回答	
全体	420 100.0%	340 81.0%	71 16.9%	9 2.1%	
問31 厚岸町 社会福祉協議会 に対してどんな ことを期待 しますか。	福祉に関する総合的な相談 窓口	214 100.0%	173 80.8%	38 17.8%	3 1.4%
	福祉に関する情報提供	154 100.0%	126 81.8%	26 16.9%	2 1.3%
	福祉に関する人材養成	111 100.0%	91 82.0%	19 17.1%	1 0.9%
	ボランティアに対する相談・斡旋	64 100.0%	52 81.3%	12 18.8%	0 0.0%
	高齢者支援に関わる活動	164 100.0%	136 82.9%	27 16.5%	1 0.6%
	障がい者（児）支援に関わる活動	132 100.0%	107 81.1%	24 18.2%	1 0.8%
	福祉教育に関わる活動	50 100.0%	36 72.0%	14 28.0%	0 0.0%
	子育て支援に関わる活動	87 100.0%	66 75.9%	19 21.8%	2 2.3%
	居場所づくりの充実	73 100.0%	56 76.7%	16 21.9%	1 1.4%
	ケアマネージャーの充実	104 100.0%	86 82.7%	18 17.3%	0 0.0%
	ホームヘルパーの充実	141 100.0%	119 84.4%	22 15.6%	0 0.0%
	特別養護老人ホームの充実	171 100.0%	141 82.5%	28 16.4%	2 1.2%
	デイサービスセンターの充実	170 100.0%	141 82.9%	28 16.5%	1 0.6%
	健康づくりや生きがい事業の実施	89 100.0%	68 76.4%	21 23.6%	0 0.0%
	見守りや支え合い支援の推進	94 100.0%	78 83.0%	15 16.0%	1 1.1%
	人、物、組織をつなぐコーディネート業務	60 100.0%	47 78.3%	13 21.7%	0 0.0%
	判断能力に不安がある人への支援	95 100.0%	73 76.8%	21 22.1%	1 1.1%
	災害対策に関する活動	104 100.0%	85 81.7%	19 18.3%	0 0.0%
	その他	5 100.0%	4 80.0%	1 20.0%	0 0.0%
	無回答	51 100.0%	41 80.4%	7 13.7%	3 5.9%

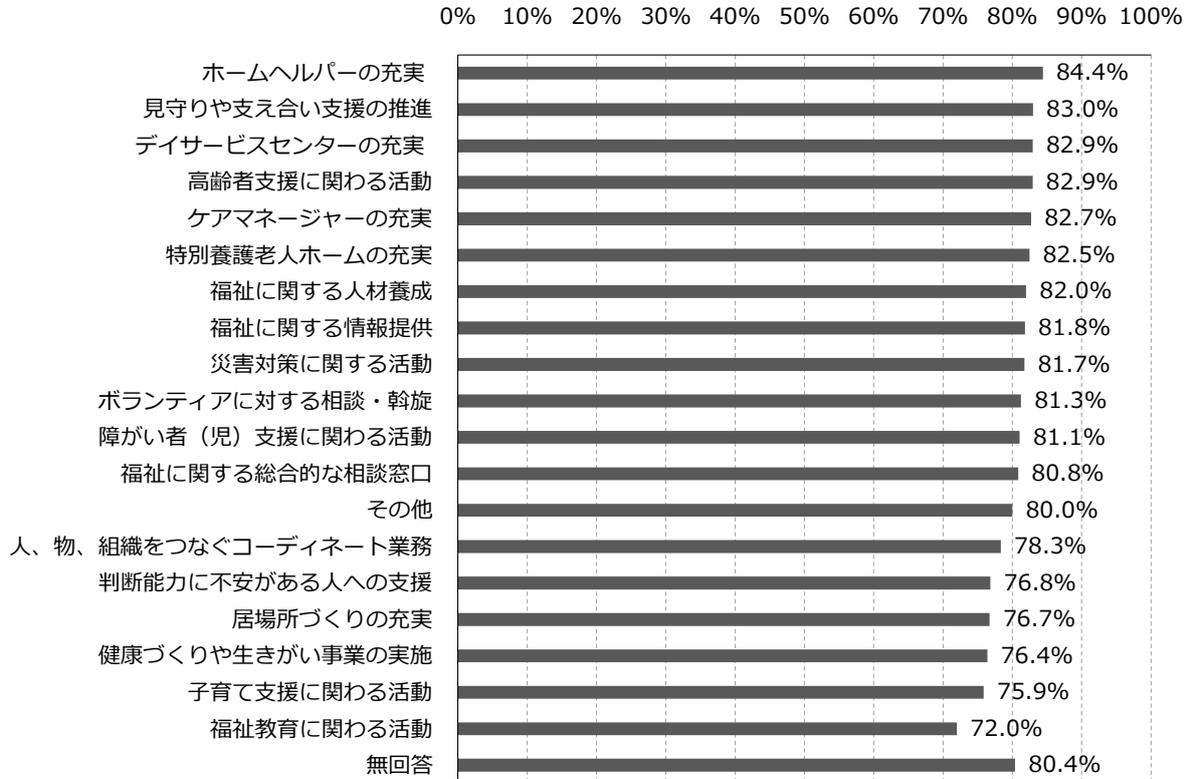
**住み続けたくないと回答した人で  
厚岸町社会福祉協議会に対してどんなことを期待しますか。**

n=71



住み続けたいと回答した人で  
厚岸町社会福祉協議会に対してどんなことを期待しますか。

n=340

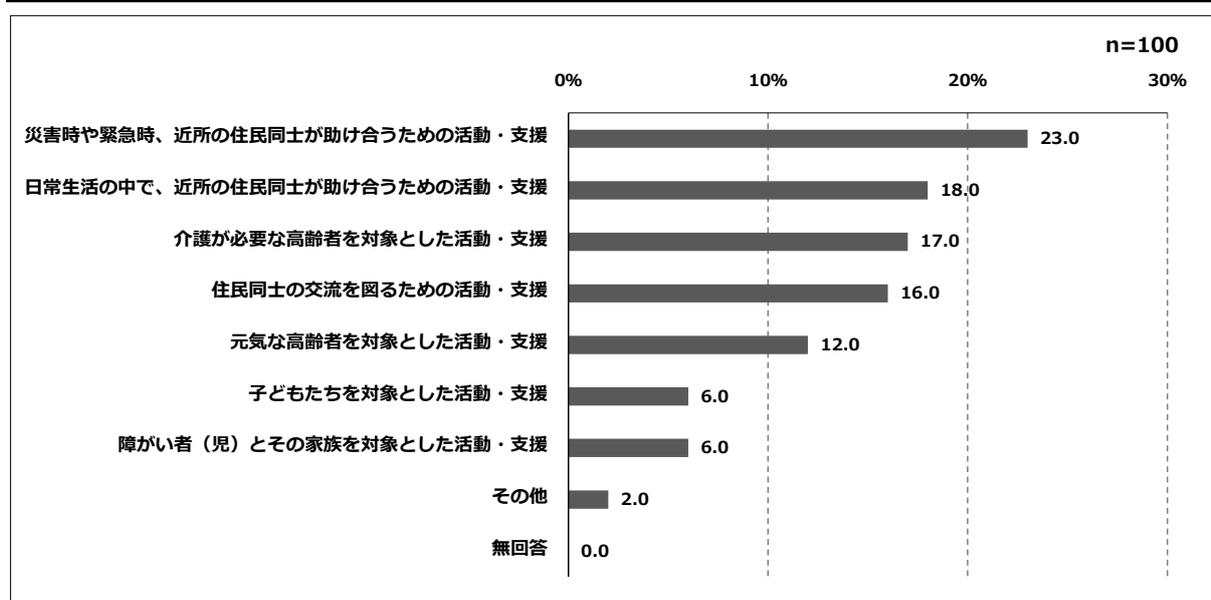


## 厚岸町に求められる福祉活動・支援(自治会・団体アンケートより)

### ●自治会・団体・老人クラブ総数での回答

#### 日頃の活動等を通じて、厚岸町で特に求められているのはどのような福祉活動・支援だと思いますか。(複数回答)

「災害時や緊急時、近所の住民同士が助け合うための活動・支援」が23.0%と最も多く、次いで「日常生活の中で、近所の住民同士が助け合うための活動・支援」が18.0%、「介護が必要な高齢者を対象とした活動・支援」が17.0%、「住民同士の交流を図るための活動・支援」が16.0%、「元気な高齢者を対象とした活動・支援」が12.0%となっています。



## 2 第6期厚岸町総合計画策定ワークショップの意見の概要

本計画を策定するに当たって住民ワークショップを開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響により開催できませんでした。住民の意見を反映するため、第6期厚岸町総合計画策定時に、「10年先を見据え、これからの厚岸町をよりよく発展させる」テーマのもと、平成30年度に厚岸町民30名が参加したワークショップの内容や意見を取り入れることにしました。ワークショップでは、町民30名が5つの班に分かれて「保健・医療、地域福祉、高齢者福祉、障がい者（児）福祉、子育て支援、社会保障」の分野について、それぞれの班で意見交換を行っています。

そのワークショップでの総括については、以下の3つの方向性でまとめられています。そこから、地域福祉計画での方向性について考察をしています。

つなごりの強化による支え合い体制の構築	地域福祉計画では
<p>ひとり暮らしの高齢者や、子育て中の母親、障がい者（児）など、地域において支援を必要とする人々は大勢いると、各班の意見であげられています。こうした支援を必要とする人々の福祉ニーズに対応していくためにも、地域のつながりを強化し、住民主体の支え合いのまちづくりを進めていくことが課題です。その具体的な手段として、様々な立場の人が垣根なく交流を図れるサロン事業による、つながりの創出が求められています。</p> <p>また、日々の生活の中で住民同士が見守りや支え合いを実践できるよう、障がいに関する知識の普及・啓発など、福祉意識の醸成を図ることも必要です。</p>	<p>● <u>地域共生社会の実現を目標に入れる。</u></p> <p>→国でも全国民に打ち出している、目標。</p>
<p><b>福祉に関する情報の効果的な周知</b></p> <p>福祉サービスに関する情報が住民に行き届いておらず、支援を必要とする人々がサービスの利用に至れていないケースがあるという意見が上げられました。こうした中で、例えば、高齢者に対してはIP電話、若者に対してはSNSを利用するなど、どうしたら情報が届くのかを検討し、効果的な情報の周知を図っていくことが求められています。</p>	<p>● 従来型での周知</p> <p>● 新しい形での周知</p>
<p><b>参画・協働でみんなに優しいまちづくり</b></p> <p>障がい者の雇用に関することや、独居高齢者の災害時支援に関すること、子育て支援の充実に向けた町の施設に対する改修要望、医療体制の充実を求める意見など、日頃の生活の中で感じる様々な課題があげられました。この一方で、気軽に相談できる場所がない。行政に対して要望する手順がわからないという意見もみられました。</p> <p>今後は、住民と行政とが、こうした課題を共有し、参画・協働でみんなに優しいまちづくりを進めていくことが求められています。このためにも、気軽に生活課題について相談できる体制の整備や、課題解決に向けた手順等を住民に示していくこと、行政と住民の意見交換の機会創出などを図っていくことが必要です。</p>	<p>● 厚岸町社会福祉協議会の活動そのものに当たるとはではないか。社会福祉協議会の枠組での住民参加そのものが、掲げる目標となっていくと考える。</p>

### 3 第4期地域福祉計画に向けた課題

アンケート調査結果と第6期厚岸町総合計画策定ワークショップの意見から出てきた方向性をまとめると、以下のようなものが課題として考えられます。

- ① 安全で安心して生活できる環境づくりをいかに図っていくか
  - 緊急時にも活かせる日頃からの絆づくり
  - 住民・厚岸町社会福祉協議会や関係機関・行政の連携による協働体制の強化
  - 新たな移動手段の確保の検討
  
- ② いつまでも住み続けたい厚岸町にするには何が必要か
  - いつでも、誰でも、気軽に相談できる体制の強化
  - 個人の人権を守るための各種制度の周知と効果的な運用
  - 各種情報提供の工夫の再検討
  
- ③ 町民の福祉に対する意識をいかに高めていくか
  - “知る”ことから始める心のバリアフリー
  - 地域活動の周知から始める地域活動の充実
  - 厚岸町の地域福祉を推進していくためのネットワークの強化
  - 厚岸町社会福祉協議会の存在意義の広報と参加への呼びかけ

## 第3章 計画の理念と基本目標

### 第1節 計画の理念

#### 基本理念

## みんな笑顔で健やかに、つながり支え合うまち

本計画の上位計画に当たる「第6期厚岸町総合計画」の基本構想では、『みんなの“あっけし”新時代の創造に向かって』をめざすまちの姿として設定し、その実現に向けた健康・保健・医療、福祉分野における将来像として『みんな笑顔で健やかに、つながり支え合うまち』を掲げています。

本計画においては、共通する概念として「みんな笑顔で健やかに、つながり支え合うまち」を基本理念として設定し、地域住民やボランティア、NPO法人、事業者、自治会、老人クラブなどの団体や福祉関係者などと連携・協力し、町民と行政の協働による「ともに支え合う福祉のまちづくり」を目指します。

### 第2節 基本目標

本計画の基本理念の実現への道筋として、3つの基本目標を掲げ推進していきます。

#### 基本目標1 人にやさしい福祉のまちづくり

誰にとっても住みやすい安心・安全な地域にしていくためには、地域における住民、行政、関係団体、事業者など多様な主体による支え合いが必要となります。

また、バリアフリー化やユニバーサルデザインの導入による生活環境の整備を進め、平常時・災害時も含めて安心して暮らせる「人にやさしい福祉のまちづくり」を目指します。

#### 基本目標2 いつまでも住み慣れた地域で暮らせるしくみづくり

支援を必要とする人が地域で生活を送るために様々な福祉サービスが提供されていますが、住民のニーズが適切にサービスと結びつくことが大切です。そのため、相談体制や情報提供の充実を図り、安心してサービスを利用できる体制を進めていきます。

また、利用者本位のサービスを行うために、民間活力を生かしたサービス支援体制の整備を進めるとともに、サービスの質や量の充実を図ります。

さらに、認知症の高齢者や知的障がいのある人など自らの意思の表示が困難な人が安心してサービスを利用できるようにするためには、利用者の権利擁護や利用援助のしくみづくりを進めて、「いつまでも住み慣れた地域で暮らせるしくみづくり」を目指します。

## ■ 基本目標3 ともに支え合うまちづくり

住民が主体となって地域福祉活動を進めていくことは、身近な生活課題を住民自ら解決するだけでなく、支援される側も支援する側もお互いの理解を深め、すべての人々を地域社会の一員として受け入れ、ともに生き・支え合う社会を実現することにつながっていきます。

地域社会の一員として一人ひとりが支え合い、誰もが地域で暮らし続けていけるようにしていくため、「ともに支えあ合うまちづくり」を進めていきます。

### 第3節 地域福祉重点プロジェクト

本計画における重点プロジェクトとは、3つの基本目標達成のために各目標に1つずつ設定し、3～5年を目途に重点的・優先的に取り組む全町的なプロジェクトとして位置付けるものです。

このプロジェクトの推進により、各部門別計画への意欲の誘因・動機づけ効果も狙いとしたものです。

#### ■『普段の生活から災害時にも強いコミュニティづくり』

災害時など、緊急時に住民同士が助け合うためには、普段からの住民同士のつながりや支え合いが重要です。

防災訓練などに平常時から取り組むとともに地域における要支援者に関する情報の把握・共有及び安否確認の方法等を整備することはもちろんのこと、あいさつや声かけといった普段の生活から住民同士のコミュニケーションをより一層心がけ、普段の生活から災害時にも強いコミュニティづくりを目指します。

#### ■『必要な情報がいつでも誰でも入手できる情報提供の充実』

情報社会の今日では、情報が豊富にあり過ぎて必要な情報が入手しづらい状況もあります。

例えば、何か困ったことが起きた時に、相談できる窓口がどこにあるのか分からない場合や、福祉サービスを受けたい時にどこに申し込めばいいかわからない、地域活動に参加したいがどこにその情報があるかわからない等、住民が生活する上で、また地域福祉を進めていくために必要な情報をいつでも誰でも入手できるよう、情報提供についてさらに検討を重ね工夫に努めます。

#### ■『コミュニケーションの場づくりの充実』

住民の誰もが地域の中で孤立することなく、安心して生活できるためには、地域住民による支え合い・助け合いが重要です。

住民の誰もが、ごく自然に日常的にボランティア活動を行ったり、日常的に情報交換やおしゃべりができるような場を設けたり、相互に支え合えるような地域社会の実現を目指します。

## 第4節 施策体系

### 基本理念

## みんな笑顔で健やかに、つながり支え合うまち

基本目標	施策の方向	基本施策
I 人にやさしい福祉のまちづくり	1 安心・安全のまちづくり	(1) 緊急時・災害時の支援体制 (2) 防犯対策の推進
	2 地域生活を支えるしくみづくり	(1) 関係機関の連携・支援体制づくり (2) 見守り・支援の体制づくり (3) 厚岸の宝である子どもをみんなで育てる体制づくり
	3 生活環境・都市基盤の整備や有効活用	(1) バリアフリー化の推進 (2) 移動手段の確保
II いつまでも住み慣れた地域で暮らせるしくみづくり	1 保健・医療・福祉体制づくり	(1) 福祉サービスの質の確保と向上 (2) 健康・福祉ネットワークの構築 (3) ころとからだの健康増進
	2 福祉サービスを支えるしくみづくり	(1) 相談体制の整備と充実 (2) 権利擁護事業の推進
	3 福祉サービスの情報提供	(1) サービス利用のための情報提供 (2) 地域活動などの情報提供の充実
III とともに支え合うまちづくり	1 住民意識の高揚と参加の促進	(1) 地域ボランティア活動・NPO活動の促進 (2) 地域福祉活動の人材発掘・育成 (3) 心のバリアフリーの推進
	2 福祉コミュニティづくりの推進	(1) 社会福祉協議会への支援 (2) 民生委員・児童委員活動への支援 (3) コミュニケーションの場づくり (4) 自治会活動への支援

# 第4章 目標達成のための取組の展開

## 基本目標Ⅰ 人にやさしい福祉のまちづくり

### 1 安心・安全のまちづくり

#### (1) 緊急時・災害時の支援体制

緊急時・災害時では、日頃の住民同士のコミュニケーションが重要です。

アンケート結果から「日頃からのあいさつ、声かけや付き合い」は、第3期のアンケート結果と比べて、5.4ポイント減少していることから、あいさつや声かけの継続により、住民同士のコミュニケーションを継続するとともに、要支援者の把握を日常的に進め、庁内においては関係機関との連携体制の構築を図り、緊急時や災害時における支援体制づくりや取組の充実を図ります。

#### ◆ 具体的な取組 ◆

【自 助】	<ul style="list-style-type: none"><li>個人・家庭で備蓄や避難方法の確認などを行います。</li><li>近所の災害時における避難行動要支援者を把握しておきます。</li><li>ハザードマップで、危険な場所を確認しておきます。</li><li>災害等の非常時に、円滑な助け合いができるよう、隣近所での声かけを行います。</li><li>地域の防災訓練に参加します。</li></ul>
【共 助】	<ul style="list-style-type: none"><li>隣近所での声かけを行います。</li><li>防災資機材を整備します。</li><li>事故防止のための講習会を行います。</li><li>定期的に防災訓練を行います。</li><li>緊急通報システムの必要性を理解し、協力員になります。</li><li>自主防災組織の組織化を行います。</li></ul>
【公 助】	<ul style="list-style-type: none"><li>緊急通報システムを活用し、緊急事故の発生時における緊急通報体制の充実と迅速・的確な活動のための関係機関との連携強化を図ります。</li><li>避難先で必要な介護を受けられる体制を確保します。</li><li>関係機関などとの連携による各種相談支援体制の整備や防災知識の普及などに努めます。</li><li>緊急時要支援情報を共有できる「情報キット配布事業」を推進します。</li></ul>

#### ◆ 目標値 ◆

目標指標	令和2年度	令和7年度
緊急通報システム設置世帯数	70世帯	100世帯
情報キット配布数	382件	500件

## (2) 防犯対策の推進

防犯への取組については、自助・共助の取組が公助の取組に比べ弱い部分があります。

まず、住民一人ひとりが防犯に対する意識を高め、犯罪や悪質商法などの被害にあわないように、地域の住民や関連機関との連携による防犯ネットワークの強化に加え、防犯知識の普及、防犯に関する相談や、被害にあってしまった後の相談などの各種相談体制の整備など、支援体制の充実に努めます。

### ◆ 具体的な取組 ◆

【自助】	<ul style="list-style-type: none"> <li>防犯に対する意識の向上に努めます。</li> <li>防犯に対する情報に敏感になり、家族や地域の人と話し合う機会を設けます。</li> <li>防犯パトロールに参加します。</li> <li>防犯パトロールで空き家など、地域の危険な場所のチェックをします。</li> <li>日常の見守り活動に積極的に参加します。</li> </ul>
【共助】	<ul style="list-style-type: none"> <li>防犯パトロールを充実します。</li> <li>地域で防犯教室の開催を目指します。</li> <li>地域安全街頭啓発を行います。</li> <li>厚岸町消費者被害防止情報連絡会議と連携します。</li> </ul>
【公助】	<ul style="list-style-type: none"> <li>関係機関、団体との連携を図り、地域安全街頭啓発を実施します。</li> <li>地域の防犯教室の開催に協力します。</li> <li>各種相談支援体制の整備や防犯知識の普及に努めます。</li> <li>新たな犯罪の手口の周知及び注意喚起に努めます。</li> </ul>

### ◆ 目標値 ◆

目標指標	令和2年度	令和7年度
防犯パトロールの回数	3回	3回

## 2 地域生活を支えるしくみづくり

### (1) 関係機関の連携・支援体制づくり

地域には、それぞれの場所に軸足を置いた様々な団体や関係機関があります。できる限り住み慣れた地域の中でその人らしい暮らしをするためには、多様化する住民ニーズに対応した福祉サービスを総合的・効果的に展開し、様々な団体や関係機関との連携を図り、支援を必要とする人の地域生活を支援する体制が重要です。

今後、町をはじめ関係行政機関、医療機関、社会福祉法人、介護保険サービス提供事業所などの相互連携を図り、支援が必要な方へのサービスを充実していきます。

#### ◆ 具体的な取組 ◆

【公 助】	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 児童虐待予防ケアマネジメントシステム事業の充実を図ります。</li><li>・ 障がい者の自立生活支援や社会参加支援に関わる必要なサービス調整のための総合的なケアマネジメント機能としての「地域自立支援協議会」を年1回以上開催し、活発な協議を行います。</li><li>・ 介護支援専門員らとの多職種協働と関係機関との連携により、包括的・継続的なケアマネジメントを行います。</li><li>・ 地域包括支援センター定期連絡会議や地域ケア個別会議の実施により、地域包括ケアの推進を図ります。</li></ul>
-------	--

#### ◆ 目標値 ◆

目標指標	令和2年度	令和7年度
自立支援協議会の開催	3回	3回
地域ケア会議の開催	5回	10回

## (2) 見守り・支援の体制づくり

現代社会では、少子高齢化や核家族化の進行、貧困やひきこもり、家庭内暴力、虐待、自殺など様々な問題が生じています。

しかし、住民同士の親しい付き合いや助け合いといった地域における相互機能が弱まっていることで、何らかの困りごとを抱えた方が、解決の糸口を見出せないまま、社会的な孤立に陥る要因となっています。

今後は、民生委員・児童委員や自治会が中心に行われている見守り活動を広げ、公的な福祉サービスでは対応できない地域課題などに対応するとともに、日頃からの助け合いや支え合いが地域で展開できるように、地域住民が支援者となる環境づくりを進めます。

### ◆ 具体的な取組 ◆

【自 助】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日頃から隣近所との付き合いを大切にします。</li> <li>・認知症や障がい者の理解を深めます。</li> <li>・認知症サポーターになります。</li> <li>・見守り活動などに積極的に参加します。</li> <li>・ゲートキーパー養成講座に関心を持ち参加します。</li> </ul>
【共 助】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域で見守り、地域で支え合う体制を強化します。</li> <li>・地域生活定着支援センターとの連携を図ります。</li> <li>・こころの健康づくりを普及・啓発するための出前講座などの機会を設けます。</li> <li>・ゲートキーパー養成講座の開催に協力します。</li> </ul>
【公 助】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・民生委員・児童委員の研修を行います。</li> <li>・関係機関と連携し、安否確認に関する事業の推進を図っていきます。</li> <li>・SOSネットワークの普及・啓発を継続するとともに、関係機関が連携できる体制を整備します。</li> <li>・民間団体や企業による見守り活動の強化に努めます。</li> <li>・認知症サポーター養成を継続します。</li> <li>・こころの健康づくりを普及・啓発するため、健康教育・相談を進めるとともに、地域における自殺予防の基盤整備として地域で見守る人材の育成（ゲートキーパー養成講座）を開催します。</li> </ul>

### ◆ 目 標 値 ◆

目標指標	令和2年度	令和7年度
自治会たすけあいチーム設置状況	9件	32件
安否確認に関する事業登録者数	15人	700人
認知症サポーター数	1,055人	1,200人
厚岸町民生委員児童委員協議会定例会の開催	5回	9回

### (3) 厚岸の宝である子どもをみんなで育てる体制づくり

少子化により、町子ども達が少なくなっている中、子ども達を厚岸の宝として町全体で育てていくことが重要です。

子ども達を見守るとともに、子どものいる家庭が孤立することなく、子どもが健やかに育つよう、地域ぐるみで子育て体制を構築します。

#### ◆ 具体的な取組 ◆

【自 助】	<ul style="list-style-type: none"> <li>登下校時の見守りをします。</li> <li>ファミリーサポート事業への理解を深めます。</li> <li>子育てに困ったら相談するようにします。</li> </ul>
【共 助】	<ul style="list-style-type: none"> <li>登下校時の見守りなどで子ども達を町全体で育てる意識を高めます。</li> <li>虐待などを未然に防げるよう、子どもを育てる人の相談相手になります。</li> <li>ファミリーサポート事業の提供会員になって、地域の中で育児の援助活動を行います。</li> </ul>
【公 助】	<ul style="list-style-type: none"> <li>登下校時の見守りなどで子ども達を町全体で育てる意識啓発に努めます。</li> <li>虐待を未然に防ぐよう関係機関の連携を強化します。</li> <li>妊産婦、新生児、乳児訪問事業により、虐待予防や生活リズムなど養育環境の問題への対処を積極的に進めます。</li> </ul>

#### ◆ 目 標 値 ◆

目標指標	令和2年度	令和7年度
ファミリー・サポート事業登録者数	33人	50人

### 3 生活環境・都市基盤の整備や有効活用

#### (1) バリアフリー化の推進

本町では、平成18年6月に制定された「バリアフリー新法（高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律）」や平成30年12月施行の「ユニバーサル社会の実現に向けた諸施策の総合的かつ一体的な推進に関する法律」などを踏まえ、すべての町民が、快適にかつ安心して外出・移動できるよう、公共施設の整備、ユニバーサルデザインによる施設整備を図ってきました。

今後も、誰もが安心して外出・移動できるようバリアフリー化の推進に努めます。

#### ◆ 具体的な取組 ◆

【自 助】	<ul style="list-style-type: none"> <li>公共施設の周辺に放置自転車、違法駐車などをしないようにします。</li> <li>困っている人を見かけたら手助けをします。</li> <li>除雪の妨げになる路上駐車をしないようにします。</li> <li>歩道障害物とならないよう適切な歩道確保を行います。</li> </ul>
【共 助】	<ul style="list-style-type: none"> <li>近所で助け合って除雪します。</li> <li>利用者の立場から公共施設のバリアフリーについて意見をとりまとめます。</li> </ul>
【公 助】	<ul style="list-style-type: none"> <li>公共建築物については、ユニバーサルデザインを取り入れ施設整備を図ります。</li> <li>町民が利用する施設やレクリエーションの場について、地域の人たちとともにつくる「協働による施設づくり」を行います。</li> <li>町内の公園などは、すべての町民が安全かつ快適に利用できるように改善整備し、多目的トイレ（障がい者用トイレ）の設置や入口の段差解消などに努めます。</li> <li>定期的に道路パトロールを実施し、歩行空間等のバリアフリー化を推進します。</li> <li>通学路安全推進会議を設置し、町内の通学路を点検し、歩道改修をします。</li> </ul>

#### ◆ 目 標 値 ◆

目標指標	令和2年度	令和7年度
通学路点検	年1回	年1回



## (2) 移動手段の確保

ひとり暮らしの高齢者の閉じこもり防止、また、障がい者や高齢者が暮らしやすいまちづくりのためには、誰もが気軽に利用できる交通機関、移動手段の確保が重要となっています。

また、高齢者の移動手段がないことで、不安にも関わらず自家用車の運転を継続してしまうことが、重要な課題となっています。

今後も、外出支援サービス、デマンドバス、各種助成制度などのサービスの充実を図るとともに、共助での移動手段確保の検討もしていき、外出に心配がなく安心して楽しく暮らせる地域づくりを目指します。

### ◆ 具体的な取組 ◆

【自 助】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者・障がい者の移動に協力します。</li> <li>・困っている人を見かけたら手助けをします。</li> <li>・気軽に移動の手助けを頼めるような人間関係を構築します。</li> </ul>
【共 助】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の高齢者・障がい者の移送ニーズを把握します。</li> <li>・民間有償福祉輸送サービスの活用を図ります。</li> <li>・買い物の手伝いや近所への外出に同行します。</li> </ul>
【公 助】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・福祉車両による「外出支援サービス」や「車いす等通院等交通費助成事業」を継続します。（移動が困難な高齢者等及び身体障がい者を対象）</li> <li>・高齢者の積極的な社会参加のため、タクシーやJRも対象とした「福祉交通回数券助成事業」を推進していきます。</li> </ul>

### ◆ 目 標 値 ◆

目標指標	令和2年度	令和7年度
外出支援サービス事業稼働日数	224日	220日

## 基本目標Ⅱ いつまでも住み慣れた地域で暮らせるしくみづくり

### 1 保健・医療・福祉体制づくり

#### (1) 福祉サービスの質の確保と向上

福祉サービスを必要とする人が、安心してサービスを選択し、利用できるよう、サービスの質の向上やサービス利用に関する苦情解決への支援を進める必要があります。

サービス提供事業者による質の高いサービス提供や情報提供の取組が適切に行われるよう働きかけを行うほか、関係団体と連携してサービス提供従事者の資質の向上を図り、利用者が安心してサービスを利用することができるように苦情解決の支援や対応を行います。

#### ◆ 具体的な取組 ◆

【自 助】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 広報などを利用し、日常的なサービスと相談窓口についての知識を身につけます。</li> <li>・ 高齢者自身が家庭や地域で役割を持ち、積極的に介護予防に取り組みます。</li> <li>・ ひとり暮らしの人に声かけをします。</li> </ul>
【共 助】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高齢者を地域で見守り、地域で支え合う体制を強化します。</li> <li>・ 介護サービス利用者に適正な介護サービスを提供します。</li> <li>・ 福祉ネットワークをつくり、家族だけに負担がかからないように努めます。</li> <li>・ 地域の人々を地域で支える福祉活動の輪づくりに努めます。</li> </ul>
【公 助】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高齢者福祉事業、介護保険や介護予防事業に関する情報を発信します。</li> <li>・ 苦情解決が図られるように関係団体と連携しながら対応を行うほか、各サービス事業者が設置する苦情相談窓口について、利用者へ周知するように事業者に対して働きかけます。</li> <li>・ 介護保険施設における施設サービスの向上に努めるほか、指定管理者制度を活用した適正な施設運営に努めます。</li> </ul>

#### ◆ 目 標 値 ◆

目標指標	令和2年度	令和7年度
介護相談員派遣事業所数	5事業所	6事業所

## (2) 健康・福祉ネットワークの構築

住民が自らの健康を考え、地域で助け合い、支え合いながら、健康に暮らせるまちにしていく環境づくりが必要です。

しかし、地域の健康推進活動・福祉活動の中心となる方々の高齢化や健康相談地域の固定化などが課題となっています。

地域の健康推進活動・福祉活動の中心となる新たな人材の育成や新たな地区の開拓などに努めるとともに、住民一人ひとりの健康推進活動・福祉活動への参加を促し、健康や福祉に対する住民意識を深め、健康推進活動・福祉活動を通じた地域づくりを図ります。

### ◆ 具体的な取組 ◆

【自 助】	<ul style="list-style-type: none"> <li>行政や地域が開催する健康学習の場に積極的に参加します。</li> <li>かかりつけ医を持つことを心がけます。</li> <li>健康や福祉に対する意識を深めます。</li> </ul>
【共 助】	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康学習の場を確保します。</li> <li>健康増進計画「みんなすこやか厚岸21（第2期）」を推進します。</li> </ul>
【公 助】	<ul style="list-style-type: none"> <li>母子保健事業・健康増進事業を推進します。</li> <li>食生活改善推進委員の活動内容の見直しをする等、食生活改善推進委員への支援を強化します。</li> <li>住民の身近な場所で行う健康相談のさらなる充実を図るとともに、新たな地区団体等の開拓を図ります。</li> <li>各種機会を活用し、「自分たちの健康は自分たちでつくる」という健康意識のさらなる普及・啓発を図ります。</li> </ul>

### ◆ 目 標 値 ◆

目標指標	令和2年度	令和7年度
いきいきふれあい食と健康まつりの開催	0回	1回

※令和2年度は新型コロナウイルス感染症の状況を考慮して中止

### (3) こころとからだの健康増進

生涯にわたって、いきいきと暮らしていくための一番の基盤になるのは健康であり、地域福祉の推進においても基盤となります。疾病の早期発見、若年期からの健康づくりは重要です。

年々、健康に対する意識は高くなっていますが、生活習慣の変化やストレス等により生活習慣病の有病者・予備群の増加や疾病の重度化している状況がみられます。

そのため、若年期からの健康づくりに重点を置いた保健事業を充実し、特に生活習慣病の予防や疾病の重度化予防につながる健康づくり対策の強化を目指します。

また、年々増加しているこころの病気への対応として、学校や地域・職場を通じて住民に適切な対処法や相談窓口のさらなる周知など、正しい知識の普及を図ります。

#### ◆ 具体的な取組 ◆

【自 助】	<ul style="list-style-type: none"> <li>行政などの行う各種健康教室やスポーツ大会、イベントなどに参加します。</li> <li>身体の疲労回復とこころの健康のため、休養をしっかりとります。</li> <li>特定健康診査、特定保健指導を受け、生活習慣病と疾病の重症化を予防します。</li> <li>自分や家族の健康のために食事や運動などの生活習慣を改善します。</li> <li>こころの健康づくりに関することに関心を持ちます。</li> </ul>
【共 助】	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域などが実施する各種健康教室などを支援します。</li> <li>地域の食育活動や料理講習会を開催します。</li> <li>食生活教室を開催します。</li> </ul>
【公 助】	<ul style="list-style-type: none"> <li>こころの健康づくりに関する知識の普及・啓発に努めます。</li> <li>地域における自殺予防の基盤整備として、地域で見守る人材を育成します。 (ゲートキーパー養成講座開催)</li> <li>特定健康診査、特定保健指導を受診しやすい体制を整えます。</li> <li>生活習慣病予防についての正しい知識の普及・啓発に努めます。</li> <li>健康意識の高揚に向け、内容充実や実施対象拡大等により、各種行事・健康教育のさらなる推進に努めます。</li> </ul>

#### ◆ 目 標 値 ◆

目標指標	令和2年度	令和7年度
集団健康教育開催数	37回	55回
集団健康教育参加人数	200人	660人

## 2 福祉サービスを支えるしくみづくり

### (1) 相談体制の整備と充実

住み慣れた地域で安心して生活していく上で、より身近な地域で気軽に相談ができ、必要に応じて迅速かつ的確に専門の相談窓口や実施機関につないでいく体制づくりが必要となっています。

アンケート調査では、相談できる人がいない方もわずかながらみられます。

また、家族・親戚や友人・知人以外に相談する方は非常に少なくなっていることや地区の民生委員・児童委員を知らない方が約6割5分となっているため、専門の相談窓口や実施機関につないでいく体制づくりがまだ十分ではない状況です。

相談窓口の円滑な活動や関係機関等との連携を強化し、情報共有や事例検討を通じたネットワークづくりを進め、家族・親戚や友人・知人以外の相談できる人や場所があることの周知が必要です。

特に、ここ数年、課題の解決に困難性のある対象者が増えてきており、専門的な支援機能を有する複数の機関が協働して支援することもあります。

このことから、相談支援体制の整備と充実を図り、関係機関と連携して課題解決に取り組みます。

#### ◆ 具体的な取組 ◆

【自 助】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ひとりで悩まず、必ず誰かに相談することを心がけます。</li> <li>・よき隣人として、相談に応じます。</li> <li>・相談窓口の情報等に関心を持ちます。</li> </ul>
【共 助】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相談を受けられる人材の育成に取り組みます。</li> <li>・社会福祉協議会と連携を図ります。</li> <li>・専門相談機関同士の連携を図ります。</li> </ul>
【公 助】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・気軽に相談できる体制づくりを推進します。また、8050問題等の重層的な課題を抱える世帯への包括的支援体制の整備を検討をします。</li> <li>・民生委員・児童委員の活動について周知に努めるとともに心配ごと相談の活性化に努めます。</li> <li>・地域包括支援センター、障がい者専門相談窓口、子育て支援センター、「くらしごと」など、専門相談機関の周知及び機能の充実を図ります。</li> <li>・関係各課における相談業務を充実を図るとともに、相互の情報交換、連携を進めます。</li> </ul>

#### ◆ 目標値 ◆

目標指標	令和2年度	令和7年度
心配ごと及び法律相談数	4回	9回
困った時の相談相手（民生委員・児童委員の割合）	1.2%	6.0%

## (2) 権利擁護事業の推進

今後、増加が想定される認知症高齢者への対応や障がい者の地域生活への移行が進む中、それを補ってきた親族が少なくなり、成年後見制度を利用することが多くなっています。

判断能力に不安がある方であっても、基本的な権利が守られ、適切なサポートを受けながら、自分らしい生活を地域で送れるような取組を進めていきます。

本計画における成年後見制度の利用促進施策については、成年後見制度利用促進法に基づき市町村計画として位置付けて推進します。

また、虐待や要保護児童対策のため、地域で組織を構築し、普段から関係機関との緊密な情報交換やお互いの機能を理解し、虐待の早期発見・早期対応に取り組みます。

### ◆ 具体的な取組 ◆

【自 助】	<ul style="list-style-type: none"> <li>権利擁護に関する学習の機会に参加します。</li> <li>障がいや認知症について理解を深めます。</li> <li>介護や子育てにひとりで悩まないで、身近な人に相談します。</li> <li>虐待を発見した場合は、速やかに関係機関に相談します。</li> </ul>
【共 助】	<ul style="list-style-type: none"> <li>制度を必要とする人がいれば、関係機関と連携を図ります。</li> <li>虐待の早期発見に取り組んで、発見した場合は町に連絡します。</li> <li>生活支援員を増やし、権利擁護活動を支援します。</li> <li>厚岸町要保護児童対策協議会と連携を強化します。</li> </ul>
【公 助】	<ul style="list-style-type: none"> <li>社会福祉協議会が実施する権利擁護事業に対し、支援を行います。</li> <li>地域の権利擁護支援・成年後見制度利用促進機能の強化に向けて、中核機関設置の検討を始めます。</li> <li>成年後見制度の周知、情報の提供、活用に必要な支援を行います。</li> <li>虐待に関する知識の普及を図り、相談窓口や連絡先の周知に努めます。</li> <li>関係機関と連携し、虐待を未然に防げるように早期発見・早期対応に取り組みます。</li> </ul>

### ◆ 目 標 値 ◆

目標指標	令和2年度		令和7年度
成年後見実施機関の設置	1箇所	⇒	1箇所
日常生活自立支援員数	5人	⇒	10人
中核機関の設置	0箇所	⇒	1箇所
成年後見制度利用支援事業対象者	4人	⇒	10人
町長申立件数	3件	⇒	3件

### 3 福祉サービスの情報提供

#### (1) サービス利用のための情報提供

情報は、必要な情報が必要な時にわかりやすく入手することができなければ意味がありません。

福祉サービスや制度に関する情報は広報「あっけし」やホームページ、パンフレット・チラシなど、様々な方法で提供していますが、アンケート調査では、情報をどこからも入手していない人の割合が約1割強います。今後も必要な情報が必要な時にわかりやすく入手できるよう、受け手に配慮した情報提供の工夫を継続することが重要です。

また、既存の紙媒体での情報提供に加え、メールやインターネットなどの媒体を活用した情報提供に努めることに加え、情報のバリアフリー化を目指し、視覚障がいの方や、パソコン等の操作を苦手とする方への対応を行います。

#### ◆ 具体的な取組 ◆

【自 助】	<ul style="list-style-type: none"><li>• お互いに知っている便利な情報を知らせます。</li><li>• 隣近所への情報の伝え方を工夫します。</li><li>• 便利な情報を広報「あっけし」やインターネット等で確認します。</li></ul>
【共 助】	<ul style="list-style-type: none"><li>• 福祉情報をわかりやすく伝える工夫をします。</li><li>• 情報交換できる場を提供します。</li></ul>
【公 助】	<ul style="list-style-type: none"><li>• 福祉情報を総合的に伝えられるよう努めます。</li><li>• 広報「あっけし」やインターネット等による情報提供をわかりやすく充実していくとともに、随時新しい情報を的確に周知するよう努めます。</li><li>• 関係機関やサービス事業所などへ、随時新しい情報が伝わるよう情報を提供する機会をつくります。</li></ul>

#### ◆ 目 標 値 ◆

目標指標	令和2年度	令和7年度
情報をどこからも入手していない人の割合	12.9%	10.0%未満

## (2) 地域活動などの情報提供の充実

地域福祉活動には、ボランティアの方などの協力により、行われるものが多くあります。

アンケート調査では、ボランティア活動をしたことがないが、今後活動したい方が約4割おり、比較的若い世代でも興味のある方が多くなっています。ボランティア活動の輪を広げるために必要なこととしては、「ボランティア活動についての情報提供を積極的に行う」が最も多くなっています。

興味のある方が、ボランティア活動についての情報を入手しやすく、参加しやすいような体制づくりに取り組めます。

### ◆ 具体的な取組 ◆

【自 助】	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 地域活動などについての情報に関心を持つように心がけます。</li><li>・ できることから積極的に地域活動などに参加します。</li></ul>
【共 助】	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 地域活動などに参加する方が増えるよう、地域活動などの情報発信を工夫します。</li><li>・ 地域活動などの情報を幅広く伝える工夫をします。</li></ul>
【公 助】	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 地域活動などの情報提供の場を整備します。</li><li>・ 関係機関と連携し、地域活動などが活発に行われるよう推進します。</li></ul>

### ◆ 目 標 値 ◆

目標指標	令和2年度	令和7年度
ボランティア活動をしている方の割合	4.3%	15.0%

# 基本目標Ⅲ ともに支え合うまちづくり

## 1 住民意識の高揚と参加の促進

### (1) 地域ボランティア活動・NPO活動の促進

人々の価値観やライフスタイルの多様化に伴い、福祉に対するニーズや生活課題も多様化し、制度に基づく公的なサービスだけでは対応しきれなくなってきています。

そのような状況の中で、様々な生活課題を解決していくには、人々の意識変革に加え地域において自発的に課題を解決しようとする活動が必要です。中でも、地域に根ざしたボランティア活動・NPO活動は、生活課題を解決し、福祉のまちづくりを進めていくためには欠かせない大きな存在です。

また、高齢者の中でも元気高齢者といわれる支援する側になっていただける方々の存在は、頼もしいものです。

今後も、社会福祉協議会を中心として関係機関が連携し、ボランティア活動に参加するきっかけづくりの場や機会の提供を充実していくとともに、元気な高齢者の活用も視野に入れ、身近な地域での住民同士のふれ合いや支え合い活動へのボランティア参加を進めます。

#### ◆ 具体的な取組 ◆

【自 助】	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 各種ボランティア研修会や講座に参加します。</li> <li>• ボランティア行事などに誘いあって参加します。</li> <li>• 地域の清掃活動などに積極的に参加します。</li> <li>• 高齢になってもボランティア活動に参加する気持ちを持ちます。</li> </ul>
【共 助】	<ul style="list-style-type: none"> <li>• ボランティアセンターを活用します。</li> <li>• ボランティア研修会や行事を協働で実施します。</li> <li>• 地域で行われているボランティア活動の広報を充実します。</li> <li>• 地域でボランティア活動をしたい人と、ボランティアを必要とする人の円滑なコーディネートを促進します。</li> <li>• ボランティア活動を促進するための啓発や、幅広い年代の人々が気軽に参加できる機会の拡大に努めます。</li> </ul>
【公 助】	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 社会福祉協議会と連携した取組と事業化の検討を進めます。</li> <li>• 元気な高齢者を活用できるしくみづくりを推進します。</li> </ul>

#### ◆ 目 標 値 ◆

目標指標	令和2年度	令和7年度
ボランティア団体数	7団体	10団体
NPO団体数	0団体	1団体

## (2) 地域福祉活動の人材発掘・育成

地域福祉は、「住民主体・住民参加」という原則のもと、福祉団体、自治会、民生委員・児童委員やボランティアなど様々な分野の方の活動なくして成り立ちません。

しかし、それらの活動は、参加者の減少や高齢化、固定化等により、支援が十分行き届いていない現状がみられます。

住民主体による支え合いのしくみを支えるためにも、地域福祉活動に関わる人材の育成や地域住民等が地域の課題を「我が事」として捉え、支え合いの輪へ主体的な参加意欲を高めていく取組が大切です。

今後も、町民誰もが暮らしやすいまちになり、厚岸町の地域福祉がさらに発展するよう、地域福祉に関する理解を深めるとともに、様々な分野の人材発掘及び人材育成を推進します。

また、高齢者施策については、介護予防事業が重要さを増している中で、住民運営のつどいの場を充実させ、人と人とのつながりを通じて、参加者やつどいの場が継続的に拡大していくような地域づくりを推進し、誰もがいきいきと暮らせるまちづくりを目指します。

### ◆ 具体的な取組 ◆

【自 助】	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 地域のイベントや研修会に積極的に参加します。</li> <li>• ボランティア活動へ積極的に参加します。</li> <li>• 参加の声かけを行います。</li> </ul>
【共 助】	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 地域の情報を発信し、担い手となる人材の育成に努めます。</li> <li>• 魅力ある活動になるよう心がけます。</li> <li>• 社会福祉協議会などの広報などで、参加を呼びかけます。</li> <li>• 自治会単位でボランティア活動ができるような環境づくりを進めます。</li> </ul>
【公 助】	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 地域活動を実践する人材の発掘や養成を目的別に実施できるよう検討します。</li> <li>• 社会福祉協議会を中心とした地域での人材育成などを推進します。</li> </ul>

### ◆ 目 標 値 ◆

目標指標	令和2年度	令和7年度
地域ボランティア個人登録者数	42人	50人

### (3) 心のバリアフリーの推進

ノーマライゼーションの理念は徐々に根付いてきているものの、いまだ理解が不十分な人もいます。

本町では、イベントなどを通じてノーマライゼーション理念の普及・啓発に努めていますが、町民一人ひとりが正しい理解を深めることができるよう、様々な機会と啓発手段を利用して、今後もより一層「心のバリアフリー」を推進する必要があります。

「知識」としての啓発ではなく、高齢者や障がい者と実際に接したり、交流したりすることで相互理解を深め、心のバリアフリーを進めます。

#### ◆ 具体的な取組 ◆

【自 助】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習の場に積極的に参加します。</li> <li>・高齢者や障がい者について理解します。</li> </ul>
【共 助】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動を通じて個々の障がい者同士の理解を深めます。</li> <li>・地域のいろいろな機会（公民館や福祉施設などでの学習会や地域の集会等）で学習する場を設けます。</li> </ul>
【公 助】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・老人クラブや障がい者団体への支援を行います。</li> <li>・地域で企画する各種行事や保育所・学校などでの交流、ボランティア活動への体験参加などの機会の拡大を図ります。</li> <li>・学校における「人権教育（福祉教育）」の充実を図ります。</li> <li>・「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」に係る周知を図ります。</li> </ul>

#### ◆ 目 標 値 ◆

目標指標	令和2年度	令和7年度
障がい者（児）ふれあいフェスティバル「こう福祉21」の開催	0回	1回

※令和2年度は新型コロナウイルス感染症の状況を考慮して中止

## 2 福祉コミュニティづくりの推進

### (1) 社会福祉協議会への支援

社会福祉協議会は、地域福祉を中心的に担う存在であり、行政と車の両輪として、連携した地域福祉活動の取組を進めていく必要があります、地域福祉にとって大変重要な存在です。

アンケート調査では、存在の認知度は6割程度となってきたものの、活動内容や所在についての認知度は半数といった状況です。

社会福祉協議会の活動内容などを住民の方には知っていただくために、さらなる周知に努めるとともに、社会福祉協議会がこれまで培ってきた福祉活動の経験や実績を基盤に、地域福祉の要として幅広い活動を進められるよう、今後も連携を図りながら支援していきます。

#### ◆ 具体的な取組 ◆

【自 助】	<ul style="list-style-type: none"> <li>社会福祉協議会の各種行事に積極的に参加します。</li> <li>社協広報誌・ホームページなどによって社会福祉協議会の活動を知ります。</li> </ul>
【共 助】	<ul style="list-style-type: none"> <li>社会福祉協議会職員の研修制度を検討します。</li> <li>社会福祉協議会を中心に地域の諸団体が連携していくための指針となる地域福祉実践計画を推進します。</li> <li>社会福祉協議会は人材の育成や財源の確保など組織基盤の強化を図ります。</li> </ul>
【公 助】	<ul style="list-style-type: none"> <li>社会福祉協議会の各種事業に対する支援を行います。</li> <li>社会福祉協議会の重要性の啓発及び活性化を図ります。</li> <li>地域福祉実践計画と連携しながら地域福祉の推進を図ります。</li> </ul>

#### ◆ 目標値 ◆

目標指標	令和2年度	令和7年度
社会福祉協議会の認知度（存在も活動内容も知っている人の割合）	49.5%	50.0%
社会福祉協議会の認知度（存在だけは知っている人の割合）	64.3%	70.0%
社会福祉協議会地域福祉実践計画達成率	94.8%	95.0%

## (2) 民生委員・児童委員活動への支援

地域の身近な相談相手として、民生委員・児童委員の役割はますます重要性を増しており、本町では令和2年12月現在で定数35名のうち31名の民生委員・児童委員の方が委嘱を受けて、ひとり暮らしの高齢者等に対する援護活動や相談・助言活動など様々な取組を行っています。

しかし、アンケート調査では、自分の地区の民生委員・児童委員を知らない人が約6割5分となっている状況です。

今後は、民生委員・児童委員の活動をさらに積極的に展開できるように、現在実施している研修活動の充実を図り、民生委員・児童委員が地域で活動しやすいような環境をつくるため、必要な情報提供を行うとともに、委員活動の広報を行います。

### ◆ 具体的な取組 ◆

【自 助】	<ul style="list-style-type: none"> <li>各種行事に積極的に参加します。</li> <li>民生委員・児童委員の活動を知ります。</li> <li>地域の民生委員・児童委員を確認します。</li> <li>福祉課題を持つ人や家庭の情報を民生委員・児童委員へ連絡します。</li> </ul>
【共 助】	<ul style="list-style-type: none"> <li>民生委員・児童委員の研修制度を充実させていきます。</li> <li>民生委員・児童委員との連携を図りながら、地域の住民に見守りや声かけなどを実施します。</li> </ul>
【公 助】	<ul style="list-style-type: none"> <li>民生委員・児童委員との連携により、適切な情報の提供と利用者ニーズの収集を図ります。</li> <li>民生委員・児童委員の重要性の啓発及び活性化を図ります。</li> </ul>

### ◆ 目 標 値 ◆

目標指標	令和2年度	令和7年度
地区の担当民生委員・児童委員の認知度 (アンケート)	33.3%	40.0%
民生委員児童委員協議会定例会の開催	5回	9回

### (3) コミュニケーションの場づくり

「福祉の心」を育むためには、子どもの頃からの世代間の交流が大切であり、様々なふれ合いの場などの体験を通じて各世代の価値観の相違をお互いに認め合うことができ、人々がつながり、地域のコミュニティが活性化します。

コアぽんときらく「多機能共生型地域交流センター」を活用した地域活動が行われていますが、今後も、その他の地域の社会資源を活用しながら、世代間交流を進め、住民同士の付き合いが深まる「コミュニケーションの場」の開拓を進めます。

#### ◆ 具体的な取組 ◆

【自 助】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日頃から地域とのつながりを大切にします。</li> <li>・お互いに声をかけ合い、地域の活動に積極的に参加します。</li> </ul>
【共 助】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「コミュニケーションの場」の開拓を行います。</li> <li>・地域の子どもに対する声かけを行います。</li> <li>・高齢者の集まれる集会所を増やします。</li> <li>・集会施設の自主運営を図ります。</li> <li>・地域活動に参加する人が増えるよう年代に合わせた情報発信をします。</li> <li>・若者が参加しやすいイベントや障がい者との交流の場を増やします。</li> </ul>
【公 助】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域が行う世代間交流イベントを支援します。</li> <li>・空き店舗や空き家、空き教室など、地域内の資源の活用を支援します。</li> <li>・多機能共生型地域交流センターの管理運営と機能の充実を図ります。</li> <li>・「コミュニケーションの場」の開拓を促進し、情報提供を行います。</li> </ul>

#### ◆ 目標値 ◆

目標指標	令和2年度	令和7年度
地域活動の参加状況（参加していない人の割合）	42.1%	30.0%
「世代交流イベント回数」（コミュニティカフェ・地域食堂など）	5回	10回

#### (4) 自治会活動への支援

自治会は、地域福祉活動を推進する上で、大きな役割を担う団体の一つです。

アンケート調査では、参加している地域活動の中でも自治会が最も多くなっていますが、加入率の低下や会員の高齢化、それに伴う役員等の担い手不足など、様々な課題を抱えています。

役員の負担が大きいことも、担い手不足の原因にもなっているため、地域活動の活性化のための支援を積極的に行います。

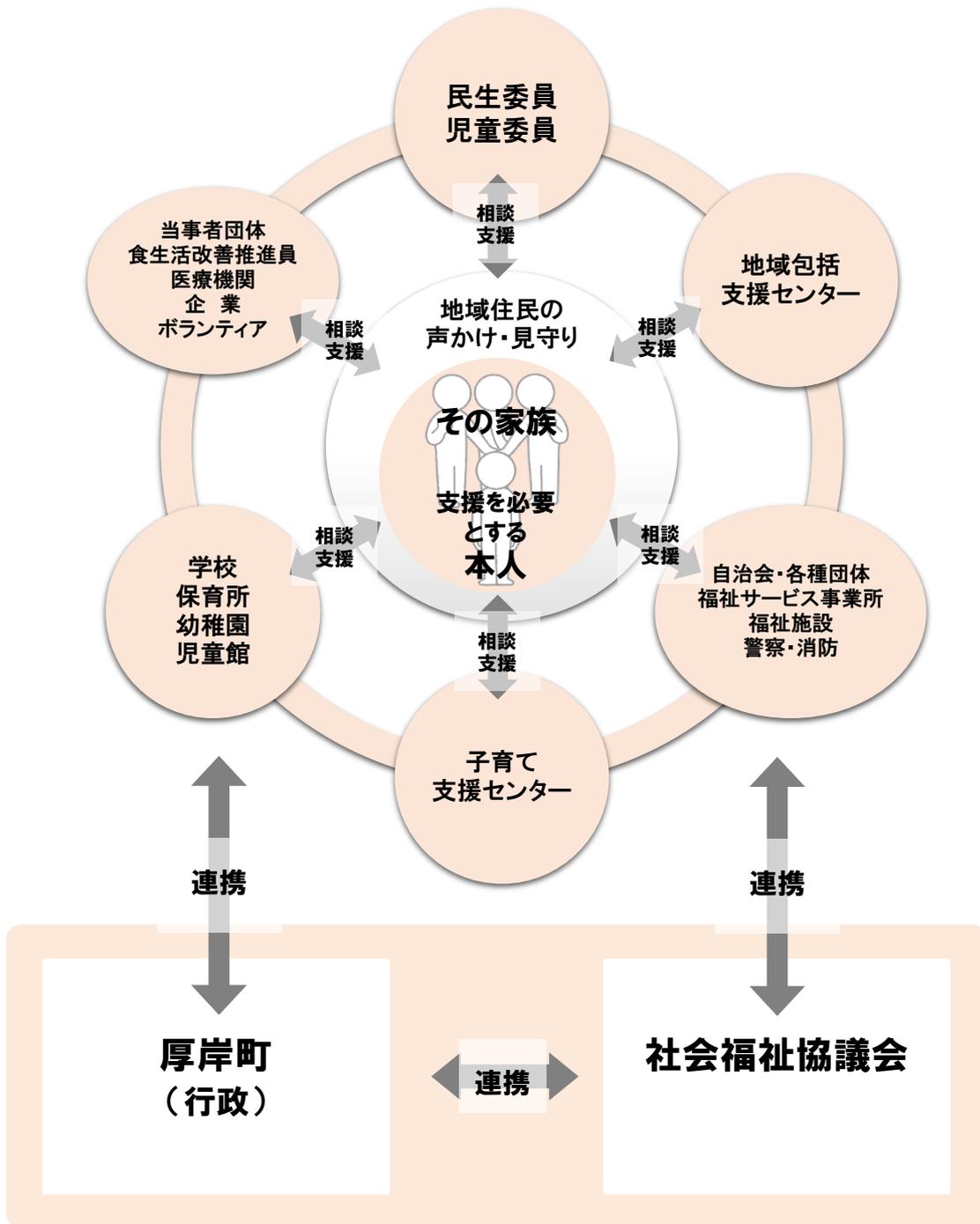
#### ◆ 具体的な取組 ◆

【自 助】	<ul style="list-style-type: none"><li>• 地域の自治会に積極的に加入します。</li><li>• 自治会活動に積極的に参加します。</li><li>• 自治会活動を積極的に企画します。</li></ul>
【共 助】	<ul style="list-style-type: none"><li>• 広報や声かけにより、自治会加入を促進します。</li><li>• 活動を通じて、交流を深めます。</li><li>• 住民の希望や不満を聞き取るようにします。</li></ul>
【公 助】	<ul style="list-style-type: none"><li>• 活動に対する財政的、人的支援を行います。</li><li>• 集会施設の維持管理と整備に努めます。</li></ul>

#### ◆ 目 標 値 ◆

目標指標	令和2年度	令和7年度
自治会の加入率	68.4%	75.0%

【地域福祉のネットワーク図】



## 第5章 計画の推進

### 1 各主体の役割

---

#### (1) 町民の役割

住民一人ひとりが、福祉に対する意識や認識を高め、地域福祉の担い手として自らボランティアなどの社会活動に積極的かつ主体的に参加することが求められます。

#### (2) 事業所・団体などの役割

福祉サービスの提供者・協力者として、質の高いサービスの提供及びサービス内容の情報提供や周知、他のサービスとの連携に取り組むことが求められます。

また、地域福祉ニーズに基づく新たなサービスや住民福祉活動への参加の支援や福祉のまちづくりへの参画に努めることが求められます。

#### (3) 社会福祉協議会の役割

住民参加の地域福祉を推進していくことを目的とする団体として、総合的な相談事業、ボランティア活動の推進、福祉意識の啓発、人材育成、地域の実情に応じたサービスや支援などと、連携・協働を行っていくことが求められます。

また、町の福祉を支える介護保険サービス提供事業者としての適正な事業の推進や新たな事業展開を含めての取組の検討が求められます。

#### (4) 行政の役割

行政は、住民の福祉の向上を目指して福祉施策を総合的に推進するために、地域福祉を推進する社会福祉協議会やボランティア団体などと相互に連携、協力を図るとともに、住民のニーズの把握と地域の特性に配慮した施策の推進に努めます。

さらに、地域福祉への住民参加を促進し、地域福祉活動拠点の整備に関する支援や情報提供の充実に努めます。

### 2 計画の推進体制

---

計画の進行管理については、関係機関・団体、学識経験者で構成する「厚岸町保健・医療・福祉総合サービス調整推進委員会」において、国・道の動向を踏まえながら、計画の実施状況の点検や課題整理を行うこととします。

また、社会福祉協議会と連携して地域福祉を推進していくために、町と社会福祉協議会で具体的な課題の検討・取組の推進を図るための検討会議を設置し、庁内関係部署との連携を図りながら計画の推進に取り組んでいくとともに、住民や関係機関・団体等との連携・協働を図っていきます。

# 資料編

## 資料1 厚岸町保健・医療・福祉総合サービス調整推進委員会

### 1 計画策定の経緯

策定の経緯は次の通りです。

日 程	概 要
令和2年6月	令和2年度第1回厚岸町保健・医療・福祉総合サービス調整推進会議（書面会議） ・第4期厚岸町地域福祉計画の概要とスケジュールについて ・第4期厚岸町地域福祉計画アンケート調査について
令和2年6月19日～ 令和2年7月6日	町民アンケートの実施 自治会アンケート・団体アンケートの実施
令和2年11月	令和2年度第3回厚岸町保健・医療・福祉総合サービス調整推進会議（書面会議） ・アンケート調査結果 ・第4期厚岸町地域福祉計画骨子（案） ・計画進捗状況
令和2年12月	令和2年度第4回厚岸町保健・医療・福祉総合サービス調整推進会議（書面会議） ・第4期厚岸町地域福祉計画（素案）
令和3年1月22日	厚岸町厚生文教常任委員会 ・第4期厚岸町地域福祉計画（素案）
令和3年1月25日～ 令和3年2月3日	意見募集（パブリック・コメント）実施
令和3年2月	令和2年度第6回厚岸町保健・医療・福祉総合サービス調整推進会議（書面会議） ・第4期厚岸町地域福祉計画（案）
令和3年2月22日	厚岸町政策会議

## 2 厚岸町保健・医療・福祉総合サービス調整推進委員会設置要綱

平成6年12月1日  
厚岸町訓令第42号

### (目的)

第1条 厚岸町が21世紀においてめざすべき総合的保健・医療・福祉のありかたと、高齢者や障害者等が地域で快適な生活を営むことのできるやさしいまちづくりの施策を検討するため、厚岸町保健・医療・福祉総合サービス調整推進委員会(以下「委員会」という。)を設置する。

### (所掌事項)

第2条 委員会は、厚岸町高齢者保健福祉計画及びその他の保健、医療、福祉に関する基本計画の策定及びその総合的推進に関する事項について検討する。

### (組織)

第3条 委員会は、委員23人以内で組織する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから町長が委嘱する。

- (1) 町行政関係者
- (2) 保健医療関係者
- (3) 福祉団体等関係者

3 前2項に定めるほか、特別の事項を検討するため必要があるときは、委員会に臨時委員を置くことができる。

4 委員の任期は、3年とし、補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。ただし、再任を妨げない。

### (委員長及び副委員長)

第4条 委員会に委員長1名及び副委員長2名を置く。

2 委員長は、委員の互選により選出し、会務を総理し、会議を主宰する。

3 副委員長は、委員長を除く委員の互選により選出し、委員長を補佐し、委員長に事故あるときはその職務を代理する。

### (会議)

第5条 委員会の会議は、町長又は委員長が必要に応じて招集し、委員長が議長となる。

2 委員会は、検討を行うにあたり必要に応じ、関係職員の出席を求め、意見を聞くことができる。

### (庶務)

第6条 委員会の庶務は、保健福祉課及び町民課の連携のもとにおいて処理をする。

(委任)

第7条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営について必要なことは、委員長が委員会にはかって定める。

附 則

- 1 この訓令は、平成6年12月1日から施行する。
- 2 厚岸町老人保健福祉計画作成検討委員会設置要綱(平成5年訓令第21号)は、廃止する。

附 則(平成11年4月30日訓令第23号)

この訓令は、平成11年5月1日から施行する。

附 則(平成17年8月15日訓令第42号)

この訓令は、平成17年8月15日から施行する。

附 則(平成18年5月30日訓令第43号)

- 1 この訓令は、平成18年6月1日から施行する。
- 2 平成20年5月31日以前に委嘱された委員の任期は、第3条第4項の規定にかかわらず、同日までとする。

附 則(平成23年2月18日訓令第2号)

- 1 この訓令は、平成23年2月20日から施行する。
- 2 平成26年3月31日以前に委嘱された委員の任期は、改正後の第3条第4項の規定にかかわらず、同日までとする。

附 則(平成23年3月22日訓令第7号)

この訓令は、平成23年4月1日から施行する。

### 3 厚岸町保健・医療・福祉総合サービス調整推進委員会委員名簿

(令和2年5月8日～)

敬称略

行政機関・ 団体等	名称	職名	氏名	摘要
福祉団体等関係	厚岸町社会福祉協議会	会長	大野 繁嗣	
	厚岸町民生委員児童委員協議会	会長	江幡 満	
	厚岸町自治会連合会	会長	貢 則夫	
	厚岸町老人クラブ連合会	副会長	奥山 春夫	
	厚岸町女性団体連絡協議会	会長	柿崎 多佳子	委員長
	難病連厚岸浜中支部	事務局長	谷口 弘	
	連合北海道厚岸地区連合	副会長	小黒 俊明	
	身体障害者福祉協会厚岸町分会	会長	安達 由圃	
	厚岸町手をつなぐ親の会	会長	上月 時夫	
	厚岸町コミュニケーション障害の会	事務局	室崎 正之	副委員長
	厚岸町消費者協会	会長	小野寺 浩江	副委員長
保健医療関係	町立厚岸病院	院長	佐々木 暢彦	
	厚岸町医歯会	代表	中村 俊雄	
町行政関係	厚岸町	副町長	會田 周二	
	厚岸町教育委員会	教育長	酒井 裕之	
計			15名	

## 資料2 第6期厚岸町総合計画策定ワークショップの概要

---

第6期厚岸町総合計画策定時に、「10年先を見据え、これからの厚岸町をよりよく発展させる」テーマのもと、平成30年度に厚岸町民30名が参加しワークショップを開催しました。ワークショップでは、町民30名が5つの班に分かれて「保健・医療、地域福祉、高齢者福祉、障がい者（児）福祉、子育て支援、社会保障」の分野について、それぞれの班で意見交換を行っています。その意見をまとめたものについては、以下の通りです。

### ■子育て支援

---

- 子どもが習い事を受けられる場所が少ない、育児環境をもっと改善できるのではないかと。そこで、一時託児施設や生涯学習センターで子どもが習い事を受けられるような事業を進めてはどうかという意見があがった。
- 町には出産に対応できる病院がないものの、妊産婦に対する助成が大きいなど、支援が行き届いているという意見があがった。
- 子育てについては、土日に遊びに行ける場所や子どもを預けられる場所がない。
- 子育て支援については、町の施設に授乳スペースやおむつ交換台が少ないと感じるものの、こうした意見をどこに伝えるべきかわからないという意見があがった。
- 子育て支援については、ファミサポの会員不足、ファミサポの利用に不安があるという意見があがった。理想としては、地域の人々が集うサロンを創設し、地域交流の促進を図る。子育て支援については、ファミサポだけでなく一時保育施設などもあればよいという意見があがった。
- 児童館や子育て支援センターの職員に、他の地域における先進的な取組等を視察していただき、町にフィードバックしてもらいたい。行政には、そうした職員の方々への支援をお願いしたい。

### ■高齢者福祉

---

- 高齢者福祉に関しては、介護施設が少ない、独居老人が多い、介護職員の給料が安いなどの現状がある。そこで、介護職員の給与を上げてはどうか。また、IP電話を利用した独居高齢者の安否確認や、自治会と連携した災害時の支援ができないかという意見があがった。
- 高齢者福祉では、高齢化率の上昇による老老介護の増加という現状がある。

### ■障がい者・障がい児福祉

---

- 障がい者（児）福祉に関しては、グループホームがない、障がい者（児）に対する支え合いの精神があまり町民から感じられない、働く場所がないなど、障がい者（児）に住みづらい町のように感じるという意見があがった。
- 障がい者（児）福祉では、障がい者（児）に対する誤解があったり、障がい者（児）に対する制度がわからなかったりという現状がある。

- 障がい者（児）に関しては、町民と関わる機会を増やし理解を促進する。
- 企業や関係団体との連携により、障害者雇用を創出していけたら良いという意見があがった。

#### ■情報の周知・共有方法について

---

- サービスの周知が不足している現状もある。周知に関しては、何かと「HPを見てください」と言われることが多いが、高齢になるとHPを見るのは困難である。その反面、若者はSNSを活用すべきだというような意見を持っており、世代ごとに有効な手法の違いを感じる。
- 自治会に加入していないと広報あっけしがもらえないという声をよく聞くが、住民は町の情報を知っておくべきだと感じる。こうした中で、高齢者にはIP電話、若者にはSNSで情報発信をしていくなどの工夫が必要である。
- 情報周知としては、高齢者は、HPやSNSの利用の仕方がわからず、福祉サービス等の情報を得るのが難しい。そこで、街なかの看板等を積極的に使用して情報を開示したらよいという意見があがった。

#### ■住民自身ができること・共助について

---

- 福祉のことを考えた総括としては、「健康に勝る宝なし」である。
- 社会的弱者を見守ることなどは、町民ができることだ。  
また、町民が主体的に福祉や医療の情報を受け取るべきだ。
- 行政中心で物事を進めると町民が続かないため、それぞれの立場から活躍できることを考えていく必要がある。  
また、歩み寄りや他の市町村との競争意識を住民が持てば、より良いまちづくりにつながると感じる。

(参考)

#### ■医療

---

- 医療については、高校生まで医療費無償はありがたい、検診率が低い、医者が少ない、乳がん検診の年齢をもっと下げてもいいんじゃないかという意見が出た。理想として、医療費がずっと無償であれば良い。人間ドッグの助成をしてはという意見があがった。
- 医療では、在宅医療がない、医者が短い期間で代わってしまうという意見があがった。理想は、こうした現状の裏返しといえる。
- 医療については、診察の待ち時間が長いため、呼ばれる時間がわかると良い。  
また、週に1回でも構わないので、もう少し診療科が増えると良いという意見があがった。

## **第4期 厚岸町地域福祉計画**

令和3年3月

発行：厚岸町

編集：厚岸町保健福祉課地域支援係

〒088-1119

厚岸町住の江1丁目2番地

TEL 0153-53-3333

FAX 0153-53-3077